

明日の日本を支える子どもたちのために

教員の民間企業研修レポート 2019



一般財団法人

経済広報センター

教員の民間企業研修レポート 2019

はじめに

経済広報センターは、「社会と企業とのコミュニケーション」をキーワードに、1978年に設立され、以来41年にわたり、ビジネス界の考え方や企業活動の実体などについて、国内外に広く情報発信するとともに、社会の声を企業にフィードバックする活動に努めてまいりました。

中でも、将来の日本を担う子どもたちの育成を図るため、「教育界とビジネス界とのコミュニケーションの促進」に力を入れており、その取り組みの一環として、この「教員の民間企業研修」を実施しております。

この研修では、学校の教員に様々な民間企業で研修を受けていただき、事業活動に対する考え方や実務内容、人材育成やSDGsへの取り組み、果たすべき企業の社会的責任などについて理解を深めていただきます。さらに、企業での体験を、授業などを通して子どもたちに伝えていただくとともに、今後の学校運営などにも活かしていただいております。

本研修は、1983年に、参加教員5人、受け入れ企業1社でスタートし、回を重ねるごとに、参加教員数、受け入れ企業数ともに増加してまいりました。37年目を迎えた2019年は、過去最多となる1,559人の教員が、97の企業・団体の研修に参加し、実践的な研修プログラムを通じて、相互理解を深めました。なお、累計では、21,993人の教員が274社で研修を体験されたことになります。

また、2019年も研修での体験について、参加教員の皆さまから授業や学校運営など、学校教育の場での活用事例をお寄せいただき、関係者間で共有しています。

少子高齢化社会を迎えているわが国が、社会の活力を今後とも維持・発展させていくためには、その礎となる教育システムの充実が欠かせません。これからの時代に対応できる人材を育成するためにも、企業の取り組みや経済活動の実際の姿を教育界に伝える重要性がますます高まっているといえます。

経済広報センターは、これからも教育界とビジネス界の懸け橋として、教育界とのコミュニケーションを促進してまいります。今回の研修にご協力いただきました企業関係者や学校関係者、そして参加された教員の皆さまに感謝いたしますとともに、当センターの活動に引き続きさらなるご協力、ご指導をいただきますようお願い申し上げます。

2020年1月
一般財団法人 経済広報センター
専務理事・事務局長
渡辺 良

企業から教員へメッセージ

教員の皆さまは「今後の日本を背負う次の世代を育てる」という社会的意義の大きい役割を担われています。皆さまの日々のご努力は、より良い社会づくりや、民間企業の成長の源にもつながるものと考えます。大変なお仕事ですが、今後も人間性豊かな人材を育成いただくことを期待しています。

今後の学校運営に活かしていきたいという、先生方の熱心な学びの姿勢に感銘を受けました。グローバル化が進む社会において、世界に羽ばたく子どもたちへの教育に少しでもつながる経験になったのであれば、とてもうれしいです。

普段なじみのない分野にも関わらず、熱心に取り組んでいただき、非常にうれしく思います。皆さまに何かもちかえってほしいという思いから企画した研修でしたが、こちらも多くのことを学ばせていただきました。

教員の皆さまと活発な意見交換をさせていただく中で、教育界とビジネス界は、遠いようで近い部分もあることを実感いたしました。当社としても学びと刺激のある、有意義な機会となりました。今回の研修を今後の教育現場でお役に立ていただければ幸いです。

子どもたちの将来を左右するSDGsは企業だけでなく、学校でも取り組むべきテーマです。次世代を担う子どもたちと接する先生方には、教育現場において、一人ひとりの意識や行動を促し、変革の風をおこしていただきたいと期待しています。



教員から企業へメッセージ

仕事への熱い思いや、プライド、責任感を感じることができ、大変刺激を受けました。研修でお会いした社員の方々のように、仕事に対してやりがいと誇りをもって働ける人材に子どもたちを育てていけるよう努めていきたいです。

自分自身の視野を広げていただいた、とても内容の濃い研修でした。持続可能な社会をつくるために、何ができるかを考えて仕事をされていると感じました。子どもたちには、社会で問題となっていることは何か、どのように解決していくべきかを、自分自身が考え行動していく力を身に付けることが必要だと伝えたいです。

私たちの生活に欠かせない事業に取り組まれているからこそ、徹底した危機管理とチームワークによって、お客さま一人ひとりの思いや願いを受け止め、きめ細やかな対応をされている姿勢に感銘を受けました。学校現場に置き換えて活かしていきたいと思いました。

学校以外の世界を知る機会が今までなかったため、研修に参加することで、とても勉強になりました。子どもたちが今後社会で活躍していくために、これからの社会に必要なことを見極め、何を身に付けていくべきか、私たち教員が日々考えていかなければならないということに気付かせていただきました。

10年後、20年後の未来を予測して事業活動を展開されている点が、子どもたちの未来を考えて教育していくという私たちの仕事と共通していると感じました。研修を通じて感じたことをもとに、どのような教育が子どもたちにとって一番良いことなのかを、さらに考えていきたいと思います。



教員の民間企業研修レポート2019

CONTENTS

はじめに	2
2019年度 教員の民間企業研修の概要	6
2019年度 教員の民間企業研修1年の流れ	8
教員の民間企業研修 Q&A	10
アンケート集計	企業アンケート 12
	教員アンケート 13
	教員からの反響が大きかったプログラム 15
マスコミ等掲載事例	16
経済広報センター 教育支援活動	18
クローズアップ 受け入れ企業紹介	19
活用事例	授業における活用事例 25
	学校運営における活用事例
企業別研修レポート	41
2019年度 協力企業一覧・参加教育委員会一覧	91

[用語解説]

CS……………お客さま満足(度)
 CSR……………企業の社会的責任
 KYT……………危険予知トレーニング
 OJT……………職場内訓練
 QC……………品質管理
 SDGs……………持続可能な開発目標

企業別研修レポート

CONTENTS

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	42	一般社団法人生命保険協会	59	日本製鉄株式会社	76
旭化成株式会社		株式会社セレスポ		一般社団法人日本損害保険協会	
朝日生命保険相互会社	43	一般社団法人全国銀行協会	60	日本通運株式会社	77
アズビル株式会社		全日本空輸株式会社(ANA)		一般社団法人日本貿易会	
株式会社伊予銀行	44	綜合警備保障株式会社(ALSOK)	61	日本郵船株式会社	78
SMBC日興証券株式会社		双日株式会社		株式会社野村総合研究所(NRI)	
株式会社NTTデータだいいち(NTTデータ特例子会社)	45	SOMPOホールディングス株式会社	62	野村ホールディングス株式会社	79
MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社		第一生命保険株式会社		株式会社長谷工コーポレーション	
大阪ガス株式会社	46	大日本印刷株式会社(DNP)	63	日立建機株式会社	80
一般社団法人大阪銀行協会		太平洋セメント株式会社		富士電機株式会社	
株式会社大林組	47	株式会社大和証券グループ本社	64	富士フイルム株式会社	81
オムロン株式会社		株式会社竹中工務店		古河電気工業株式会社	
オリックス株式会社	48	株式会社千葉銀行	65	丸紅株式会社	82
カシオ計算機株式会社		TIS株式会社(TISインテックグループ)		みずほ証券株式会社	
鹿島建設株式会社	49	株式会社TBSテレビ	66	三井化学株式会社	83
川崎重工業株式会社		一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)		三井物産株式会社	
関西電力株式会社	50	一般財団法人電力中央研究所	67	三井不動産株式会社	84
キッコーマン株式会社		東京海上日動火災保険株式会社		三菱地所株式会社	
キャノン株式会社	51	東京ガス株式会社	68	三菱自動車工業株式会社	85
株式会社さんでん		株式会社東京証券取引所		三菱重工業株式会社	
京葉ガス株式会社	52	東芝エネルギーシステムズ株式会社	69	三菱商事株式会社	86
株式会社神戸製鋼所		東邦ガス株式会社		三菱マテリアル株式会社	
国際石油開発帝石株式会社	53	東レ株式会社	70	三菱UFJニコス株式会社	87
コマツ		戸田建設株式会社		株式会社明電舎	
五洋建設株式会社	54	凸版印刷株式会社	71	メタウォーター株式会社	88
三機工業株式会社		株式会社豊田自動織機		森永乳業株式会社	
JXTGエネルギー株式会社	55	中日本高速道路株式会社	72	ヤマト運輸株式会社	89
JNC株式会社		中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社		ライオン株式会社	
JFEスチール株式会社	56	西日本旅客鉄道株式会社	73	株式会社りそなホールディングス	90
清水建設株式会社		株式会社日清製粉グループ本社			
一般社団法人情報サービス産業協会	57	ニッセイアセットマネジメント株式会社	74		
一般社団法人信託協会		日本アムウェイ合同会社			
新菱冷熱工業株式会社	58	日本航空株式会社(JAL)	75		
住友重機械工業株式会社		日本証券業協会			

2019年度 教員の民間企業研修の概要

教員の民間企業研修とは？

小・中・高等学校などの教員が夏休み期間中に、民間企業で様々な研修を受けるプログラムです。全国各地の民間企業や教育委員会などの協力のもと、一般財団法人 経済広報センターが1983年から実施しており、今年で37年目を迎えます。

研修の目的

- ① 小・中・高等学校などの教員に、企業活動の考え方、企業の人材育成やSDGs・環境問題への取り組みなどについて理解を深めていただく。
- ② 企業研修での体験を子どもたちへ伝えていただくとともに、今後の学校運営などにも活かしていただく。

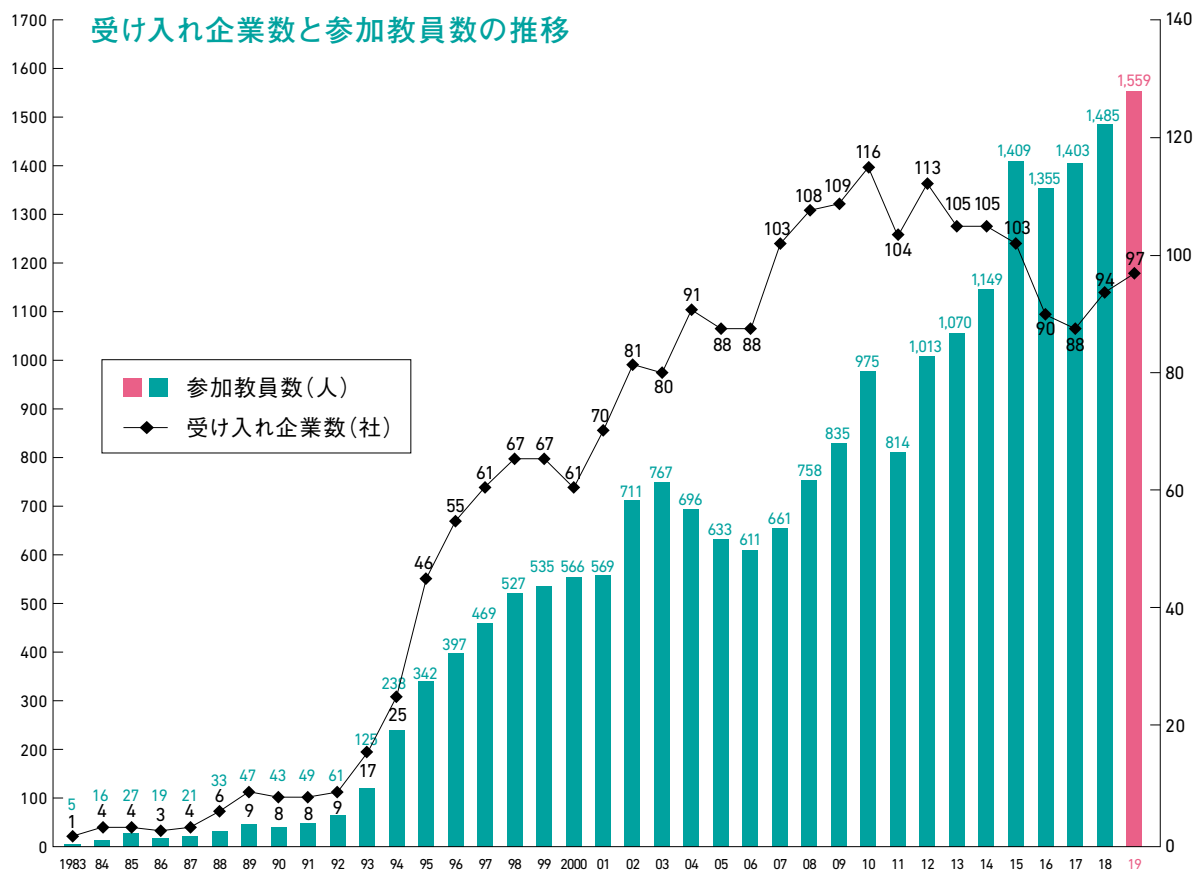
2019年度の研修概要

- [研修参加者] 小・中・高等学校の教員・管理職（教頭）など
- [研修時期] 7月24日～8月23日（学校の夏休み期間中）
- [研修期間] 原則3日間（1～3日間）
- [受け入れ企業数] 97社 [対前年度比 3社増]
- [参加教員数] 1,559人 [対前年度比 74人増]
- [研修の内容] 体験型プログラムや講義プログラムなどが多数用意されており、受け入れ企業ごとに、プログラムは異なります。
※詳しくは「企業別研修レポート」のページをご覧ください。

2019年度の研修の特徴

- ① 1,500人を超える教員が参加
初任者や10年経験者といった研修対象となる教員数が増加していること、また、民間企業研修への関心が高まっていることなどによるものと推測されます。
- ② 研修プログラムの多種多様化
工場や施設の現場見学、実習体験など、多種多様な研修プログラムを通して、教員は各企業の仕事を感じ、理解を深めました。
- ③ 研修での体験を踏まえ、学校現場での活用が増加
今年度も参加教員に、研修で学んだことを教育現場で活用していただきました。

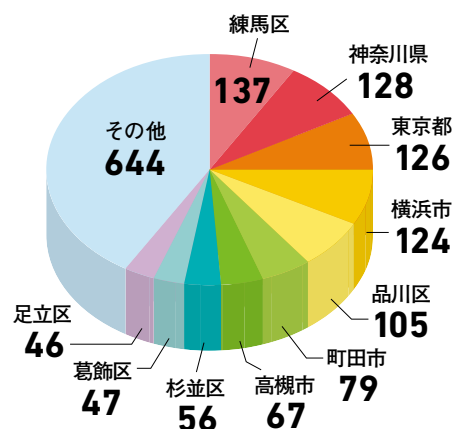
データで見る教員の民間企業研修（1983-2019）



2019年度通算10年以上研修受け入れ企業（64社）

大阪ガス	29年	全日本空輸	16年
東京ガス	29年	豊田自動織機	16年
オムロン	28年	京葉ガス	15年
五洋建設	27年	日本証券業協会	15年
西日本旅客鉄道	27年	三井物産	15年
関西電力	26年	りそなホールディングス	15年
東レ	26年	JFEスチール	14年
日本郵船	25年	SOMPOホールディングス	14年
大日本印刷	24年	三井化学	14年
JXTGエネルギー	23年	信託協会	13年
東邦ガス	23年	全国銀行協会	13年
日本航空	23年	野村総合研究所	13年
日本製鉄	23年	富士電機	13年
富士フイルム	23年	三菱自動車工業	13年
丸紅	23年	ライオン	13年
きんでん	22年	大林組	12年
太平洋セメント	22年	JNC	12年
東芝エネルギーシステムズ	21年	TBSテレビ	12年
日本通運	21年	中日本高速道路	12年
三菱地所	21年	ニッセイアセットマネジメント	12年
三菱マテリアル	21年	アイシン・エイ・ダブリュ	11年
SMBC日興証券	20年	鹿島建設	11年
大和証券グループ本社	20年	キヤノン	11年
野村ホールディングス	20年	神戸製鋼所	11年
三菱重工業	20年	生命保険協会	11年
千葉銀行	19年	双日	11年
三菱商事	19年	NTTデータだいち	10年
キッコーマン	18年	コマツ	10年
電力中央研究所	18年	総合警備保障	10年
東京証券取引所	18年	TIS	10年
三菱UFJニコス	18年	東京海上日動火災保険	10年
カシオ計算機	16年	凸版印刷	10年

教育委員会別 参加教員数内訳



研修の実施地域

研修の実施地域	教育委員会	実施企業
北海道	1団体	1社
東北	—	—
関東	31団体	80社
中部	4団体	8社
近畿	3団体	10社
中国・四国	1団体	1社
九州・沖縄	—	—
合計	40団体	100社

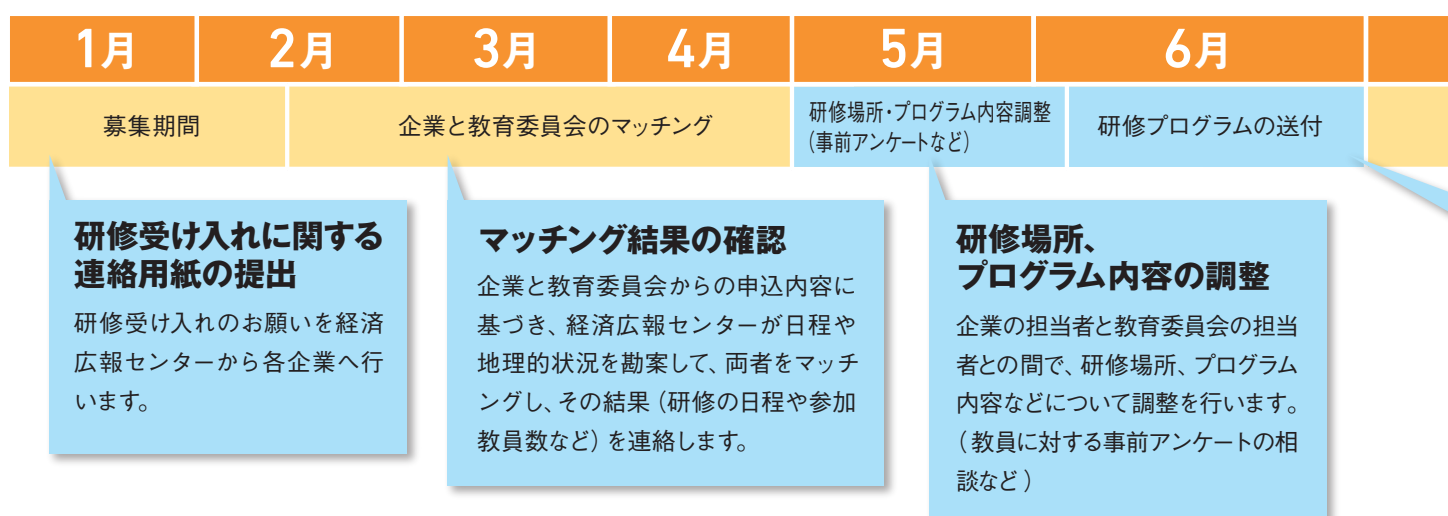
※実施企業は延べ数

2019年度 教員の民間企業研修1年の流れ

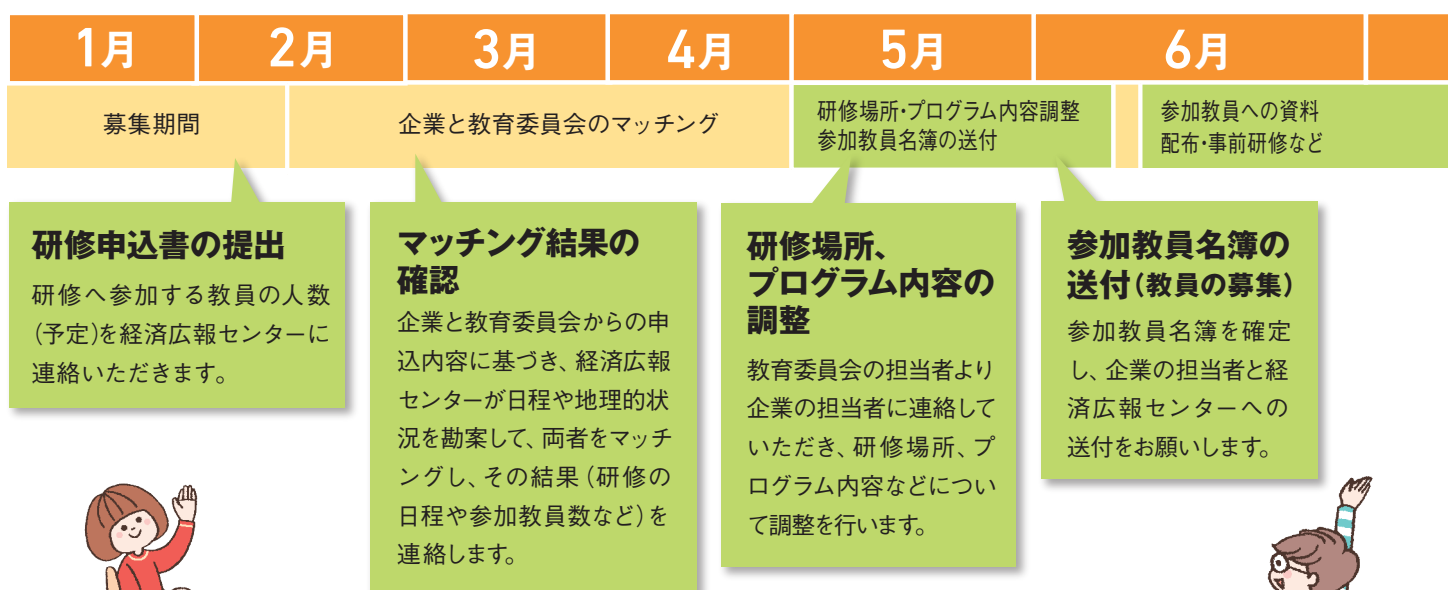
このプロジェクトは、企業、教育委員会（私学団体）、学校、
そして参加いただく教員の皆さまの協力によって運営されています。

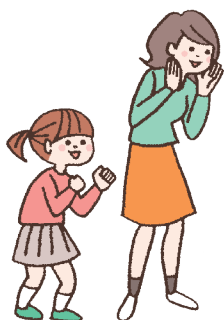
■ 企業 ■ 教育委員会 ■ 教員 ■ 経済広報センター

企業の流れ



教育委員会の流れ





7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
研修期間 7/24～8/23		レポート作成				レポート 完成

研修プログラムの送付

教育委員会と経済広報センターへの送付をお願いします。

写真とアンケートの提出

研修中に撮影した写真、および研修内容についてのアンケートを、経済広報センターまで送付いただきます。

レポート原稿案の確認

アンケートを基に、経済広報センターで作成したレポート原稿案を送付します。内容の確認をお願いします。

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
研修期間 7/24～8/23		レポート作成				レポート 完成

参加者への意識付け

研修開始前、事前研修などで、プログラムや本レポートなどを用い、各教育委員会から教員への研修参加に対する意識付けをお願いします。（心構えや、学びたいことを事前に考える）

振り返り課題の提出

研修の内容についてのアンケート（振り返り課題）の提出をお願いします。

活用事例の提出

授業などで活用した事例の提出をお願いします。

レポート原稿案の確認

アンケートを基に、経済広報センターで作成したレポート原稿案を送付します。内容の確認をお願いします。

研修終了後、参加教員に、体験を子どもたちに伝え、学校現場に活かしていただくよう、お声掛けをお願いします。

皆さまの疑問にお答えします。

教員の民間企業研修 Q&A

研修全体

Q1 経済広報センターの役割を教えてください。

A1 経済広報センターは、日本経済団体連合会（経団連）の関連組織で、経済界の考え方や最新の企業活動を教育界や一般消費者などにお伝えする広報活動を行っています。「教員の民間企業研修」は教育界向けに行っている事業のひとつであり、経済広報センターは、企業と教育委員会の間で、研修実施の日程、人数の調整（マッチング）、取りまとめ、報告レポートの作成を行っています。

Q2 教員の参加企業はどのように決まるのですか。

A2 受け入れ企業と参加教育委員会を募集し、双方の希望日程・地理的条件などを勘案して、経済広報センターにてマッチングを行います。個別の教員の派遣先は、教育委員会が調整・決定します。

企業の皆さまへ

Q3 教員からの要望の多いプログラムを教えてください。

A3 一般的にご要望が多いのは、人材育成や CSR、CS や環境への取り組み、お客さま対応、リスクマネジメントなどの取り組みです。また、工場などの現場見学、営業活動や作業の体験、社員との意見交換などもご要望の多いプログラムです。出前授業など子ども向けのプログラムの紹介や、すぐに授業に応用できそうな研修内容は、より反響が大きいプログラムのひとつです。（P.14 課題意識や期待、P.15 反響が大きかったプログラム参照）

Q4 事前に、研修内容に関する教員のニーズや、実施に当たっての必要事項を確認したいのですが。

A4 マッチング後、教育委員会を通じて、教員に対する事前アンケートを実施していただけます（5月初旬頃）。個人情報に関わる質問についてはお受けできない場合がございますので、アンケートの内容は事前に教育委員会と調整していただきますようお願いいたします。

Q5 事前に、研修内容について参加教員と直接打ち合わせをすることはできますか。

A5 参加教員が決まるのは、例年5月末頃となり、教育委員会と学校を通してのご連絡となるため、スケジュールの都合上、難しいといえます。教育委員会と調整の上、研修内容を検討いただきますようお願いいたします。

Q6 参加教員に連絡したい場合はどうすればよいですか。

A6 個人情報保護の観点から、教員への連絡は、教育委員会を通じてお願いします。

Q7 一度提出した研修プログラム案について一部変更したい場合、どのようにすればよいですか。

A7 例年6月末頃までにご提出いただく研修プログラム案について変更が生じた場合、変更後のプログラム案を教育委員会と経済広報センターに速やかにご提出ください。また、参加教員には教育委員会と学校を通してのご連絡となることから、プログラム案の変更に当たっては研修実施までに時間の余裕をもって行っていただきますようお願いいたします。

Q8 教育委員会や、教員の年次、担当教科などを指定することはできますか。
A8 企業と教育委員会のマッチングは、できる限りご要望に沿えるよう調整いたしますが、それぞれの実施・参加可能な日程、場所など物理的な条件を踏まえて決めるため、必ずしもご要望にに応じることが可能とはいえません。

Q9 研修をその後の企業活動に活用している事例があれば教えてください。
A9 参加教員とのつながりを大切にし、出前授業への展開や企業情報の提供、教育現場についての情報交換など、相互理解促進の機会に活用している企業もあると聞いています。

Q10 研修中、保険に加入いただきたい場合はどうすればよいですか。
A10 必要に応じて、各教育委員会にご相談・ご確認をお願いします。

教育委員会の皆さまへ

Q11 研修プログラム(人材育成、お客さま対応、危機管理など)について企業に希望することはできますか。

A11 マッチング後、受け入れ企業の担当者との間で、プログラム内容や研修場所などについて調整していただきます。その際に希望するプログラムや課題意識をお伝えください。受け入れ企業にはそれぞれの事業特性があるため、全てのご希望に沿うことはできないかもしれませんが、教育委員会と受け入れ企業が共通の目的意識をもって研修を実施することで、研修効果は高まります。

Q12 人事異動などで、参加教員数に変更になりました。どうすればよいですか。

A12 変更を把握された時点で、速やかに経済広報センターにご連絡ください。受け入れ企業の準備に影響がありますので、企業へ参加教員名簿を送付した後については、企業のご担当者へも必ずご連絡ください。

Q13 教育委員会の職員が傍聴したい場合はどうすればよいですか。

A13 企業のご担当者にご確認ください。なお、入館手続きやセキュリティの問題があるため、必ず事前にご連絡をお願いします。

Q14 より有意義な研修とするために、研修前後でどのような取り組みをしたらよいですか。

A14 ある教育委員会の事例、および期待する姿についてご紹介します。

研修前（6、7月頃）

参加教員を集めて事前研修を行い、研修の意義や目的を明確にするとともに、疑問点などを解消することで、参加教員の目的意識や意欲を向上させる工夫をします。

研修後

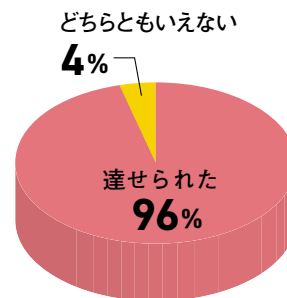
- ・ 実践発表の場で、自分が研修を受けた企業以外の研修内容を学ぶ機会をつくります。
- ・ グループ討議によってさらに発展させ、学校現場でどのように活用できるか、具体的に検討する機会を設けます。
- ・ さらに、研修後の活用状況を振り返り、体験の定着を図るとともに、来年度以降の活用方法を再検討します。

Q15 個人での参加申し込みは可能ですか。

A15 原則、教育委員会を通じての申し込みとなりますが、経済広報センターまでお問い合わせください。

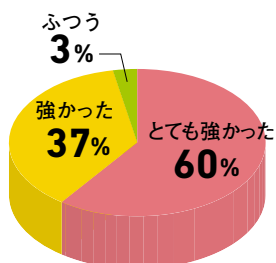
1 本研修の目的（企業活動を正しく理解してもらい、研修の体験を子どもたちに伝えていただく、今後の教育活動に活用していただく）は達せられたと思いますか。

1. 達せられたと思う、
達せられるであろうと思う ——— 93
2. どちらともいえない ——— 4
3. 達せられなかったと思う、
達せられないと思う ——— 0



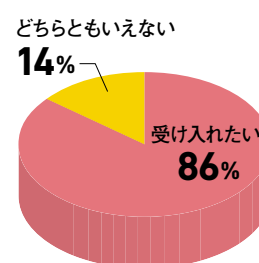
2 今年度の研修に参加した教員の学ぶ意欲を5段階評価してください。

1. とても強かった — 58
2. 強かった — 36
3. ふつう — 3
4. 弱かった — 0
5. とても弱かった — 0



3 来年も本研修を受け入れてもよいとお考えになりますか。

1. 受け入れたい — 83
2. どちらともいえない — 14
3. 受け入れたくない — 0



4 今年度の研修を振り返って、良かったこと、評価することは何ですか。また、ご意見・ご感想を教えてください。

企業理念・事業活動についての理解促進

■企業の事業活動やサステナビリティ活動などをご理解いただき、日本の将来を担う子どもたちをはじめ学校、地域社会へ伝えていただけたと感じました。

■当社社員が熱意や誇り、やりがいをもって業務に取り組んでいる姿を伝えられ、教員の皆さまを通じて子どもたちに将来の職業の選択肢を考えてもらうためのきっかけづくりができました。

人材育成の取り組み

■人材育成に関する議論を通じて、次世代を担う子どもたちに何を伝えていくべきかを教員の皆さまと共有することができ、研修で得た経験・知識を学校現場で活かしていただきたいです。

■教員の皆さまが学校で教育した人材を企業が引き継ぎ、企業がさらに社会で貢献できる人材へと育成していくことの重要性を改めて感じました。

教員からの学び、新たな発見（気づき）

■「未来の当社に期待すること」をテーマに当社社員になったつもりでグループワークを行っていただきましたが、提案された内容は的確な意見が多く、当社としても多くの気づきがありました。

■教員の皆さまの生の声を聞くことで、教育現場にどのようなニーズや期待があるかを知ることができ、今後の当社の取り組みの参考になりました。

CSRの取り組みや地域社会への貢献

■地域と連携し、地域の付加価値向上に取り組んでいることなどをご理解いただくことで、教員の皆さまが何かの気づきや刺激を得ていただけたならば、学校教育への貢献という点で、当社のCSR活動につながったと思います。

■「循環型社会」や「持続可能な社会」の構築に貢献する事業活動を、教科書に載っていない具体例として体感いただけたと考えています。

教員との認識の共有・共感

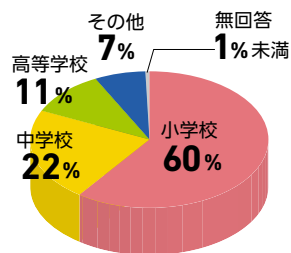
■子どもたちとお客さまで相手は異なっても「相手を理解し、相手の視点で考えること」は共通するところであり、当社としても共感し学ぶところが数多くありました。

■人材育成の課題は学校も企業も共通しており、キャリアに対する考え方が多様化する中で、主体的に自ら考え行動できる自律的な人材を育成していくためにどう対応していくべきかを意見交換できました。

1 所属する学校を教えてください。

1. 小学校 — 921
2. 中学校 — 341
3. 高等学校 — 165
4. その他 — 108
(小中一貫、中高一貫、幼稚園、特別支援校など)

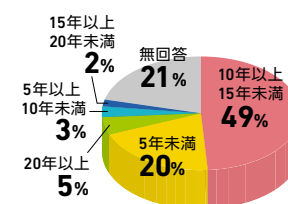
[無回答 8]



2 教員任用年数を教えてください。

1. 5年未満 — 311
2. 5年以上10年未満 — 47
3. 10年以上15年未満 — 752
4. 15年以上20年未満 — 26
5. 20年以上 — 82

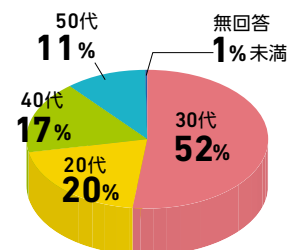
[無回答 325]



3 該当する年齢区分を教えてください。(2019.4.1現在)

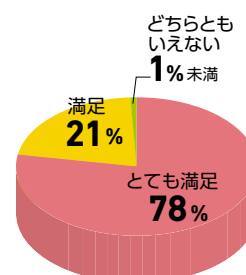
1. 20代 — 307
2. 30代 — 808
3. 40代 — 259
4. 50代 — 167
5. 60代以上 — 0

[無回答 2]



4 本研修に対する満足度について教えてください。

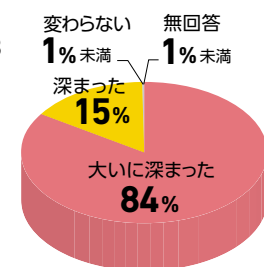
1. とても満足 — 1,204
2. 満足 — 329
3. どちらともいえない — 10
4. 不満 — 0
5. とても不満 — 0



5 本研修を通して、企業の様々な取り組みや考え方などについて、理解は深まりましたか。

1. 大いに深まった — 1,301
2. 深まった — 238
3. 変わらない — 1

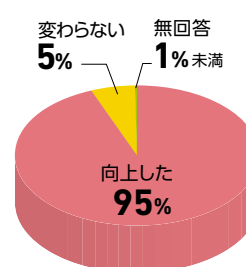
[無回答 3]



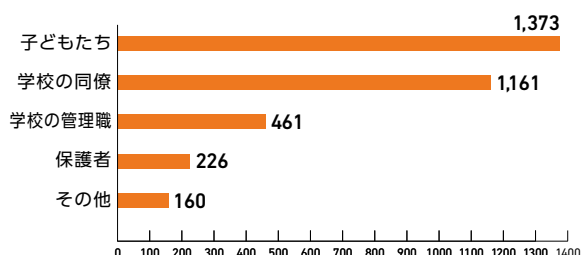
6 本研修を通して、企業のイメージに変化はありましたか。

1. 向上した — 1,467
2. 変わらない — 72
3. 低下した — 0

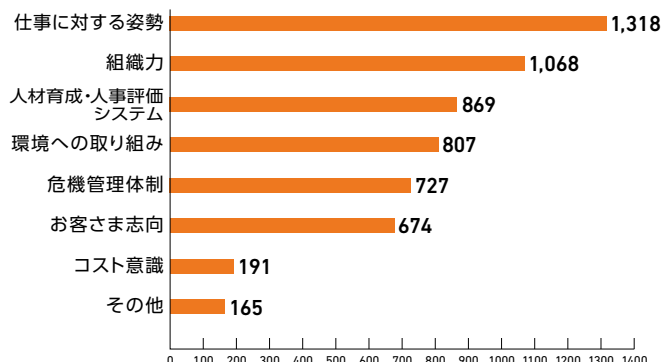
[無回答 4]



7 研修での体験を誰に伝えたいですか。[複数回答]

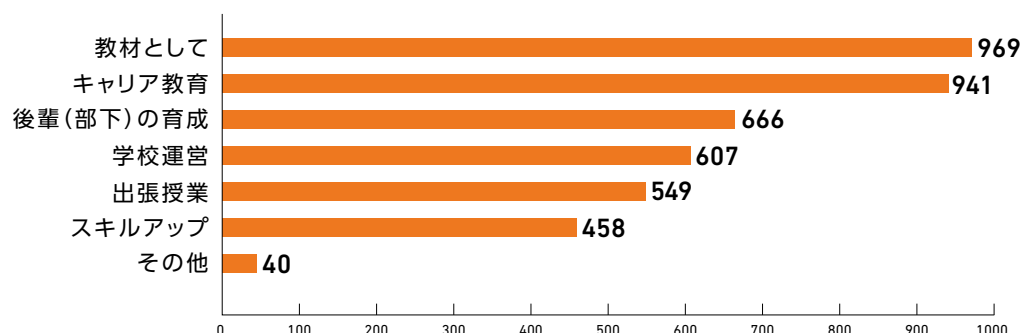


8 本研修で企業から学んだことや、参考になったことは何ですか。[複数回答]



9

本研修で学んだことや気付いたことは、通常授業で活用するほか、今後の教育活動においてどういった活用ができると思いますか。[複数回答]



10

本研修に対して、どのような課題意識や期待をもって参加されましたか。

企業理念・企業姿勢・事業活動の考え方や取り組み

■企業が課題に対してどのような姿勢で取り組んでいるのかを学び、管理職としての今後の教育活動に活かしたいです。

■社会を支える企業の事業活動や社員の方々の業務内容を知ることにより、普段の生活を安心して過ごせる喜びやありがたみを、子どもたちに伝えていきたいです。

■教育の質の向上が求められている中で、企業と学校における共通の課題や、環境の変化に合わせて新たな価値を生み出す企業の取り組みを学び、教育現場にどのように活かすことができるかを考えたいです。

人事制度・人材育成・働き方改革の取り組み

■企業ではどのような働き方をしているのか、どのような人材が期待されているのかを知り、社会に出ていく子どもたちに身に付けさせるべきスキルを考えたいです。

■企業の業務内容や職場環境を学び、学校運営における課題を見つけ、業務の効率化につなげていきたいです。

■社員教育において、どのような研修や指導を行い、そのためにどのような準備をされているかを学び、今後の教員生活の参考にしたいです。

■企業の組織的・計画的な人材育成の取り組みを学ぶことで、学校現場における人材育成に活かし、より良い職場環境づくりに役立てたいです。

CSR・環境・社会貢献・CS・お客さま対応の取り組み

■環境問題について理解を深めながら、その課題解決に向けた取り組みを子どもたちと共に考えるには、どのように環境教育を実施すればよいのか学びたいです。

■企業の社会貢献活動について学び、学校が地域に対してどのように貢献していけるか、何を求められているのかを考える機会にしたいです。

■SDGsやSociety5.0の実現を目指して、企業の具体的な取り組みを学び、自分たちにできることを子どもたちと一緒に考えたいです。

■地域などに信頼される企業づくりや企業努力について、学校でも活かせることを学び、子どもたち、保護者、地域との信頼関係づくりに活かしたいです。

情報管理・危機管理への取り組み

■社員の安全を確保するための取り組みや、社員の危機管理意識を高めるための取り組みについて学び、学校現場で取り入れていきたいです。

■情報管理の担当をしているので、情報管理をするに当たって、学校現場で活かすことのできる企画や運用方法について学びたいです。

授業での活用

■研修を通じて習得した知識を活かして、子どもたちに将来の仕事への興味や関心をもってもらえるような授業をつくっていききたいです。

■企業のOJTの考え方や実施方法について、実際に現場で行われている具体的な実践例などから学び、若手教員の育成に取り入れたいです。

■企業ではどのような人々がどのような思いで働いているのかを知り、キャリア教育を行う際に役立てていきたいです。

教員からの反響が大きかったプログラム

2019年度の研修プログラムの中で、教員から「特に印象に残った」との回答が多く寄せられたものを「講義」と「体験」に分けて、それぞれご紹介します。

講義プログラム

企業理念・事業戦略

■企業の経営方針と学校の教育目標を比べる工夫をしていただき、学校の教育目標を振り返る良い機会となりました。

■急速に変化している世界の状況を的確に捉え、10年後、20年後の未来を予測しながら事業活動に取り組まれていることに驚かされました。

人材育成の取り組み

■企業と学校の人材育成の共通点・相違点を話し合うことで、これからの時代の子どもたちに求められている力について改めて考えることができました。

■戦略的な人材育成を行っていることを知ることができました。また、リーダー育成の重要性や、風通しの良い企業風土など、現場で取り組むことができるアイデアを学ぶことができました。

グローバル化する世界と教育の重要性

■教員である自分自身が世界の流れに関心をもち、子どもたちが将来社会に出たときに何が求められるのかを真剣に考えていくべきだと気付かされました。

働き方改革

■企業のペーパーレス化などの具体的な取り組みが進んでいることを知ることができ、自分の意識改革だけでなく、学校への導入にもつなげていきたいです。

■ワークライフバランスを重視した働き方の制度が確立されていることが分かりました。企業と学校で職場環境の違いはありますが、まずは自分自身の働き方を見直すきっかけになりました。

CSR・環境への取り組み・社会貢献活動

■持続可能な社会の実現に向け、社会・環境との調和の取れた活動が求められていることを学び、社会の課題を捉え、より良いアイデアや技術を生み出せる人材の育成に努めたいと思いました。

■「なぜSDGsが必要なのか、世界が抱える問題とは何か、日本は目標達成に向けてどのように取り組んでいるのか」を子どもたちに考えてもらうとともに、企業の具体的な取り組みについても伝えていきたいです。

体験プログラム

現場見学

■施設見学を通じて多くの研究が私たちの生活を豊かにしてくれていると感じました。私たちの目に見えないところでより良い生活と環境のために、日々努力をして研究を重ねている方々がいるということに感動しました。

■写真や資料では分からない工場内のスケールや熱気などを感じるとともに「安全を最も大切にしている」ことについて、より一層理解を深めることができました。

マナー研修

■電話対応や名刺交換などのビジネスマナーを知ることができ、日々の業務の中で活かしていきたいです。

お客さまサービスに関する研修

■「お客さまからのご意見」「商品に関する改善点」など、常にお客さまの気持ちに寄り添い、課題の解決に向けて親身な姿勢で対応されていることに感心しました。

■お客さまを大切にする、お客さまの満足度を高めるといった企業の思いは、学校現場における子どもたちや保護者、地域に対する思いにつながると気付かされました。

危機管理

■5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）とKYTを行い、危険なことが起きないように社員の意見を取り入れるなど、常に改善されていることを学びました。

■危険を回避するための環境づくりや、危険に対する意識をもたせる具体的な方法を考える必要性などを学び、改めて学校の安全な環境づくりについて考え直す機会となりました。

社員との懇談

■「職場内の育成」「企業で求められる人材・学校教育の在り方」について意見交換ができ、企業と学校で共通している点が多く、これからも企業の方と共有を図っていきたいと感じました。

■業務内容や仕事のやりがいなどについてお話を伺い、学校運営や子どもたちのキャリア教育に活かせる視点を得ることができました。

授業プランの作成

■研修で学んだことから授業プランを作成することで、研修内容への理解を深めることができました。また、グループで話し合うことで、自分自身では気付かないようなアイデアに触れることができました。

■説明をするときの目を引くための方法や心に残る話題づくりなど様々な工夫を学ぶことができ、授業づくりをする上でも重要な視点であると気付かされました。

マスコミ等掲載事例

関係者の皆さまのご協力により、2019年度もマスコミ各社に「教員の民間企業研修」を取り上げていただくことができました。ここでは、その一例をご紹介します。



ガス会社の研修で施設見学する教員

経済広報センター

2019年度教員の民間企業研修

1500名を超える教員が参加

経済広報センターは、教育界と経済界との対話促進活動の一環として、

「教員の民間企業研修」を1983年から実施している。37年目を迎えた

2019年度は、7月24日から8月23日までの学校の夏休み期間中、企業・団体が小・中・高等学校などの教員を1日から3日間受け入れ、過去最多となる1559名の教員が、97の企

業・団体の研修に参加した。

同研修では、教員がさまざまな研修や体験を通じて、企業理念や企業活動、人材育成やSDGs（持続可能な開発目標）への取り組みなどの理解を深め、子どもたちに伝えるとともに、今後の学校運営などにも活用することを目的としている。

研修プログラムは、教員の窓口となる教育委員会の要望を受けて企業が策定し、社内見学、実務体験、SDGsに関する講義、社員との意見交換、授業プランの作成など、学校教育に活かしてもらうための多岐にわたる内容となっている。

参加した教員からは、「生活を豊かにするために企業の方々が日々努力していることを、子どもたちに伝えていきたい」「知識の幅を広げることができ、今後の教育活動に活かしていきたい」といった声が寄せられた。

一方で企業からは、「子どもたちにとって将来の選択肢の一つでもある、企業で働くことについて、先生方に伝えられたのがよかった」「社員との意見交換で、当社の事業活動についてさまざまな意見をいただき、非常に有意義であった」といった感想が寄せられ、相互理解を深める機会となっていることがうかがえた。

2019年9月26日付
経団連タイムス

2019年度 掲載記事一覧

掲載日	媒体名	面・頁	見出し
8月1日	経団連タイムス	7	2019年度「教員の民間企業研修」始まる
8月9日	ニッキン	5	教員へ防災研修 損保協
8月14日	日刊産業新聞	2	JFES 教員研修に協力 リサイクル工場など見学
8月15日	鉄鋼新聞	3	東京都町田市の小学校教員 JFE東日本で企業研修
8月20日	日刊産業新聞	11	教員向けに企業研修実施 古河電工
8月20日	鉄鋼新聞	4	東京都大田区の小学校教員 古河電工で企業研修
8月20日	大阪日日新聞	20	安全守る思いは同じ 高槻の教員らJR西で研修
8月22日	電気新聞	4	南船北馬 古河電工
8月23日	日刊油業報知新聞	1	「教員の民間企業研修」INPEX受け入れ
8月30日	日刊産業新聞	3	神戸製鋼所 教員研修に協力 高槻市から7人受け入れ
9月2日	保険毎日新聞	10	損保協会「民間企業研修プログラム」開催
9月2日	石油通信	5	INPEX、教員らに研修プログラム提供
9月4日	日刊産業新聞	3	教員の民間企業研修 日本製鉄が参画 51人受け入れ
9月6日	日刊建設工業新聞	3	小中学校教員5人の民間研修を受け入れ 新菱冷熱工業
9月6日	日刊建設産業新聞	2	教員の民間企業研修実施 空調技術・施設など紹介 新菱冷熱工業
9月6日	ニッキン	19	教員の企業研修 8人を受け入れ 三菱UFJニコス
9月9日	金融経済新聞	5	三菱UFJニコス「教員の民間企業研修」今年も CIC担当者も講師に
9月9日	ガスエネルギー新聞	3	教員支援で新たな試み JGAの取り組みと連動 東京ガス
9月10日	保険毎日新聞	12	損保ジャパン日本興亜「教員の民間企業研修」受け入れ
9月20日	化学工業日報	11	教員の民間企業研修実施 メタウォーター
9月24日	保険毎日新聞	12	朝日生命 教員の民間企業研修実施 生命保険の社会的使命伝える
9月26日	経団連タイムス	7	1500名を超える教員が参加 2019年度教員の民間企業研修
9月30日	建設通信新聞	9	研究開発技術を紹介 新菱冷熱工業が教員の企業研修
10月28日	日本教育新聞	8	暮らしを支える企業に学ぶ防災教育 東京ガスが取り組む「ライフラインの安全と防災」
12月号	月刊広報会議	116	教員の民間企業研修を実施 参加人数は過去最高の1500人超

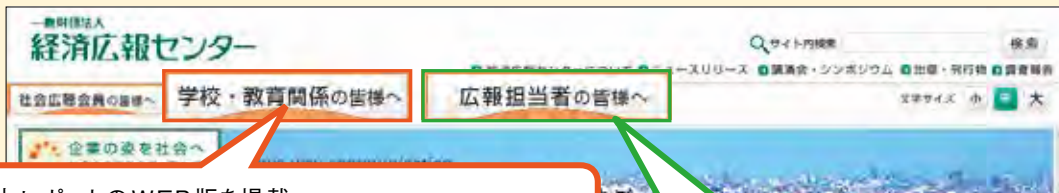
経済広報センター 教育支援活動

経済広報センターでは、企業・団体が学校教育のために実施している「出前授業」「工場や施設の見学会」「体験教室」「教材提供」などの情報を提供しています。ぜひご利用ください。

経済広報センター

検索

経済広報センター HPトップページ



- 本レポートのWEB版を掲載
- 企業の環境問題への取り組み、金融や工業・貿易・流通のしくみ、エネルギー問題についての教材を紹介

企業・団体が提供している「出前授業」「工場や施設の見学会」「体験教室」「教材提供」など学校教育に活用できるプログラムの情報を紹介



企業の教育支援ガイド内検索

企業・団体名で探す

あかたなはまやらわ

業種で探す

業種を選択してください。

プログラムで探す

プログラムを選択してください。

地域で探す

地域を選択してください。

キーワードで探す

企業名・業種・タイトルなどで検索できます。

検索

リセット



企業の教育支援ガイド

企業・団体が提供している、学校教育にご活用いただけるプログラムを掲載しています。

対象プログラム：

企業・団体が学校教育のために実施している「出前授業」「工場や施設の見学会」「体験教室」「教材提供」など

掲載情報：

経済広報センター会員機関などを対象に行ったアンケート調査に回答のあったもの

※内容に変更がございましたらお知らせください。

業種や地域、プログラムで検索できます！

クローズアップ 受け入れ企業紹介

企業紹介

株式会社きんでん	20
五洋建設株式会社	21
東芝エネルギーシステムズ株式会社	22
丸紅株式会社	23
三菱地所株式会社	24

研修にご協力いただいた企業の中から、5社の取り組みをクローズアップしてご紹介します。

民間企業研修への参加目的、プログラムのポイント、先生方への応援メッセージに加え、各企業のCSR活動を掲載しています。

株式会社きんでん

企業研修レポート P.51

教員の民間企業研修

■参加目的

当社は、優れた設備とサービスの創造に努め、社会への貢献と「エネルギー」「環境」「情報」を3本柱とする総合設備工事会社としての事業の発展を目指しています。教員の方には、当社の事業内容を理解し、人材育成への取り組みを実際に体験してもらうことで、子どもたちの教育に活かしていただくとともに、交流を通じて、当社も学校教育の考え方を学び、企業活動に活かすために参加を受け入れています。

■プログラムのポイント

ビルや工場における電気工事や電柱の上での配電工事などに関して、机上で説明をした上で実際の作業（電気配線や金属管加工）を体験していただきました。さらに、当社が施工する実際の現場見学を通じて、電気工事への理解をより深めていただきました。



金属管加工実習の様子



作成した回路に明かりを灯す



担当者との意見交換

＼ココに注目！／

昇柱訓練にて、配電工事作業員が実際に作業する高さ（地上約10m）を体感していただきました。



電柱に昇り高所を体験

■研修を終えて

熱心かつ積極的に研修を受講され、日本の将来を担う子どもたちへ、企業・業界の状況、社会インフラを支える現場の苦労、使命感、働きがい伝えていただけると感じました。3日間の短い期間でしたが、今回の研修で得られた「気付き」を授業や学校運営に活かしていただければと思います。

CSR活動

■世界文化遺産姫路城周辺の外灯を清掃

当社の姫路支店では、姫路城が1993年に世界文化遺産に登録されたことをきっかけに1994年から毎年ボランティア活動の一環として国宝姫路城の外灯の点検・清掃およびごみ拾いを実施しています。

国内外から多くの方に気持ち良くお越しいただけるよう、地域への感謝の気持ちを込めてこの活動を継続していきます。



高所作業車で丁寧に清掃

五洋建設株式会社

企業研修レポート P.54

教員の民間企業研修

■参加目的

社会に貢献する企業として、建設業に興味をもっていただいた教員の皆さまに研修の機会を提供できればと思い、受け入れることにしました。

■プログラムのポイント

教員の皆さまに当社について知っていただくために、稼動している工事現場の見学を通して、社会基盤を支える建設業の使命・役割などの理解を深め、次世代を担う子どもたちに建設業の魅力を伝えられるようなプログラムとしました。

＼ココに注目！／

海洋土木とマンションの建設現場を実際に見て、触れることで、現場のスケールやモノづくりを体感していただきました。



工事事務所において工事概要説明



集合写真(研修2日目)



船上から海洋土木工事を見学

■研修を終えて

建設のプロフェッショナルとして“モノづくりに徹し、請負を極める”ことを追求している当社を通して、建設業の魅力を理解し、今後の学校教育に役立てていただければと思います。

CSR活動

当社は事業活動を通じて、地域社会をはじめ、多様なステークホルダーとの関わりを大切にしています。

現場見学会はその活動の一環であり、地域住民、子ども(小・中学生)、学生たちに、建設現場を実際に見て、触れていただき、現場のスケール・モノづくりを体感していただきます。産業の魅力化、親しみを醸成し、次世代の入職促進につなげていきます。



技術研究所で見学会を開催



和白干潟あおさの清掃活動

東芝エネルギーシステムズ株式会社

企業研修レポート P.69

教員の民間企業研修

■参加目的

エネルギー・社会インフラに関連する当社の製品・サービスを見学し、私たちを取り巻くエネルギーと当社の関わりを身近に感じていただき、子どもたちにエネルギーの重要性や将来像、それらを支える企業活動について伝えていただきたく受け入れております。本研修の継続により、社会のエネルギー業界への関心の高まり、ひいては優秀な科学者・エンジニアが誕生するきっかけとなることを期待します。

■プログラムのポイント

当社の工場や科学館の見学を通じ、蒸気タービンなどの重電製品や最新のエネルギーソリューションについて説明し、事業への理解を深めていただきました。

また、企業活動の紹介では参加者体感型のプログラムに重点を置き、一方的な説明に終始しないように工夫しました。安全への取り組みとして危険体感訓練や、デザイン思考を体感するワークショップ、社員との意見交換会を実施していずれもご好評いただきました。



京浜工場での集合写真



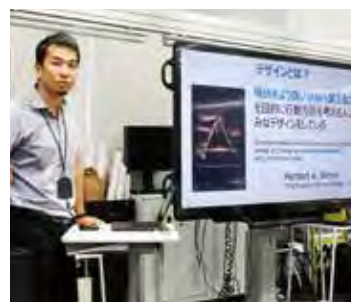
ワークショップを体験



未来科学館で東芝の歴史を学ぶ

＼ココに注目！／

デザイン思考ワークショップでは財布のデザインを題材に当社が推進する課題解決手法を実践しました。



デザイン思考ワークショップの様子

■研修を終えて

研修を通じてお見せした企業活動の状況やエネルギーの最新技術などを子どもたちにご紹介いただければと思います。また、ワークショップで体感いただいたカスタマーバリューデザイン手法も参考にいただき、教育現場での問題解決の一助となれば幸いです。私ども皆さまの様々な考え方を伺うことで新たな刺激が得られる良い機会となりました。



CSR活動

■ヤギ・ヒツジを使ったエコ除草

東芝府中事業所ではヤギとヒツジによる構内のエコ除草に取り組んでいます。近隣の小学校のヤギをお預かりするなど、地域との交流も深めています。ヤギ・ヒツジによる除草は、機械を使った除草よりCO₂の発生を抑えられ、ひづめで草を締固めすることにより、背の高い雑草が生えにくくなる効果が期待されています。



府中エコ除草

丸紅株式会社

企業研修レポート P.82

教員の民間企業研修

■参加目的

社は「正・新・和」の精神にのっとり、国際社会における企業市民としての責任を自覚し、積極的な社会貢献活動を行うという基本理念のもと、その一環として、地域・教育現場に役立つことを目的に受け入れています。

■プログラムのポイント

サステナビリティや人財育成、情報の扱い方といった全社的な取り組みと、各事業の概要説明の講義がバランスよく組み立てました。グループ企業の現場も視察し、企業向け商品が多い総合商社においても、教育現場や消費者向け事業も行っていることを知り、身近に感じていただくことを心掛けました。



本社での集合写真



飼料事業に関する講義

\\ ココに注目! /

事業会社視察にて、3Dプリンターの活用事例を紹介。身体部のサンプルに興味をもっていただきました。



3Dプリントされた身体部品サンプルを手に取る

■研修を終えて

普段接することの少ない業種の商社ですが、積極的に参加してくださりありがとうございました。少しでも参考になることがあれば幸いです。疑問などがありましたら、何なりとお問い合わせください。

CSR活動

事業の実施・拡大には「地域社会への貢献」が必要不可欠であるという認識のもと、事業地域での雇用創出による失業改善や、物品やサービスの調達を可能な限り域内で行うことで、地域経済の活性化に貢献しています。また、地域開発に向けてコミュニティと積極的にに関わり、当社グループと地域が共に成長できる事業活動を展開していきます。



事業実施地区でのデング熱レクチャー



ASEAN地域の国々へ奨学基金などの支援

三菱地所株式会社

企業研修レポート P.84

教員の民間企業研修

■参加目的

当社グループはステークホルダーとの共生と長期的な企業価値向上を目指しております。その取り組みの一環として教育機関への研修に参加することで、当社の社会的責任を果たすとともに、教員の皆さまを通じて社会からの当社への理解を深めることを目的としております。

■プログラムのポイント

当社グループにて運営する「ザ ロイヤルパークホテル 東京汐留」を見学し、「顧客サービス」について学んでいただくなど、実際の事業活動の場を直接見学いただくことで、より理解度の高いプログラムを構成しました。

また、研修各日にグループディスカッションや発表の場を設け、受講者同士で情報共有および実際の学校運営への活用について学びを深めていただきました。

＼ここに注目！／

当社の所有するビルの地下に設置しているお濠の浄化施設を見学いただきました。



濠水貯留浄化施設を見学



参加された教員



街づくりについて学ぶ

■研修を終えて

教員の皆さまが楽しそうにお話されていたことがとても印象的でした。研修最終日に「学校運営に活かしたい」「子どもたちに伝えたい」と言ってくれたことを本当にうれしく思います。また何かの機会に本研修を思い出していただき、活用いただければ幸いです。



CSR活動

当社グループにとってのCSRとは、「基本使命」である「住み・働き・憩う方々に満足いただける、地球環境にも配慮した魅力あふれる街づくりを通じて、真に価値ある社会の実現に貢献する」ことであると考えています。

CO₂排出量や壁面緑化面積などの地球環境だけでなく、災害時に帰宅困難者を受け入れる施設数などにもKPI(重要業績評価指数)を定め、社会と共生した街づくりを進めています。



アウトレットに太陽光発電設備を設置



災害時に帰宅困難者を受け入れた様子

活用事例

学校での活用事例

■授業における活用事例〔研修先企業名〕

〈対象学年順〉

食べ物がみんなの口に入るまでのお話〔丸紅株式会社〕	26
オリンピック・パラリンピック調査隊〔東京海上日動火災保険株式会社〕	27
企業の人材育成から学ぶ子ども一人ひとりの自己肯定感の上げ方〔キッコーマン株式会社〕	28
学級新聞を作ろう 目を引く見出しを考えよう〔株式会社セレスポ〕	29
SDGsを通して私たちが大切にしたいことは何だろう？〔日本通運株式会社〕	30
授業で手を挙げるのはなぜか考えよう〔中日本高速道路株式会社〕	31
安全を守るためにできること ～その時、あなたは？「もしも」に備えた命を守る行動とは～〔古河電気工業株式会社〕	32
みんなでやってみよう「PDCA!」もっとステキなクラスプロジェクト〔株式会社豊田自動織機〕	33
6-2Valuesを考えよう! ～卒業までの7カ月をより良くしていくために～〔国際石油開発帝石株式会社〕	34
友だちと学び合い、プログラミングを体験してみよう〔一般社団法人電子情報技術産業協会〕	35
将来設計について考えよう〔日本証券業協会〕	36
車いすの視点で校舎内を移動してみよう!〔三菱地所株式会社〕	37

■学校運営における活用事例〔研修先企業名〕

子どもや保護者とのより良い関係づくりを目指して〔東京ガス株式会社〕	38
多様性と人権を尊重する環境づくり〔野村ホールディングス株式会社〕	39
校内安全への意識を高めるために〔西日本旅客鉄道株式会社〕	40

食べ物がみんなの口に入るまでのお話

研修先企業 丸紅株式会社 (P.82)

研修時期 8月5日～8月7日

教員 東京都町田市立本町田東小学校 安西 絃 先生

活用方法 小学校1年生20名を対象に朝のスピーチの時間で活用

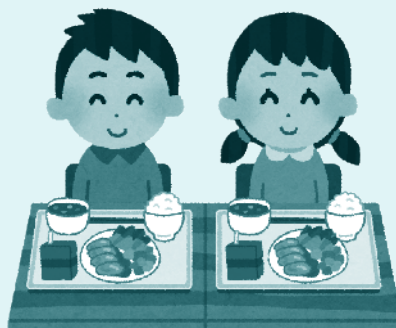
活用した日 10月1日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

本学級では、毎日の給食を最初に減らすなどの工夫をして、残さず食べることを目標としています。しかしながら、現状は厳しく、3割弱の子どもたちが完食できていません。研修では、食べ物の大切さや食べ物を安全・安心に食べられるまでの様々な過程について学びました。そこで、給食により「食」を身近に感じている子どもたちに、研修で学んできたことを伝えることにしました。

■活用内容

- ①夏休みに食べ物についての勉強をしてきたことを話した。
- ②カレーを例に挙げ、カレーを作るために必要な材料を子どもたちに聞いた。(コメ、肉、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ、調味料など)
- ③ひとつのメニューを作るために、多くの材料が必要であることを理解させ、その材料を作る人、育てる人、材料(豚、鳥、牛など)を育てるための飼料を作る人がいることを話した。
- ④毎日、家や学校、お店などで食べ物が食べられることが、当たり前ではないということを改めて伝えた。
毎日の給食も栄養士さんをはじめ、調理師さんだけに感謝するのではなく、料理ができる長い道のりに関わってくれた全ての人に感謝して食べ、なるべく残さずにクラス全員で頑張ろうという話をした。
- ⑤子どもたちが、思ったこと、感じたこと、考えたことなどを発表した。



■子どもたちの感想

- これからはすきらいをしなくて、がんばって食べたいです。
- 「いただきます」「ごちそうさま」はいうだけでなく、もっとかんしゃの気持ちをこめていおうとおもいました。
- じぶんがおもっていたより、りょうりができるまでのみちのりがながくておどろきました。

■安西先生の感想

研修を通じて学んだことを「食育」として子どもたちに伝えることにしました。実際にカレーを例に話を進めると、材料をひとつずつ挙げたり、関わっている人を考えたり、積極的に参加してくれる子どもが多かったです。黒板にカレーを書き、そこから関わるものを書き足していくことで、関わる人の多さを実感してくれました。朝の会という短い時間ではありましたが、真剣に話を聞く子どもたちの姿を見て、伝えることができて良かったと感じました。

オリンピック・パラリンピック調査隊

研修先企業 東京海上日動火災保険株式会社 (P.67)

研修時期 8月8日～8月9日

教員 東京都品川区立城南小学校 小林 千海 先生

活用方法 小学校3年生28名を対象に市民科[オリパラ教育]の時間で活用

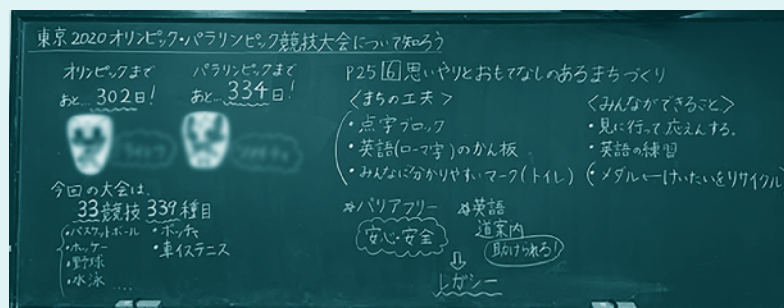
活用した日 9月26日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

東京2020大会のゴールドパートナーである東京海上日動火災保険で、東京2020大会に向けて行っている取り組みや、子どもたちへ伝えたいことを学び、学校の「市民科」という授業のオリンピック・パラリンピック教育で活用しようと考えました。学校ではパラリンピック競技の「ボッチャ」を体験したこともあるので、様々な経験を振り返りながら、東京2020大会に向けて自分に何ができるかを子どもたちに考えさせる授業にしました。

■活用内容

- 東京2020大会まであと何日かを当てるクイズの出題。
- 東京2020オリンピックマスコットと東京2020パラリンピックマスコット、競技・種目数についての紹介。
- 品川区オリンピック・パラリンピック学習教材『ようい、ドン! しながわ(1～4年)』の「思いやりとおもてなしのあるまちづくり」の単元から、まちの工夫やこれから自分ができること。
- 東京海上日動火災保険で取り組んでいる日めくり企画やパラリンピックスポーツについての紹介。



■子どもたちの感想

- 東京2020大会までに英語をもっと話せるようになって、外国人と話してみたいです。
- オリンピックやパラリンピックがとても楽しみになりました。
- きょうぎ数やしゅ目数が多くて、びっくりしました。

■小林先生の感想

普段教材研究では様々なことを調べますが、東京2020大会ゴールドパートナーの東京海上日動火災保険で学んだことがとても多く、実際に授業で活用し、子どもたちにも興味をもたせることができました。

企業の人材育成から学ぶ子ども一人ひとりの自己肯定感の上げ方

研修先企業 キッコーマン株式会社 (P.50)

研修時期 7月24日～7月26日

教員 東京都杉並区立新泉和泉小学校 武井 聡子 先生

活用方法 小学校4年生30名を対象に学級活動の時間で活用

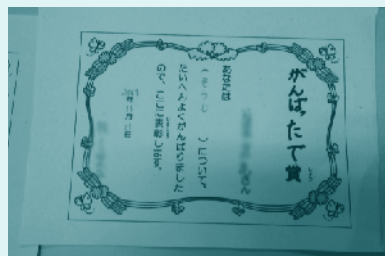
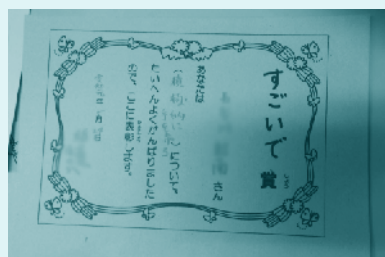
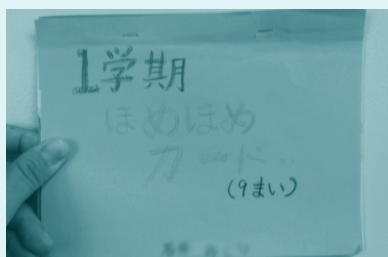
活用した日 10月上旬

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

キッコーマンの人材育成には、「役割要件書」というものがあり、階級や役職別に社員が目指すべき姿を明確にしています。また、業務上関係のある社員同士がお互いを認め合う仕組みとして、「KEPTカード」というものを贈り合います。これは、互いに活躍を認め合い、感謝の気持ちを言葉にしてカードを渡すという取り組みで、働くことへの意欲を高めたり、社員同士の信頼関係を築けたりできると思い、学級でも扱ってみたいと感じました。

■活用内容

- クラスの中で「ほめほめカード」というものを作り、日直がその日に活躍した子どもへ贈る取り組みを始めた。「がんばったで賞」「ありがとう賞」「すごいで賞」などを賞状にして、帰りの会にみんなの前で表彰できるようにした。



■子どもたちの感想

- 「ほめほめカード」で友だちにほめてもらって、自分の活やくを見てくれていた子がいてうれしかったです。
- たくさんカードが集まるのがうれしいです。帰りの会でもう一度みんなの前で自分の活やくを知らせてくれるのが照れるけどうれしいです。
- 「ほめほめカード」を書くときに友だちががんばっていることをいろいろ思い出すことは良いと思いました。

■武井先生の感想

最初は、仲の良い友だち同士で贈り合っていた「ほめほめカード」も、クラスの様々な子どもたちの活躍に目を向けられるようになり、子ども同士が良いところを見つけられるようになってきたので良かったです。

学級新聞を作ろう 目を引く見出しを考えよう

研修先企業 株式会社セレスポ(P.59)

研修時期 8月19日～8月21日

教員 東京都東大和市立第二小学校 村越 優斗 先生

活用方法 小学校4年生37名を対象に国語の時間で活用

活用した日 9月27日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

研修で学んだ「聞かれていなくても話したくなること、ふとしたときに目で追ってしまうこと」について、新聞の見出しを考えることに活かせると考え、国語科の「学級新聞を作ろう」という単元で使用しました。子どもたちの多くは、自分が伝えたいことを上手に言葉にすることが苦手です。そのため、人に自分の意思や考えを伝える手段として、新聞などの紙媒体があること、新聞を見てもらうためにはどのような工夫が必要なのかを考えることを通して、「伝える」ことの難しさと、上手に伝えられた喜びを感じてもらいたいと考え、授業を行うことにしました。

■活用内容

○授業の流れ

1時間目に新聞に必要な情報や新聞の構成について確認し、内容が良くても人に注目されなければ読んでももらえないこと、人の関心を引いて読みたいと思える見出しでなければ、読んでももらえないことなど、見出しの重要性について伝えた。

2時間目では、目当てを「目を引く見出しを考えよう」と設定し、前回の授業を振り返った。

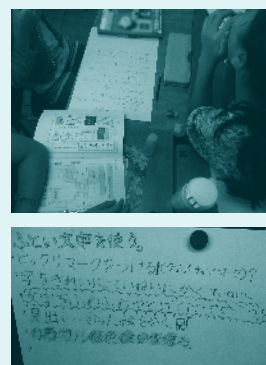
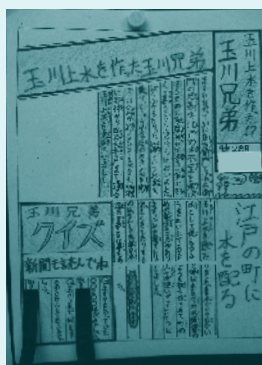
○子どもたちへの問い掛け

- ・ふとしたときに目で追ってしまうものは何か
- ・なぜ、目で追ってしまうのか
- ・見る人が気になる見出しを考えよう
- 「内容に関係した絵を描く」「きれいな字で書く」
- 「ギザギザの吹き出しを付ける」
- 「果たして～なのか!?!という文を使う」など意見が出た。

- ・見出しは何のために必要なのか

○まとめ

- 見出しとは、読んでもらうために必要である。
- また、そのためには工夫をしなければいけない。



■子どもたちの感想

- ただ目立たせればいわけじゃないことが分かりました。
- 今回はテーマが決まっていたので、今度は自分の好きなものについて書いてみたいです。
- 字がきれいだと内ようもいいものだと感じると聞いて、丁寧に書こうと思いました。
- クイズとかを入れても面白そうです。

■村越先生の感想

研修で教えていただいた、人に自分の意見を伝えたいときには、既存の考えを組み合わせたり、増減したりすること、そして、それを状況に合わせて効果的に使用することについて、子どもたちが考える経験になればよいと考え、授業を実施しました。結果として、子どもたちは難しい技術を使わなくても今まで培ってきた知識や経験を組み合わせれば、良い見出しができることに気付いていました。中でも、ただ好きな色を塗っていた子が、川のことを書くから水色で……など思案しているとき、研修で学んだことを伝えられたと実感しました。

SDGsを通して私たちが大切にしたいことは何だろう？

研修先企業 日本通運株式会社 (P.77)

研修時期 7月25日～7月26日

教員 神奈川県横浜市立幸ヶ谷小学校 江口 秀暁 先生

活用方法 小学校5年生35名を対象に総合的な学習の時間で活用

活用した日 9月11日

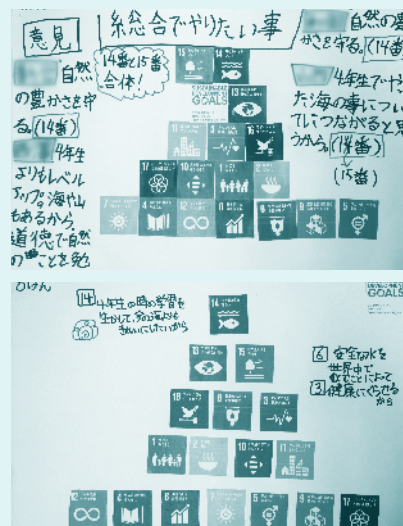
■活用した企業プログラムと実施に至るまで

日本通運の研修において、SDGsへの取り組みと事業活動の発展を両立させていくことが企業の責務であるとともに、これからさらに重要視されていくということを学びました。本校では、ESD(持続可能な開発のための教育)に取り組んでおり、今回の研修で学んだSDGsの観点から、改めて自分たちが大切にしたい物事を見つめ直す機会にしたいと考え、活用することにしました。

■活用内容

○SDGsの17のターゲットを「自分たちが大切にしたい項目」の順番に並び替えを行うことで、クラス全体が共通して大切にしたいことを考え、SDGsの視点から学習の方向性を見つめ直す。

- ①SDGsのロゴを提示しながら、日本通運をはじめ、多くの企業や団体でSDGsに取り組んでいることを知る。
- ②文部科学省ホームページのイラストや小学生向けの冊子を活用し、「SDGsとは何か」への理解を深める。
- ③総合的な学習の時間を通して、グループで「自分たちが大切にしたい項目」をピラミッド型に順番決める中で、大切にしたいと感じたことやその理由について話し合う。
- ④グループで話し合ったことをクラス全体で共有することで、今後自分たちが取り組んでいきたい大きなテーマや方向性についてまとめる。



■子どもたちの感想

- 海と森は関係していて、今年は森も守るような活動をしていきたいです。
- まずは自分たちの身近にある「⑦エネルギー」「⑭海」「⑮陸」を意識して、エコなまちづくりの学習をしていきたいと思いました。
- 昨年「⑭海の豊かさ」について学習してきたことを今年も続けていくことで、パワーアップさせたいと思いました。
- グループで話し合ってみて、みんなの海に対する思いが、昨年学習したときよりもさらに強くなっていると感じました。

■江口先生の感想

これまで子どもたちは、マイクロプラスチックやごみ拾いなど総合的な学習の時間で活動したい具体的な内容に関心をもって話し合っていました。そこで、本活動を行うことで、活動のゴールや活動の価値など「自分たちが大切にしたいこと」を見つめ直す機会にしたいと考えました。今回、大きなテーマであるSDGsの視点から、「自分たちが大切にしたいこと」を改めて考えることで、活動の意義や方向性について見つめ直すことができました。子どもたちはこれまで学習してきたこととのつながりや自分たちや学校、社会がどのように変わってほしいのかについて改めて気付くことができました。

授業で手を挙げるのはなぜか考えよう

研修先企業 中日本高速道路株式会社(P.72)

研修時期 7月24日～7月26日

教員 東京都杉並区立四宮小学校 小林 健一郎 先生

活用方法 小学校5年生29名を対象に学級活動の時間で活用

活用した日 9月2日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

研修担当の方から「正解病」について話がありました。「正解病」とは、考えを自分の言葉で話すことに責任を感じ、その考えが正解でないことを恐れて発言しない状況を表す造語です。「正解病」にかかってしまうと、自発的に行動できなくなり、生産性が低下してしまいます。また、その状況を変えるのは、答えの正解、不正解よりも、発言しようとした姿勢を承認することであると学びました。子どもたちが高学年になり、発言に消極的な子どもが増えてくる時期に、研修で学んだことを伝え、意識を変えていこうと考えました。

■活用内容

2学期の目標を立てる前に、授業で手を挙げて考えを発言することに、どのような意味があるのかを考える機会をもたせた。子どもたちからは、「自分の考えを伝えたり、広げたりするため」と、その良さを理解している様子だった。

しかし、「恥ずかしい」「間違えたらどうしよう」「そもそも答えが見つからない」など、挙手できない考えも出てきた。その後、教員が何を質問しても「グリーン」と答える「グリーンゲーム」を行った。全員が手を挙げて、一人ひとり堂々と「グリーンです!」と答え、周りの友だちや教員がその答えにうなずいた。子どもたちが答えられたのは、間違える心配がなく、答えに自信があり、周りの人が認めてくれたからだと感じた。

発言を増やしていくためにはどうしたらよいかを子どもたちに聞くと、「発言を否定しないこと」だと返答があり、もし答えが間違っていたとしても、発言したことを認めてあげる周りの友だちの態度が大切であると伝えた。



■子どもたちの感想

- 何を聞かれても答えるべきことが分かっていたら、不安なく手を挙げて発言でき、楽しく学習できました。
- これまでも手を挙げて発言していたけれど、その大切さを考えたことでこれからもっと発言しようと思いました。
- 友だちの発言が間ちがっていても、みとめるようにして、より良い関係をつくっていかうと思いました。

■小林先生の感想

「手を挙げる」という子どもたちにとって当たり前になっていることにも意味があり、その意味を理解して行動することで学びはより深まっていきます。また、発言した勇気を認め合うことは友だちの関係を深め、学級としての団結も強くなっていると思います。教員としてもこのことを意識し、継続できるよう声を掛けていきたいです。

安全を守るためにできること ～その時、あなたは どうする? 「もしも」に備えた命を守る行動とは～

研修先企業 古河電気工業株式会社(P.81)

研修時期 7月30日～8月1日

教員 東京都大田区立田園調布小学校 岩野 健太郎 先生

活用方法 小学校5年生31名を対象に特別活動の時間で活用

活用した日 9月14日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

昨今、自然災害のリスクは高まっており、被害を防ぐためには、日頃の準備が重要です。企業では、災害時に慌てないように、行動計画の文書化・行動計画の見直し、社員教育などの日常的に行っていることを「事業継続マネジメント」の研修で聞きました。

研修プログラムでは、想定外を想定内にするためには演習が大事だということで、「大田区ハザードマップ」を活用し、台風被害を想定したタイムライン訓練に取り組みました。

■活用内容

○集中(ゲリラ)豪雨を想定したタイムライン訓練

午前8時「ニュースで、東京は今日の夕方、大雨や雷を伴った豪雨になる予報を知った」、午後4時5分「大粒の雨が降り出し、雨粒はすごい強さで地面を叩きつけている」など、具体的な場面を想定し、シーンごとにどのような行動を取ることが適切かを、個人⇒グループ⇒全体で考え、日頃の備えの重要性を伝えた。



■子どもたちの感想

- どのような時がき陰なのか、何を見れば今の状態が分かるのかを知ることができて良かったです。
- けいかいレベルを確にんしたり、土のうを積んだりするなど、自分の考えになかったことも友だちから出てきたのが、印象的でした。
- 本当に災害が起きた時も、家族などに連らくをしたり、予定をずらしたりすることや、高いところに登るなど、工夫できるようにしたいです。

■岩野先生の感想

自然災害のリスクが高まっていることを知り、純粹に不安を覚えた子どもも少なくないが、場面ごとに「何ができるか」「何をすべきか」について友だちと知恵を出し合い、いざというときに取るべき行動が分かったことで、被害を少なくできると自覚した子どもが多いです。子どもたちにとって、自分や家族の命の尊さを再確認し、日頃から災害に備えることの大切さを知る貴重な機会になったので、今後も子どもたちと一緒に考えていきたいと思います。

みんなでやってみよう「PDCA!」もっとステキなクラスプロジェクト

研修先企業 株式会社豊田自動織機(P.71)

研修時期 7月29日～7月31日

教員 石川県金沢市立泉小学校 佐藤 哲 先生

活用方法 小学校5年生33名を対象に学級活動の時間で活用

活用した日 9月中旬

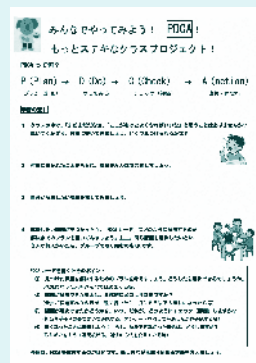
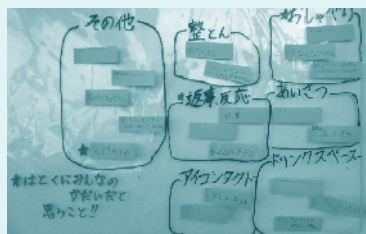
■活用した企業プログラムと実施に至るまで

研修の中で、PDCAサイクルを活用した社内改善プログラムの有効性を知りました。自ら課題を見だし、改善プランを考え、目標に対してどこまで達成できたのかを振り返り、改善に向けて取り組むサイクルを子どもたちに体験させることで、どのような物事に対しても問題意識をもって取り組んでいこうとする態度を育成したいと考えました。

■活用内容

○授業の流れ

- ①学級または学校全体で、もっと良くなったらいことや、改善できたらよいことについて一人ひとりが考え、思い付く限りたくさん付箋に書く。
- ②付箋に書かれたものをグループで課題ごとに分類し、明確化する。
- ③全員で明確化された課題を見せ合い、自分が解決に向けて取り組みたいことを選択し、改善プロジェクトを立ち上げる。
- ④プロジェクトを立ち上げたメンバーでPDCAカードを作成し、解決方法・解決できた姿(ゴール)・評価方法を記入する。
- ⑤各プロジェクトで改善に向けてPRと活動を進める。



■子どもたちの感想

- わすれ物をなくすためのプロジェクトを立ち上げました。クラスのわすれ物ゼロを目指し、そのための方法を友だちと話し合っているのが楽しかったです。話し合うと面白いアイデアがどんどんわいてきました。目標に向かって、今自分がやらないといけないことも見えてきました。
- PDCAをやってみて、自分の生活を見つめ直すことはとても大切だなと思いました。まだプロジェクトは始まったばかりだけど、これからいろいろなことに使えるなと思いました。

■佐藤先生の感想

これまで、学校業務の面でPDCAサイクルを活用することはあっても、子どもたち自身に活用させることはありませんでした。研修を通して、常に問題意識をもって自らに問い続けようとする態度を育成していきたいと感じました。実際に取り組んでみると、子どもからは意外な視点での課題や、ユーモアにあふれた改善策が出てきました。今回は、楽しみながらPDCAを体験してもらうという形でしたが、継続して取り組んでいくことで、今後様々な場面でPDCAの視点で物事を見つめていこうとする態度を育んでいきたいです。

6-2Valuesを考えよう! ～卒業までの7カ月をより良くしていくために～

研修先企業 国際石油開発帝石株式会社(P.53)

研修時期 7月24日～7月26日

教員 東京学芸大学附属世田谷小学校 宮田 浩行 先生

活用方法 小学校6年生32名を対象に学級活動の時間で活用

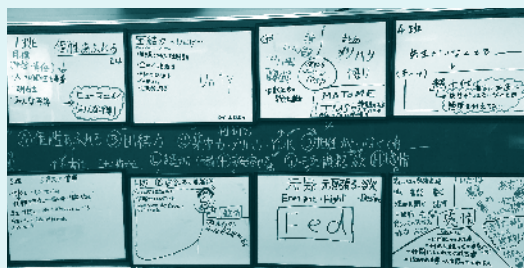
活用した日 8月30日、9月3日～9月4日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

企業理念である「INPEX Values」を知り、その考えや取り組みに感銘を受けました。そこで「学級目標」の作成を通じて、子どもたちの課題意識や良い姿への自覚を醸成したいと思いました。また、研修で学んだ自己評価の観点やステークホルダーとの関わりなど、様々な視点や立場で考えることを子どもたちに伝えるため活用しました。

■活用内容

- ①アイデアの出し方やまとめ方として、ブレインストーミングを行う。
・個人でクラスの良いところ(プラス)と悪いところ(マイナス)を付箋に書き出す
- ②KJ法を使って、グループ内で2軸4象限の表に付箋を貼り分けて整理する。
- ③整理したものにグループ名を付ける。
- ④「プラス」は大切にしていきたいところ、「マイナス」は未来の良いところと確認した。
- ⑤個人でValueになりそうな言葉を選び、8グループで共有する。
- ⑥全体で整理して出てきた言葉を各グループで学級目標として練り上げる。



■子どもたちの感想

- 個性を尊重すると、人が傷つくことが減るので、とても大事なことだと思いました。
- 自分の心の中をよく考えることができ、「もっとこうすればよかった」と改善点を見つけることができました。
- このような進め方をすると、班のメンバーがクラスに対してどう思っているのか分かったし、分析もしやすかったです。
- 良いところも悪いところもあまり出ないかなと思っていたけれど、たくさん出てきて驚きました。プラスとマイナスを整理すると、クラスに必要なことが見えてくる気がしました。

■宮田先生の感想

悩みなどを抱えているクラスの仲間を支えていこうという思いから活用することにしましたが、全体で意見を出すより、付箋を使って個人で意見を出したほうが課題に取り組みやすいと感じた子が多くいました。また、「学級目標」としてだけでなく、子どもたちが自分自身を見つめていった先に大切にしたい価値が見つかったこと、同じ思いをもつ仲間がいるということを知ることができたこと、みんなでクラスをより良く続けようと思えた、大切な時間になりました。今後、他の学級を担当しても、またやろうと思いました。

友だちと学び合い、プログラミングを体験してみよう

研修先企業 一般社団法人電子情報技術産業協会(P.66)

研修時期 7月31日～8月2日

教員 東京都東大和市立第十小学校 佐藤 誓 先生

活用方法 小学校6年生27名を対象に総合的な学習の時間で活用

活用した日 9月上旬

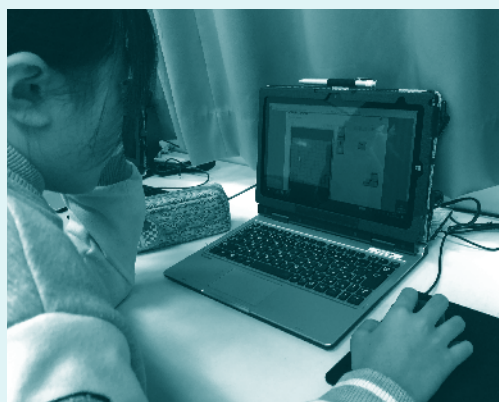
■活用した企業プログラムと実施に至るまで

研修で教えていただいた、効率的な手順を考えることがプログラミングであることを伝えました。また、実施していただいたJEITA アルゴリズム体験ゲーム「アルゴロジック」(<https://home.jeita.or.jp/is/highschool/algo/>)を使い、子どもたちにも体験してもらいました。

■活用内容

○自分たちの身の回りで、プログラミング(効率的な手順を考え、選択すること)をしていることがないかを考えさせた。子どもたちからは「朝起きてから行動する順番」「お風呂に入ったときの洗う順番」「算数のときに使っている数直線図の使い方」など意見が出た。子どもたちは、生活をする中で行っていることがプログラミングに通じていることを知り、親近感をもっていた。

○「アルゴロジック」の紹介をし、子どもたちにコンピューターを使ったプログラミングの体験をさせた。どのような手順にすればよいかを友だちと相談しながら取り組み、楽しく活動を行うことができた。



■子どもたちの感想

- 効率の良い手順を考えることができたときに気持ち良かったです。
- 難しかった手順も、友だちと相談をしながら考えることができたので良かったです。
- 身の回りのコンピューターに、自分たちが考えたような手順がプログラムされていることが分かりました。

■佐藤先生の感想

プログラミング教育という、つい難しく考え、身構えてしまっていました。「アルゴロジック」など、企業が制作したソフトを使って、気軽に子どもたちに体験させることができたので良かったです。子どもたちが興味を広げることができたことに、大きな価値があったと感じました。

将来設計について考えよう

研修先企業 日本証券業協会(P.75)

研修時期 8月7日～8月8日

教員 神奈川県横浜市立笹下中学校 埜口 香代子 先生

活用方法 中学校2年生約20名を対象に職場体験事前学習(キャリア教育)の時間で活用

活用した日 10月2日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

年代ごとにライフプラン、マネープランを考える必要があり、そのためにも社会に関心を持ち、アンテナを張ることでより良い人生が送れることを学びました。また、ワークショップを通して「社会のニーズ」に応える企業の必要性を感じたことを、これから職場体験を行う子どもたちに伝えることで、より高い意識をもって体験に臨んでほしいと思いました。

■活用内容

- 自分の5年後、10年後から60年後まで10年ごとに自分の理想像を書かせ、そのために今やるべきことを考えさせる。
- 様々な職業がある中で自分が生きがいを感じるとともに、必要とされる職業にはどのようなものがあるのかを考えさせた。それらを知るためにも日頃から社会に関心をもたせる。
- どの職業でも様々な形で社会に貢献している。
職業例として日本証券業協会を紹介し、
研修プログラムで学んだことの概要を伝える。



■子どもたちの感想

- まだ先のことだと思ったけど、今から自分の将来を考えていくことで、より具体的な目標ができました。
- 難しいことだけど、将来のことを今から考えることは大切なことだと思いました。
- 自分の5年後、10年後などを考えるのは楽しかったです。将来は自分の理想の人生を送れるような職業に就きたいと思いました。

■埜口先生の感想

中学2年生は自分の進路に対する意識もまだ薄いですが、職場体験をきっかけに働くことの意識や生きがいなどを感じると思います。今回は実際に自分の〇年後がどうなっているか、どうなっていたいかを考えることで、将来を意識するきっかけになったので、職業への高いモチベーションをもって職場体験に臨めると期待しています。

車いすの視点で校舎内を移動してみよう!

研修先企業 三菱地所株式会社 (P.84)

研修時期 8月19日～8月21日

教員 東京都立城南特別支援学校 郭 雅文 先生

活用方法 高等部3年生5名を対象に学級活動の時間で活用

活用した日 10月4日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

研修プログラムのホテル見学やインバウンドの取り組み、障がいのある方のための街づくりやサポート体制について学び、三菱地所の街づくりを通じた社会に貢献することへの思いが強く感じられました。その思いをサポートされる側のみでなく、サポートする側としても生徒自身が何か社会に貢献できることはないか、と考えるための授業として活用しました。

■活用内容

- ① 生徒は全員、日頃から車いすで学校生活を送っている。そこで、車いす利用者の視点で、普段何気なく過ごしている校舎内を車いすで移動し、危険な場所や移動が難しい場所、また、安全に通行できるよう工夫されている場所などをチェックする。
- ② ①で発見した場所がどこで、どういった場所なのか発表する。
- ③ ②について生徒同士で意見交換を行い、危険な場所や改善できる場所がないか確認して、再度発表する。



■生徒たちの感想

- 校舎の廊下を曲がる時に気を付けないと、反対側から来た人とぶつかってしまうことが分かりました。
- 校舎の中を毎日車いすで移動しているが、それでも気が付かない危険な場所や安全に通行するために工夫されている場所がありました。
- スロープの下は、車いすにとって危険な場所ですが、学校では天井にセンサーで反応するランプを取り付けて接近者を知らせていたり、壁に衝突防止のクッションを設置していたり、万一の場合に備えて、安全に通行するための工夫を見ることができました。

■郭先生の感想

毎日過ごしている校舎内にも危険な場所が潜んでいることや、危険を回避するために工夫されている点がたくさんあることを再確認しました。この授業を通し、私自身も多くの気付きがあり、車いすを押すときは押される側の視点で考えるようになりました。また、普段サポートされる側の生徒も、自分たちは気が付いても、健常者には気が付かない視点であることが多く、それを周囲へ伝えることで社会への貢献になることを学んだと思います。

子どもや保護者とのより良い関係づくりを目指して

研修先企業 東京ガス株式会社 (P.68)

研修時期 8月6日～8月8日

教員 神奈川県横浜市立朝比奈小学校 奥田 俊輔 先生

活用方法 若手教員10名を対象に校内OJT研修の時間で活用

活用した日 8月26日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

CSの研修を通じて、企業が社会から何を求められているかを追求していると知り、この考え方は企業だけに限らず、私たち教員にも当てはまることだと感じました。

若手教員から「保護者や子どもの対応」について相談をされることが多く、まずは教員側の考え方を变えることで、保護者や子どもの教員に対するイメージや考え方も変わるのではないかと思います、教員に対する研修を実施しました。

■活用内容

OJTメンター研修の中で、東京ガスのCSに関する研修を通じて学んだことやこれまでの自分自身の経験をもとに話した。

①保護者や子どもたちの現状について

共働きの家庭が多く、保護者は子どもと一緒に過ごす時間が少ない状況を理解した上で、教員がどのように子どもたちと接するべきか意見交換をした。

②保護者や子どもたちの思いを把握する

保護者や子どもたちとの、普段の地道なコミュニケーションが大切で、そうすることで子どもたちの実態を把握しやすくなると伝えた。(例：習い事、家で頑張っていること、好きなことなど)

③子どもの対応で保護者に相談したいとき

まずは子どもが学校で頑張っていることを先に伝え、その後、家でも指導してほしいことなどを伝える。最後はフォローになるような前向きな声掛けをする。

④教員の立場

自分の利益だけを考えるのではなく、目の前の子どもたちにとってより良いことを考え、常に謙虚な姿勢で行動や発言をすることが大切であることを伝えた。



■教員たちの感想

○教員がどのような気持ちで保護者や子どもたちと接すればよいか考えることができました。接し方次第で相手との良好な関係づくりを築けていけることが分かりました。

○教員は、保護者や子どもたちにとって、どのような存在なのかを一人ひとりがしっかりと考え、それぞれの期待に応えることができるように考えていきたいです。

■奥田先生の感想

相手の状況や立場、実態を把握した上で、相手の期待や要望にどのように対応していくかを考えていく必要があります。自分自身もアンテナを高くし、教員に関わることでなく、今回の企業研修のような違う角度から物事を考える機会があれば、積極的に参加していきたいです。

多様性と人権を尊重する環境づくり

研修先企業 野村ホールディングス株式会社(P.79)

研修時期 7月24日～7月26日

教員 東京都足立区立足立小学校 岡田 沙織 先生

活用方法 教員40名を対象に人権教育研修会の時間で活用

活用した日 9月2日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

「野村のダイバーシティ&インクルージョン」の中で、LGBTについて学びました。また、東京2020大会の取り組みでもLGBTについての配慮がされていると教えていただき、教員として知っておかなければならないものであると思い、同僚に共有しようと考えました。

■活用内容

- LGBTや性の構成要素、職場や授業、教育相談の場面で起こりうる事例などについて伝える。
- 校内で気になることについて個人で振り返る。
- 個人の振り返りをグループで共有し、取り組み目標について話し合う。



具体的なハード面での対応事例	
項目	学校における実践の事例
服装	にぎやかな性別の制服・私服、特等席の着用が認められる
靴	履きやすい靴型や一定の範囲で認められる(黒靴上履)
更衣室	更衣室・多目的トイレ等の利用も認められる
トイレ	職員・生徒・保護者の利用も認められる
喫煙禁止	校内喫煙(禁煙区画あり)を禁止し、喫煙する生徒は喫煙する場所を指定する(喫煙区画あり)
給食	給食又は給食代金にあっては、アレルギーを配慮する
水泳	上半身が覆われる水着の着用を認める(黒靴上履)
運動部活動	運動部活動に参加する生徒は、運動部活動に参加する
体育祭行脚	1人参加の参加を認める(黒靴上履)

■教員たちの感想

- 親しみを込めて「～ちゃん、～くん」と呼んでしまうことがあるので、「～さん」で統一するなど気を付けたいです。
- LGBTの方々が特別な存在ではないという、自分自身の意識改革が必要だと思いました。
- 並び方や学校行事の対応など、これまで男女を区別していましたが、区別する必要があるのか考え直すべきだと感じました。

■岡田先生の感想

私自身が思っていたより、同僚の意識が様々であったことに驚きました。企業には、課されている性的マイノリティーへの対応について、学校現場では取り組みが遅れていることに気付くことができました。また、この機会に他校での先進的な取り組みも共有することができ、とても有意義な研修になったと思います。

校内安全への意識を高めるために

研修先企業 西日本旅客鉄道株式会社 (P.73)

研修時期 8月19日～8月21日

教員 大阪府高槻市立芝谷中学校 古家 昭二 先生

活用方法 教員44名を対象に校内会議の時間で活用

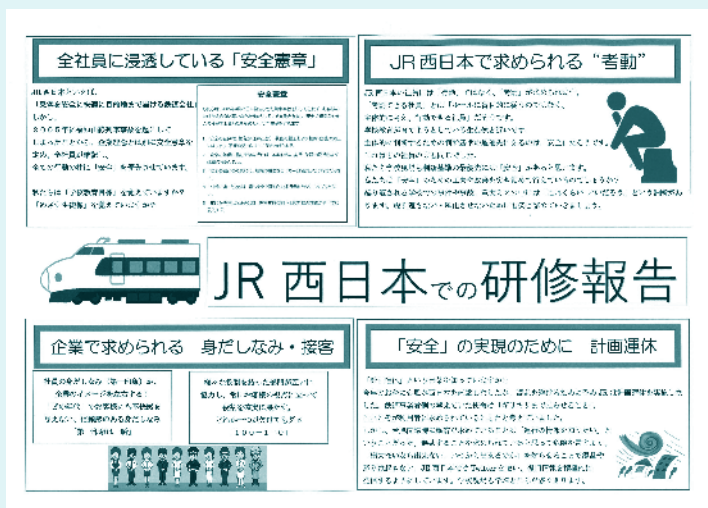
活用した日 8月30日

■活用した企業プログラムと実施に至るまで

CSの取り組みやお客さまサービスの話から、西日本旅客鉄道が行う「考動」できる人材の育成について興味をもちました。また、安全対策を行う企業の努力や工夫について学んだり、計画運休への取り組みの話聞いて、研修で得たことを他の教員にも共有することで、学級運営や学校行事、保護者対応に潜むリスクアセスメントを見直すきっかけになると考え、校内会議で活用しました。

■活用内容

- 校内企画会議内で研修の報告を行う。
- 職員会議において、西日本旅客鉄道が行っている安全を追求する姿勢や工夫について報告する。
- 校内の安全指導の担当会議で、人為的ミスは発生するという視点で予防策や対応策を検討する。



■教員たちの感想

- 計画運休に対する利用者の反応は、学校運営の様々な場面で応用できると感じます。
- 学校が育成したいと考えている「主体性」が、企業でも求められていることに驚きました。
- 企業で求められている安全に対する意識は、学校でも追求していくべきだと感じました。

■古家先生の感想

学校では、小さなミスが事故や重大なミスにつながる可能性が高く、今回企業で学んだ安全に対する意識の高め方や徹底する姿勢は、校内でも広めていかなければならないと思います。研修内容を報告し、どの教員も安全が最優先であることを確認できたので、今後はどれだけ安全に対して突き詰めていけるか考えていきたいです。

企業別研修レポート

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社

企業からのメッセージ 企業活動の考え方や人材育成についての取り組みを、現地・現物で体験を通して理解していただくことにより、モノづくりの楽しさ・厳しさや、夢や目標をもつことの大切さを、将来を担う子どもたちへ伝えていただきたいと思います。

受け入れ実績 11年目 実施日 8/6(火)～8/7(水) 参加教員数 2名(愛知県の教員)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 人材育成
- 3 A/T組立実習(オートマチック・トランスミッション)

2日目

- 1 技能学園生の活動見学
- 2 AW博物館見学
- 3 工場見学
- 4 モノづくり体験実習(文鎮製作)
- 5 振り返り、意見交換

クローズアップ

A/T組立実習

- 安全教育
- A/T組立実習
- 指導方法実演

A/Tの組立実習を通して品質・安全へのこだわりを知ってもらうとともに、当社独自の「教えない教え方」の指導方法を体感し、授業カリキュラムを具体化することで、子どもたちの教育に活かしていただきたいと思います。

参加教員の声

- 安全の徹底や、コミュニケーションを図るために用意されたボードが、ダイバーシティ推進に効果的だと感じました。
- 身近な「ねじ」が、実は様々な技術や道具を使い、細心の注意を払って製作されていることを子どもたちに伝えます。
- A/T組立実習での「教えない教え方」を、先輩にぜひ実践したいです。



A/T組立実習



モノづくり体験実習(文鎮製作)

旭化成株式会社

企業からのメッセージ 旭化成が当社を取り巻く様々な立場の人々と良好な関係を保つよう活動していることを理解いただき、環境への取り組み・人材育成・社会貢献などの取り組みが学校経営の参考になればと思います。

受け入れ実績 9年目 実施日 8/8(木) 参加教員数 15名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 旭化成グループ概要
- 2 川崎製造所概要
- 3 「川崎現場力革新(KIP)」活動概要
- 4 川崎製造所見学
- 5 安全訓練センター見学・体験
- 6 振り返り

クローズアップ

川崎製造所、安全訓練センターの見学・体験

- 不安全に陥りやすい人間の特性を知り、危険を察知し、回避するための行動の方法を学ぶ
- 安全訓練センターの見学、安全体験(ロール挟まれ、大量噴出、やけどなどの疑似体験機器の見学と体験)

石油化学工場で従業員の安全教育を実際に体験することで、災害発生の原理を学び、安全に対する感性を向上させ、学校現場での事故回避に役立てていただければと思います。

参加教員の声

- 安全訓練センターの見学で、安全意識の向上を目指して、日々丁寧な取り組みが行われていることが分かりました。
- 人材育成は一人ひとりに合わせ、毎年見直されており学校経営でも取り入れたいです。
- 手のひらと甲の温度の感じ方の違いや、乾いた布と濡れた布の熱伝導の違いなど、子どもたちに伝えます。



川崎製造所の概要を学ぶ



川崎製造所を見学

朝日生命保険相互会社

企業からのメッセージ 企業ビジョン「一人ひとりの“生きる”を支える～社会に貢献し、お客様から信頼され、選ばれ続ける朝日生命～」を掲げ、お客さま満足の向上に取り組んでいます。今回の研修が教育現場において気付きの一助となればと思います。

受け入れ実績 7年目 **実施日** 8/22(木)～8/23(金) **参加教員数** 19名(東京都品川区教育委員会、東京都杉並区教育委員会、東京都練馬区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 生命保険会社のマーケット戦略
- 3 商品開発戦略
- 4 役員との意見交換
- 5 広報活動
- 6 働き方改革推進
- 7 朝日生命ポジティブ・アクション
- 8 新入社員教育
- 9 代理店チャネルの現状と取り組み

2日目

- 1 営業所朝礼見学
- 2 ICTなどの活用による業務運営の革新
- 3 お客様サービスセンター見学
- 4 ライフプラン作成
- 5 コンピューター棟見学
- 6 朝日生命体操教室見学

クローズアップ

一人ひとりの“生きる”を支える

- 商品開発戦略
- お客様サービスセンター見学
- ライフプラン作成
- 役員との意見交換

生命保険事業に対する理解を深め、朝日生命の様々な取り組みを通じて、お客さまや社会に対して責任を果たしていくことの大切さを理解し、新たな気付きを得るきっかけになればと思います。

参加教員の声

- 商品開発戦略では、実際に保険を作る活動を行い、様々な視点から考える必要性を学びました。
- ICTを活用した業務の効率化や、個人情報・セキュリティ管理への意識の高さと技術に感銘を受けました。
- 子どもたちに、将来について考えることの重要性やお金の大切さを伝えます。



役員との意見交換



新入社員教育を学ぶ

アズビル株式会社

企業からのメッセージ 将来、社会に出る子どもたちを育成する職務を担っている教員の皆さまに、企業の活動やそこで活躍するために必要な経験や人材育成を知っていただき、感じたことを教育現場で活かしていただければと思います。

受け入れ実績 2年目 **実施日** 8/22(木)～8/23(金) **参加教員数** 3名(東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 藤沢テクノセンター見学
 - 省エネへの取り組み
- 2 湘南工場見学

2日目

- 1 企業安全衛生委員会への参加
- 2 安全・環境・品質・衛生活動への取り組み
- 3 意見交換

クローズアップ

企業活動、安全・環境・品質・衛生活動などについて知る

- 工場見学、省エネ見学
- 企業安全衛生委員会への参加
- 安全・環境・品質・衛生活動について知る

企業がどのような視点をもって活動しているのか、なぜ、安全・環境・品質・衛生活動などが重要なのか、また、企業活動を通じて社会にどのように貢献しているかを知っていただければと思います。

参加教員の声

- 藤沢テクノセンターでは、省エネの取り組みにおいてもオートメーション化されていて、無駄がなく素晴らしいと思いました。
- 環境への取り組みは、科学的なものだけでなく、社員一人ひとりの意識改革にまで取り組んでいたことに驚きました。
- 業務の確認を複数人体制で行うなど、業務管理の方法を教育現場に伝え、活かします。



展示スペースを見学



湘南工場を見学

株式会社伊予銀行

企業からのメッセージ 地域社会を存立基盤とする伊予銀行の事業に対する考え方や、具体的な取り組みを紹介します。同じ地域で働く社会人として、教育と金融というそれぞれの分野で互いに啓発し、つながりあえる機会になればと思います。

受け入れ実績 9年目 **実施日** ①8/21(水)、②8/23(金)、③8/21(水)～8/23(金) **参加教員数** 9名(愛媛県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 企業概要、銀行業務
- 2 本店営業部見学
- 3 CSRの取り組み、金融教育
- 4 ビジネスマナー

2日目

- 1 CS向上のための取り組み
- 2 TQC手法
- 3 金融リテラシー
- 4 CSRの取り組み
 - 小学生向け「夏のキッズセミナー」見学
- 5 本部見学

3日目

- 1 金融犯罪
- 2 マーケティング
- 3 コンプライアンス
- 4 コンサルティング営業
- 5 意見交換

※3日間の研修を主体に1日の研修も2回行いました。

クローズアップ

銀行業務・ESG(環境・社会・ガバナンス)とSDGsへの取り組み

- 企業理念
- 事業トピックス
- ESGとSDGsへの取り組み

企業理念に基づく伊予銀行の業務と地域経済への関わりをお伝えします。当行が、地域の皆さまから10年後も必要とされる銀行を目指し、本業に加えてESGとSDGsに関する活動をしていることを理解いただければと思います。

参加教員の声

- 銀行窓口の人数からは想像できないほど多くの人が銀行業務を支え、様々な業務や取り組みがあることに驚きました。
- 銀行業務のほか、ESGやSDGsへの取り組みを知ることができ、自分の視野を広げることができました。
- 子どもたちと「まちたんけん」で地域の銀行を訪問し、銀行の役割を伝えます。



宇和島支店内を見学



銀行業務や銀行を取り巻く環境を学ぶ

SMBC日興証券株式会社

企業からのメッセージ 証券会社の業務内容や役割、CSRの取り組みやSDGs達成のための取り組みについて理解すると同時に、ワークショップを通して、将来を担う次世代への金融経済教育の育成の一助としていただければと思います。

受け入れ実績 20年目 **実施日** 7/25(木) **参加教員数** 17名(東京都杉並区教育委員会、東京都港区教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 CSRの取り組み
- 3 障がい者雇用の取り組み
- 4 トレーディングルーム見学
- 5 非対面チャネルでの取り組み
- 6 セミナー
 - 株式の基礎
 - 投資信託の基礎
- 7 出張授業について(授業・カードゲーム体験)
- 8 ワークショップ
 - 金融経済教育についてのディスカッション
 - 「先生の夏休みの自由研究」
 - 発表、意見交換

クローズアップ

ワークショップ「先生の夏休みの自由研究」

- 振り返り
- グループワークで現状の金融経済教育の課題抽出と、今後の推進策の検討
- グループごとの発表、意見交換

研修の振り返りを行うとともに、教育現場の教員の視点で、金融経済教育について考えるきっかけにいただければと思います。

参加教員の声

- ブラインドサッカーの支援や災害支援活動など、金融以外の分野でも私たちの生活に関わっていることに驚きました。
- カードゲームを通して、難しい金融用語も身近に感じられました。
- 企業がSDGsの達成に向けて努力していることを具体的に子どもたちに伝え、学級でもできることがないか一緒に考えます。



証券業界、金融商品について学ぶ



ワークショップの様子

株式会社NTTデータだいいち(NTTデータ特例子会社)

企業からのメッセージ 障がいのある社員と業務を体験することで「知識や学力」だけではなく、社会にこぎ出す準備として「協調性・主体性・創造力」など社会人基礎力を醸成することも、教育現場で意識していただければと思います。

受け入れ実績 10年目 **実施日** 8/5(月)～8/7(水) **参加教員数** 2名(東京都教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 NTTデータだいいち会社概要
- 2 社内見学
- 3 古紙再生工場見学・業務体験
- 4 ITサービス事業部概要

2日目

- 1 自動販売機業務体験
- 2 コンビニエンスストア支援業務体験
- 3 NTTデータ会社概要
- 4 役員との意見交換

3日目

- 1 名刺作成業務体験
- 2 障がいのある社員との意見交換
- 3 振り返り・意見交換

クローズアップ

チームビルディングをテーマとしたワークショップ

- チームごとにペーパータワー作成
- タワー作成後のミーティング
- チームワークについてのディスカッション

特例子会社で働く社員と共同作業をすることで、特性や考え方を知らずきかけとし、チーム内での役割分担や、どうすればチームがうまくまとまるかを一緒に考えていただきました。

参加教員の声

- 社員の方とチームで共同作業を行い、自己と他者を尊重し合い目標を達成していくための視点を改めて学びました。
- ITサービス事業部で在宅勤務の在り方や必要性について学び、障がい者雇用の多様性が分かりました。
- 特例子会社の意義や、主体性を活かした働き方がされていることを同僚に伝えます。



ペーパータワー作成のミーティング



ペーパータワーのワークショップ

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

企業からのメッセージ MS&ADグループが目指す「レジリエントでサステナブルな社会」をテーマに、SDGsの実現に向けて、様々な取り組みを紹介し、体験することで、次世代を担う子どもたちの教育に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 1年目 **実施日** 8/19(月)～8/21(水) **参加教員数** 13名(東京都東久留米市教育委員会、東京都三鷹市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 MS&ADグループの概要
- 2 サステナビリティの取り組み
- 3 サステナビリティコンテスト概要
- 4 「乳がんセミナー」と「高齢者疑似体験」(三井住友海上あいおい生命)
- 5 生物多様性保全の取り組み(三井住友海上)

2日目

- 1 デジタル社会の最新動向(三井住友海上)
- 2 ダイバーシティ&インクルージョンの取り組み
- 3 ダイバーシティワークショップ
- 4 オリジナルビジネスゲーム「life 100」(三井住友海上プライマリー生命)

3日目

- 1 オリパラと共生社会(あいおいニッセイ同和損保)
 - 障がい者スポーツ「ボッチャ」体験
- 2 振り返り

クローズアップ

オリジナルビジネスゲーム「life 100」

- 三井住友海上プライマリー生命が開発したカードゲームで人生100年時代をリアルに体感
- 「人生寿命」と「資産寿命」の2つのキーワードについて考えるMS&ADグループが取り組むSDGsの理解

人生を疑似体験することで、今後の人生において「何をやりたいか」「何をやるべきか」を考え、将来の夢やキャリアに向けて視野を広げる機会とし、教育現場において、子どもたちへ今後の人生におけるアドバイスの参考にいただければと思います。

参加教員の声

- 「life 100」では、イメージや目標をもつことや、危機感をもつこと、多面的な視点で考えることの重要性を実感しました。
- 私たちを取り巻く環境が日々変化していることを再認識し、そのためにやるべきことを考えたいと思います。
- 日々の生活における私たちの行動がSDGsにつながっていることを子どもたちに伝えたいです。



カードゲーム「life 100」で「人生100年時代」を体感



障がい者スポーツ「ボッチャ」を体験

大阪ガス株式会社

企業からのメッセージ 地球にやさしい天然ガスの普及を通じた環境負荷軽減や、防災への取り組みによる安全・安心な暮らしの実現など、地域社会への貢献を目指す大阪ガスやDaigasグループの取り組みを理解し、教育に役立てていただければと思います。

受け入れ実績 29年目 実施日 7/31(水)～8/1(木) 参加教員数 9名(京都市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 グループの事業内容
- 2 人事制度、教育制度
- 3 保安への取り組み
- 4 泉北製造所・ガス科学館見学

2日目

- 1 広報活動、インターナルブランディング
- 2 ハグミュージアム見学
- 3 防災クッキング体験講座
- 4 次世代教育、コミュニティ活動、社会貢献活動
- 5 グループワーク
- 6 意見交換

クローズアップ

次世代教育の施設見学・プログラムの紹介

- 泉北製造所・ガス科学館見学
- 考える防災教室
- 防災クッキング体験講座

施設見学や教育プログラムの体験を通して、大阪ガスやDaigasグループが取り組む事業について理解を深めていただくとともに、施設やプログラムの活用もあわせ、学校教育に役立てていただければと思います。

参加教員の声

- 防災について学び、「防災クッキング」や「考える防災教室」のプログラムを活用したいと思いました。
- 人事制度では、新入社員を組織全体で大切に教育するという企業の姿勢を強く感じました。
- 都市ガスがどのように製造され、どのように送られているのか分かりました。資源の大切さを子どもたちと再確認したいです。



大阪ガスが考える「ちょっと未来の暮らし」を見学



災害時に備える「防災クッキング」を体験

一般社団法人大阪銀行協会

企業からのメッセージ 銀行業務の講義や日本銀行・造幣局・手形交換所などの見学を通じて、金融知識を高め、マネープランゲームの体験を通じて確認し、人生でのお金の大切さを今後の学校教育で役立てていただければと思います。

受け入れ実績 7年目 実施日 7/31(水)～8/2(金) 参加教員数 7名(大阪府高槻市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 日本銀行大阪支店見学
- 2 金融機関の種類、機能と役割
- 3 模擬授業(銀行のしごと)

2日目

- 1 銀行支店長の仕事
- 2 現場における問題解決
- 3 造幣局見学
- 4 特殊詐欺被害の現状と対策

3日目

- 1 大阪手形交換所見学
- 2 手形小切手の仕組み
- 3 三井住友銀行大阪手形交換センター見学
- 4 手形交換の仕組み
- 5 生活設計・マネープランゲーム体験
- 6 意見交換

クローズアップ

金融教育に関する講義

- 金融機関の種類、機能と役割
- 「銀行のしごと」と「あなたと銀行のかかわり」
- 「銀行支店長の仕事」と「現場における問題解決の方法」

社会の中で銀行がどのような役割を担っているか、また、どのように利用されているかを知るとともに、現場の長である支店長のリーダーシップや問題解決への取り組み方も理解し、今後の教育活動に役立てていただければと思います。

参加教員の声

- 電子マネーやウェブ決済など、現金を介さない経済活動が普及する中で、お金の価値の理解は重要だと感じました。
- 時代の流れとともに銀行の役割や人材育成、お客さまの対応を変えるという点が学校現場にも通じると感じました。
- 人生には様々な選択肢があることを子どもたちに伝え、生活設計を考えてみたいと思います。



銀行支店長の仕事を学ぶ



現場における問題解決の方法を学ぶ

株式会社大林組

企業からのメッセージ 事業活動を通じて社会に貢献するという考えに基づいた様々な取り組みを理解いただき、教育現場に活かすとともに、建設業の魅力を子どもたちに伝えていただければと思います。

受け入れ実績 12年目 実施日 8/1(木)～8/2(金) 参加教員数 11名(東京都教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要説明
- 2 人材育成の取り組み紹介
- 3 建設現場見学

2日目

- 1 CSR・ESGの取り組み紹介
- 2 技術研究所見学
- 3 意見交換

クローズアップ

建設現場・技術研究所見学

- 建設現場見学
- 技術研究所見学と最先端技術体験
- 人材育成・組織のマネジメント

建設業のダイナミックなスケール、モノづくりの醍醐味やモノづくりを支える技術などを理解し、人や組織のマネジメントなどを学校教育の参考にしていただければと思います。

参加教員の声

- 建設中のシールドトンネルの見学では、実現しようとしている工事の規模の大きさに圧倒されました。
- 技術研究所で、自然光や風の利用、照明・空調システム、席の配置など、オフィスに用いられる技術・工夫の全てが興味深かったです。
- 技術革新は、地道な努力の上に成り立っていることを子どもたちに伝えます。



シールドトンネルの工事現場を見学



技術研究所で5Gを活用した遠隔操作システムのシミュレーションを体験

オムロン株式会社

企業からのメッセージ 企業理念を通じて社会に貢献していく姿勢やチャレンジ精神を、研修や工場見学などを通じて体験いただき、今後の教育現場で活かしていただければと思います。

受け入れ実績 28年目 実施日 7/25(木)～7/26(金) 参加教員数 13名(京都市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 コミュニケーションプラザ見学
- 3 理念浸透の取り組み
- 4 働き方改革
- 5 ダイバーシティの取り組み
- 6 人事処遇制度・評価制度
- 7 人財育成
- 8 意見交換

2日目

- 1 オムロン京都太陽見学
- 2 京阪奈イノベーションセンタ見学
- 3 リスクマネジメントの取り組み
- 4 人権の取り組み
- 5 意見交換

クローズアップ

京阪奈イノベーションセンタ見学

- 京阪奈イノベーションセンタ紹介
- 施設見学・最先端技術体験(卓球ロボットなどデモ機体験ほか)
- 意見交換

オムロンが目指す人と機械が融和し、互いの適性を発揮して生産性を高めたり、人の能力や可能性を引き出す未来を創る技術や、モノづくりの現場を体験いただき、教育現場での課題解決の参考にしていただければと思います。

参加教員の声

- 京阪奈イノベーションセンタで、最先端技術がどのようにして生まれ、どのように活用されていくのかが分かりました。
- 一人ひとりの特性に合わせ、必要に応じた機械が導入されているのを見て、人と機械の協働の素晴らしさに感動しました。
- 「できない」ではなく「どうしたらできるか」という視点は、すぐ取り入れたいです。



オムロン京都太陽を見学



グループワーク

オリックス株式会社

企業からのメッセージ オリックスはリースを起点に保険、銀行、不動産など多分野へ事業を広げ続けてきました。常に新しいことに挑戦し続け、ブランドスローガンである「ほかにはないアンサーを。」を生み出す源泉を感じていただきたいと思います。

受け入れ実績 7年目 実施日 8/5(月)～8/7(水) 参加教員数 40名(東京都足立区教育委員会、東京都江戸川区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 グループ概要
- 2 グループ人事部(コーチング研修)
- 3 環境エネルギー本部
- 4 農事業部
- 5 オフィス見学
- 6 代表執行役社長講話

2日目

- 1 オリックス自動車(安全運転支援サービス)
- 2 オリックス・レンテック(レンタルビジネス)
 - 東京技術センター見学・体験

3日目

- 1 グループ戦略部門(新規事業の進め方、求められる人財)
- 2 オリックス不動産(ホテル・旅館運営事業)
- 3 オリックス水族館(水族館事業の理解)
 - すみだ水族館見学

クローズアップ

レンタルビジネスの理解、東京技術センター見学

- オリックス・レンテックのレンタル事業の歩み
- 東京技術センター見学
- 最新ロボットやドローンの体験

レンタルビジネスを理解するとともに、近い将来、子どもたちにとって身近になるであろう、様々な最新ロボットを見ることで、日頃の教育現場で役立てられるヒントを得ていただければと思います。

参加教員の声

- 「隣へ隣へ」と自分ができることの範囲を少しずつ広げることで成長できるという考え方に刺激を受けました。
- コーチング研修で行ったタイプ分け自己診断テストは、教員育成やキャリアプランに活用できると思いました。
- 所有するもの、レンタルするものを見極めを学校現場に効果的に取り入れます。



コーチング研修を体験



オリックス・レンテックで最新ロボットを見学

カシオ計算機株式会社

企業からのメッセージ カシオのモノづくりの根底に流れる「情熱&継続する力」「社会への貢献」の理念を子どもたちに伝えていただくとともに、企業という異なる環境で、学校運営や保護者との関わりなどの気付きの機会になればと思います。

受け入れ実績 16年目 実施日 7/24(水)～7/26(金) 参加教員数 12名(東京都教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要・製品紹介
- 2 企業におけるデザイナーの役割
- 3 グローバルブランドマーケティング
- 4 人事制度
- 5 時計開発

2日目

- 1 お客様相談窓口の現場
- 2 「受け取り手」を思っている
- 3 ショールーム見学
- 4 梶尾俊雄発明記念館見学

3日目

- 1 CSRの取り組み
- 2 環境への取り組み
- 3 本社施設見学
- 4 教育現場におけるカシオ製品
 - 電子辞書・電卓・プロジェクター・電子黒板

クローズアップ

梶尾俊雄発明記念館の見学

- 世界初の小型純電気式リレー計算機「14-A」による計算のデモンストレーション
- 発明にかける情熱・思い
- 発明商品の紹介

メーカーの根幹になる商品がどのような思いで作られたか、また、創業者の思いや考えを実際の商品とともに知ること、商品開発にける熱い思いを感じていただければと思います。

参加教員の声

- 梶尾俊雄発明記念館で、諦めずに追求する姿勢、情熱をもって仕事をする大切さを感じました。
- お客様相談窓口では、保護者対応との共通点も多く、相手の要求を見極め、組織として対応する重要性を学びました。
- 強みを分析し魅力を伝えるための工夫を、子どもたちとの関わりに活かします。



グループに分かれてデザイナー講習



梶尾俊雄発明記念館を見学

鹿島建設株式会社

企業からのメッセージ 建造物が完成に至る背景には、技術開発・設計・施工管理・専門工事といった様々な仕事があることや、建設業における女性活躍推進を知り、次世代を担う子どもたちに建設業の魅力を伝えていただきたいと思います。

受け入れ実績 11年目 **実施日** 8/20(火)～8/22(木) **参加教員数** 20名(神奈川県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 鹿島と建設業
- 2 技術研究所見学

2日目

- 1 土木現場見学
- 2 安全衛生・労働管理
- 3 女性活躍推進

3日目

- 1 建築現場見学
- 2 グループワーク、振り返り

クローズアップ

建設業の仕組みを知り、教育現場に活かす

- 建設業の仕組みと鹿島の安全衛生・労働管理・女性活躍推進・人材教育の取り組み
- 技術研究所と建設現場(土木・建築)見学
- グループワーク(研修で学んだことを教育現場でどう活かすか)

鹿島のマネジメント体制や人材育成のノウハウ、安全衛生・労働管理の手法などを学び、建設現場や技術研究所の見学で実際に体感したことを、学校教育の現場に活かしていただければと思います。

参加教員の声

- 人を育てる熱意や、仲間への思い、モノづくりの楽しさを熱く語る現場監督の情熱と人柄に感銘を受けました。
- 女性総合職の育成や働き方改革など、意欲のある人が活躍できるダイバーシティの取り組みを学びました。
- ひとつの仕事に多くの人の手や思いが関わっていることを子どもたちに伝えます。



工事現場で安全管理を体験



人材育成についてグループワーク

川崎重工業株式会社

企業からのメッセージ 社会課題の解決を図る企業の事業内容や、企業での人材育成方針などへの理解を深め、次世代を担う子どもたちの教育に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 1年目 **実施日** 8/7(水)～8/8(木) **参加教員数** 7名(大阪府高槻市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 企業ミュージアム「カワサキワールド」見学
- 2 会社概要・事業説明
- 3 CSRの取り組み
 - 実験工作教室

2日目

- 1 ロボット事業説明
 - ロボットショールーム見学
- 2 人材育成の取り組み
 - 意見交換

クローズアップ

労働人口減少社会におけるロボットの役割を考える

- 産業用ロボットとは
- ロボットの未来(市場動向)
- 事業紹介とロボットショールーム見学

日頃なじみのない産業用ロボットを間近に見て、その役割や、社会課題の解決にどのように貢献しようとしているかを理解し、そこで得た知識を教育にも活かしていただければと思います。

参加教員の声

- ロボットを実際に見て、技術と生活をどうつなげ、どのような未来をつくっていくのか、自分ならどうするかを考える良い機会となりました。
- 実験工作教室のヘリコプター作りでは、製品に応用されている航空力学が体験的に学べました。
- 企業ミュージアムには、子どもたちも楽しく学ぶことができる工夫がいくつもありません。



ロボットショールーム見学



人材育成に関する意見交換

関西電力株式会社

企業からのメッセージ お客さまや社会の「力」になりたいとの想いで、「電気を安全に安定してお届けしている」現状を知っていただくとともに、様々な仕事内容を理解し、次世代を担う子どもたちに伝えていただければと思います。

受け入れ実績 26年目 実施日 8/19(月)～8/21(水) 参加教員数 13名(大阪府高槻市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 茨木研修センターの見学
 - 作業体験
 - 社員との意見交換

2日目

- 1 堺港発電所(火力)、堺太陽光発電所(再生可能エネルギー)の見学
- 2 美浜町エネルギー環境教育体験館「きいばす」の見学
- 3 美浜原子力PRセンター・美浜発電所(原子力)の見学
 - 社員との意見交換

3日目

- 1 紀北変換所(送配電設備)の見学
- 2 奥吉野発電所(水力)の見学

クローズアップ

施設見学

- 会社概要
- 関西電力グループアカデミー茨木研修センター見学、社員との意見交換
- 各施設見学

普段あまり見ることのない発電所や、現場最前線の取り組みなどを見学し、電力会社の仕事や、各発電方法の仕組みや諸課題への対応、また、社員の想いを感じ、学校教育の参考にいただければと思います。

参加教員の声

- 配電線の作業体験や講義を通して、電気の安定供給に向けた取り組みや想いなどについて理解が深まりました。
- 原子力発電所の仕組みや安全対策の実施状況について学び、厳重に安全対策が取り組まれていることが分かりました。
- 資源を大切にするために学校でできることを、子どもたちと一緒に考えたいです。



紀北変換所で送配電事業を学ぶ



奥吉野発電所を見学

キッコーマン株式会社

活用事例 P.28

企業からのメッセージ 「おいしい記憶をつくりたい。」というコーポレートメッセージを実現するために、社員一人ひとりが自分たちの業務を通じて活動していることを理解いただければと思います。

受け入れ実績 18年目 実施日 7/24(水)～7/26(金) 参加教員数 11名(東京都品川区教育委員会、東京都杉並区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 もの知りしょうゆ館、まめカフェ、御用蔵見学
- 3 しょうゆづくり体験
- 4 食育としょうゆ塾の実践

2日目

- 1 野田本社・国際食文化研究センター見学・講義
- 2 人事制度・教育制度
- 3 食品容器の開発
- 4 環境への取り組み

3日目

- 1 消費者対応の現状と課題
- 2 海外事業
- 3 商品開発、「うちのごはん」調理実習
- 4 営業・ビジネスマナーの基礎実習
- 5 意見交換・発表

クローズアップ

しょうゆづくり体験

- しょうゆの原料・製造方法
- 実際にしょうゆづくりを体験
- せんべい焼き体験

しょうゆの魅力を再発見できる体験プログラムです。実際にしょうゆ麹を混ぜたり、もろみを搾る体験をします。また、せんべいにしょうゆを付けて食べ、しょうゆの色・味・香りを体験いただきます。

参加教員の声

- しょうゆづくりでは、時間や工程など、こだわりをもってつくっていることに感動し、食の大切さを改めて感じました。
- パッケージや広告デザイン、商品開発などの工夫や取り組みは、図工の授業に活かせると感じました。
- 食を楽しく、よりおいしくするには何が大切か子どもや保護者に伝えます。



しょうゆづくり体験



調理実習

キヤノン株式会社

企業からのメッセージ 企業理念である「共生」に根差した企業活動、環境やCSRへの取り組み、実力主義を支える人材育成について理解し、教育現場での参考にいただければと思います。

受け入れ実績 11年目 実施日 8/6(火)～8/8(木) 参加教員数 3名(東京都文京区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 ギャラリー見学
- 3 本社見学
- 4 広報の役割
- 5 写真教室

2日目

- 1 環境への取り組み
- 2 リサイクル工場「キヤノンエコテクノパーク」見学
 - 小学生向け環境出前授業体験

3日目

- 1 CSRの取り組み
- 2 人材育成の取り組み
- 3 振り返り

クローズアップ

キヤノンエコテクノパークの見学

- 環境への取り組み
- 環境出前授業の体験
- 工場見学

製品ライフサイクルの改善など、「豊かな生活」と「地球環境」が両立する持続可能な社会の実現に向けた取り組みや、一人ひとりが環境問題の課題解決に取り組むことの重要性を理解いただければと思います。

参加教員の声

- 企業理念や活動内容から、企業の考え方を知ることができ、学校との違いや共通することについて学べました。
- 写真教室では、プロのカメラマンのアドバイスが参考になり、カメラの仕組みや機能などが具体的に分かりました。
- 環境への取り組みやリサイクルの仕組みについて、子どもたちに伝えます。



キヤノンエコテクノパークの見学



CSR活動を学ぶ

株式会社きんでん

企業からのメッセージ 安全のためのルール順守、高品質な設備を構築するための取り組み、それらを担う人材育成への思いや考え方を知っていただき、今後の教育活動や次代を担う子どもたちへの指導に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 22年目 実施日 8/19(月)～8/21(水) 参加教員数 6名(大阪府高槻市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要、施設見学
- 2 配電工事実習

2日目

- 1 屋内配線実習(一般電気工事)
 - 技能五輪概要、練習風景見学
- 2 一般電気工事現場見学

3日目

- 1 配電工事現場見学
- 2 展示施設「心と技の伝承館」見学
- 3 意見交換

クローズアップ

現場作業体験

- 電柱昇柱と高所作業車搭乗体験
- 金属管加工と電気工事実体験
- 実現場作業の見学(配電工事・一般電気工事)

実作業の体験を通じて、社会を支える電気工事や人材育成についての思い、考え方を知っていただくと同時に、仕事に対するプロ意識を子どもたちに伝えていただければと思います。

参加教員の声

- 技能五輪の練習風景見学では、反復練習の大切さや、丁寧な作業が技術力の向上につながることを実感しました。
- 細やかな作業でもスピーディーに行い、かつ正確さも求められ、大変さの中にもやりがいを感じる仕事だと思いました。
- 災害時でも、電気がいち早く使えるように多くの人が働いていることを子どもたちに伝えます。



高所作業車搭乗体験



電気工事実体験

京葉ガス株式会社

企業からのメッセージ 都市ガスをはじめとしたエネルギーや、お客さまに対する安全・安心への取り組み、人財育成、地域貢献活動などについて理解を深め、今後の学校教育に活かしていただきたいと思います。

受け入れ実績 15年目 実施日 7/30(火)～7/31(水) 参加教員数 14名(千葉県浦安市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 技術研修センター見学
 - ビジネスパートナーの人財育成
 - ガスメーターについて
 - ガス漏れ調査実習
- 3 コンプライアンス
- 4 ガスの供給・保安体制
 - 防災供給センター見学
 - 緊急保安研修センター見学
- 5 人事制度・人財育成

2日目

- 1 チームマネジメント
- 2 市川ショールーム見学
- 3 営業活動
- 4 CS向上施策
- 5 CSRの取り組み
- 6 振り返り

クローズアップ

ガスの供給・保安体制

- 供給・保安体制、災害対策
- 防災供給センター見学
- 緊急保安研修センター見学

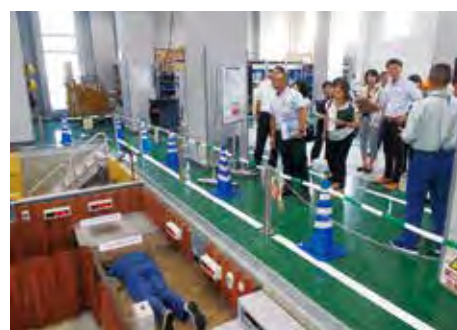
都市ガスの供給・保安体制について知ること、社員の安全・安心に対する思いや、責任感をお伝えしています。災害時の対策など、学校教育でも活用していただきたいと思います。

参加教員の声

- 緊急保安研修センターの見学では、緊張感のある訓練に驚き、責任のある仕事をしていることが分かりました。
- ガスコンロとIH機器の比較は面白く、分かりやすく伝えることが関心や理解につながると実感しました。
- 災害・防災の授業で、ガスの復旧のために活動している人たちのことを伝えます。



技術研修センターでガス漏れ調査を体験



緊急保安研修センターを見学

株式会社神戸製鋼所

企業からのメッセージ これまで培った技術を活かした素材系・機械系・電力を3本柱とする事業の成長戦略を紹介し、教育現場にも共通した人材育成や働き方改革、ダイバーシティなどの課題について共に考えていきます。

受け入れ実績 11年目 実施日 8/6(火)～8/8(木) 参加教員数 7名(大阪府高槻市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 コンプライアンスの取り組み
- 3 採用活動
 - 採用ワークショップ体験
- 4 人材育成
- 5 人事部長との意見交換
- 6 CSRの取り組み

2日目

- 1 加古川製鉄所見学
- 2 神戸総合技術研究所見学

3日目

- 1 神戸発電所見学
 - 灘浜サイエンススクエア見学
- 2 振り返り

クローズアップ

神戸発電所見学

- 発電所概要、設立の経緯、環境への取り組み、地域との共生活動
- 最高水準の環境保全の実現
- 灘浜サイエンススクエア見学、意見交換

製鉄所を営む中で培ってきた自家発電技術と、そのノウハウを活かしてできた都市型発電所の周辺環境に配慮した様々な取り組みを通して、神戸の街の暮らしと安全を支えていることを感じていただければと思います。

参加教員の声

- 「ご安全に」のあいさつや危機管理のスローガン掲示など、細心の注意を払い一丸となって働いていることが分かりました。
- 神戸発電所で、屋上の装置から中央操作室まで見学し、発電の仕組みについて詳しく知ることができました。
- 製品が消費者に届くまでの流れ、作る側の思いや工夫など子どもたちに伝えます。



CSRの取り組み(「森の童話大賞」)について学ぶ



加古川製鉄所を見学

国際石油開発帝石株式会社

活用事例 P.34

企業からのメッセージ 日々の生活に必要なエネルギーを取り巻く状況を知るとともに、人材育成やCSRの取り組み、同年代の社員との意見交換を通して、エネルギー業界や企業理解を深め、今後の学校教育に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 1年目 実施日 7/24(水)～7/26(金) 参加教員数 21名(東京都教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要、エネルギー開発の流れ
- 2 人事制度
- 3 社員との意見交換

2日目

- 1 HSE(健康・安全・環境)の取り組み
- 2 Kids Day見学
- 3 社内見学
- 4 技術研究所見学

3日目

- 1 コンプライアンスの取り組み
- 2 海外駐在員経験者との意見交換
- 3 CSRの取り組み、社会貢献事業
- 4 再生可能エネルギー事業
- 5 グループワーク
 - 未来のエネルギーのあるべき姿
- 6 振り返り

クローズアップ

技術研究所見学

- 技術研究所の取り組み
- 技術研究所見学
- 研究員との意見交換

技術研究所でエネルギー開発に必要な最先端の技術に触れていただきます。普段、なかなか見ることのできない研究開発の現場で、日本のエネルギーを支える技術を体感いただければと思います。

参加教員の声

- 油田開発の最先端の技術を知り、事業のスケールの大きさを実感しました。
- 未来のエネルギーのあるべき姿を子どもたちにどう伝えるか、教員同士で出し合ったアイデアを授業に活かします。
- 専門的な知識や高度な技術が企業の利益や社会貢献につながること、多くの人が関わっていることを子どもたちに伝えます。



社員との意見交換



技術研究所を見学

コマツ

企業からのメッセージ コマツが第一に考えている安全に関する考え方をはじめ、技能向上、企業理念、教育・研修制度、環境への取り組みや、QC活動の紹介を通じて、日々の企業活動の理解を深めていただければと思います。

受け入れ実績 10年目 実施日 7/29(月)～7/31(水) 参加教員数 10名(石川県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 安全教育・安全道場見学
 - 危険予知トレーニング
- 3 コマツウェイ
- 4 人事制度
- 5 粟津工場見学

2日目

- 1 技能体験実習
- 2 環境への取り組み

3日目

- 1 コマツ総合研修センタ
 - わくわくコマツ館見学
 - 研修制度
- 2 QC教育
- 3 振り返り

クローズアップ

QC教育

- QCとは
- QC手法
- QCの使い方

コマツが業務改善の方法として取り入れているQCの概要と具体的な手法を学び、学校教育の場で参考にしていただければと思います。

参加教員の声

- 社員全員が、コマツウェイのもと、お客さまの目線に立ち、プライドをもって働いていることに感銘を受けました。
- 技能体験実習では、使う道具の置き方や並べ方など、なぜそうするのか、常に「なぜ」を考えて仕事をしていることが分かりました。
- 学んだQC手法を、クラスをより良くするために子どもたちと活用してみたいです。



危険予知トレーニングを体験



人事制度について学ぶ

五洋建設株式会社

企業からのメッセージ 建設のプロフェッショナルとして「モノづくりに徹し、請負を極める」ことを追求している姿を通して、建設業の魅力を理解いただき、今後の学校教育に役立てていただければと思います。

受け入れ実績 27年目 実施日 8/22(木)～8/23(金) 参加教員数 12名(東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

1日目

1 土木部門

- 「土木」とは
- 「土木」の今日的課題
- 五洋建設の土木
- プロジェクト紹介

2 人事部

- 人事評価制度
- 目標管理制度
- 人材開発制度
- メンタルヘルス・ケアの取り組み

3 建設現場見学

2日目

1 建築部門

- 建築業界の動向
- 省エネへの取り組み
- 建物ができるまで
- 五洋建築の実績紹介

2 建設現場見学

クローズアップ

建設現場の見学

- 施工中の建設現場を見学して建設業の魅力を感じる
- 建設現場のダイナミックさを感じる
- 品質・安全管理の取り組み

施工中の工事現場の見学を通して、社会基盤を支える建設業の使命・役割などの理解を深め、次世代を担う子どもたちに建設業の魅力を伝えていただければと思います。

参加教員の声

- 建造物を通じて日本と世界をつなぎ、経済や観光、研究活動など多方面を支える高い技術と専門性に感銘を受けました。
- 建設現場で、そのスケールの大きさを肌で感じ、モノづくりの魅力に触れることができました。
- 普段何気なく使っている建造物には、目には見えませんが、建設する人たちの思いや努力が詰まっていることを子どもたちに伝えます。



船上から海洋土木工事を見学



マンション建設現場にてタッチアンドコール体験

三機工業株式会社

企業からのメッセージ 社会インフラを担う建設業の魅力やエンジニアリング企業の役割を理解するとともに、地球環境保全への取り組みなど、利益追求だけではない現代企業の姿を幅広く見ることで、教育に役立てていただければと思います。

受け入れ実績 1年目 実施日 7/31(水)～8/2(金) 参加教員数 14名(東京都新宿区教育委員会、東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

1日目

1 会社概要

2 工事ビジネスの仕組み

3 社会貢献活動

4 企業倫理研修

2日目

1 ショールーム見学

2 教育体系、人材育成

3 三機テクノセンター見学

4 大和プロダクトセンター見学

5 R&Dセンター見学

3日目

1 市場動向

2 事例紹介

3 経営課題

4 グループディスカッション

- 快適環境に期待すること

クローズアップ

三機テクノセンター安全体感エリア 見学

- マネキン人形による安全教育施設見学
- 体感や気付きを中心とした学習法見学
- 産業分野での教育技法

建設業では安全第一がモットーです。業界屈指の安全教育施設で、実際に行っている教育に触れることで、今後の教育現場の参考にいただければと思います。

参加教員の声

- 最新技術や、そこに至るまでの努力と積み重ねを実際に見ることで、技術による社会貢献に興味深く学ぶことができました。
- 「間違い探し」の研修体験では、知識として知っているだけでなく、実際に体験し活かすことの効果を実感しました。
- なぜ、どこが、どう危険なのかを、子どもたちが納得できるように伝えます。



安全体感エリアを見学



三機工業の未来を考えるグループディスカッション

JXTGエネルギー株式会社

企業からのメッセージ 民間企業の教育体制や人事施策、ダイバーシティ施策を学び、教育現場の変革に取り組んでいただければと思います。また、見学を通じて、エネルギー安定供給への貢献を認識いただきたいと思います。

受け入れ実績 23年目 実施日 7/24(水)～7/25(木) 参加教員数 13名(東京都品川区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 中央技術研究所概要・見学
 - 子ども科学教室
- 2 事業概要
- 3 人事制度、人材育成、働き方改革、ダイバーシティ
- 4 手話教室

2日目

- 1 根岸製油所概要・見学
 - 危機管理、安全管理体制
- 2 高卒採用および教育体制
- 3 ガソリンスタンド見学
- 4 ENEOSジェネレーションズ
 - 事業概要、採用、人材育成

クローズアップ

根岸製油所見学

- 根岸製油所の危機管理・安全管理体制
- 根岸製油所見学
- 高卒採用および教育体制

石油精製部門の事業概要のほか、危機管理体制、安全管理の取り組みを理解するとともに、社員の採用・教育、職場を紹介し、高校生の就職先のひとつとして認識いただければと思います。

参加教員の声

- 製油所の自主的な安全活動や危機管理教育など、社員一人ひとりの意識を高くするための取り組みが印象に残りました。
- 働き方改革での様々な制度を、学校でどのように活かせるか考えさせられました。
- 原油の輸入から、様々な工程を経て自分たちの身近な製品ができていることを、社会科や市民科の授業で伝えます。



根岸製油所バスツアー



人材育成を学ぶ

JNC株式会社

企業からのメッセージ 化学企業における環境保全、労働安全衛生、人材育成などへの取り組みを紹介し、モノづくりの現場での安全に関する教育訓練を体験いただきました。ここでの経験を子どもたちへの教育や学校運営に役立てていただければと思います。

受け入れ実績 12年目 実施日 7/24(水)～7/26(金) 参加教員数 7名(東京都葛飾区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要、製品紹介
- 2 市原製造所概要
- 3 チッソの水保病問題

2日目

- 1 環境・安全衛生への取り組み
- 2 危険予知トレーニング
- 3 危険体感教育
- 4 振り返り・意見交換

3日目

- 1 人材育成制度
- 2 人事評価制度
- 3 製品特性の測定実習
- 4 CSRの取り組み
- 5 「次世代育成」に関する意見交換
- 6 振り返り

クローズアップ

市原製造所での安全への取り組み

- 安全への取り組み(知識・経験を現場に活かす)
- 危険予知トレーニング(リスクへの対応力を養う)
- 危険体感教育(模擬体験により危険への感性を高める)

危険に対する感性を高めるための危険予知トレーニングや模擬体験を、教育現場での事例を交えて、子どもたちが安全に安心して学校生活を送るよう役立てていただければと思います。

参加教員の声

- 過去の出来事を教訓とし、地域社会や環境・安全への取り組みをどのように行ってきたのかがよく分かりました。
- 社会で通用する力の基礎をつけることが大切であると再認識することができました。
- 危険予知トレーニングを活かして、実際に廊下や階段の場面で子どもたちと考えたいと思います。



危険予知トレーニングでの指差唱和



危険体感教育

JFEスチール株式会社

企業からのメッセージ 「常に世界最高の技術をもって社会に貢献します」の企業理念を実現するためにJFEスチールが行っている、様々な取り組みについての理解を深め、次世代を担う子どもたちの教育に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 14年目 実施日 8/8(木)～8/9(金) 参加教員数 15名(東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社案内DVD視聴
- 2 会社概要、鉄鋼業概要
- 3 スチール研究所見学

2日目

- 1 東日本製鉄所(京浜地区)見学
- 2 リサイクル工場見学
- 3 振り返り・意見交換

クローズアップ

東日本製鉄所(京浜地区)見学

- 転炉や厚板工場などの製造現場の見学
- 家電やペットボトルのリサイクル工場

巨大な製鉄所でのダイナミックな製造現場の見学を通して、製鉄業のスケールの大きさや、社員の思いを感じていただき、環境に配慮する先進企業としての取り組みをご紹介します。

参加教員の声

- ミクロの世界から鉄の構造を研究する様子を見て、そこから巨大なスカイツリーが造られたことに感銘を受けました。
- ペットボトルや家電のリサイクル工場を見学して、改めて分別や物を大切にすることを考えさせられました。
- 製鉄所のスケールの大きさや迫力を、子どもたちに伝えたいです。



会社概要を学ぶ



リサイクル工場を見学

清水建設株式会社

企業からのメッセージ 「子どもたちに誇れるしごとを。」をコーポレートメッセージとする清水建設の様々な取り組みや技術に触れ、次世代を担う子どもたちへ建設業の魅力を伝えていただきたいと思います。

受け入れ実績 8年目 実施日 7/24(水)～7/26(金) 参加教員数 10名(東京都国立市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要とSDGs
- 2 清水建設の歴史
- 3 本社見学
- 4 建設現場見学
 - 技術職社員との意見交換

2日目

- 1 東京木工場見学
- 2 ものづくり研修センター見学
- 3 安全・安心への取り組み
 - ハザードマップ作成

3日目

- 1 技術研究所見学
- 2 ダイバーシティ経営
- 3 海洋未来都市プロジェクト
- 4 学校施設への取り組み

クローズアップ

安全・安心への取り組み

- ハザードマップ作成(「まち」で起こる災害をイメージする)
- グループディスカッション(防災上の弱点と対策の検討)
- グループ発表

近年、地震や巨大台風、大雨などの自然災害が多発しています。自然災害リスクを身近なことと感じ、子どもたちと防災について一緒に考えていただきたいと思います。

参加教員の声

- 海底や海上に都市をつくるといった、独創的な発想や、それを実現する実行力に感銘を受けました。
- 建設現場見学で、実際の工程や伝統的な技術を見学し、建設業の技術の高さに驚きました。
- ハザードマップの作成で、子どもたちと災害時の避難経路や危険な場所を探し、対策を考えます。



ハザードマップを作成



木育を学ぶ

一般社団法人情報サービス産業協会

企業からのメッセージ 社会を支え変革する情報サービス・ソリューションや、その構築・運用を担うITエンジニアの仕事と役割、ITの基本であるプログラミングの面白さを学び、教育現場や学校運営で活用していただければと思います。

受け入れ実績 8年目 実施日 8/5(月)～8/6(火) 参加教員数 10名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 暮らしや社会における情報システムの役割
- 情報システム構築の仕事とITエンジニアの役割
- 教育現場におけるデータ活用事例
- ITサービスの先進事例
- ITによる道路の維持管理
 - スマートフォンの活用事例、AIによる画像診断事例

2日目

- 教育現場の働き方改革に貢献するIT
 - 教育支援情報プラットフォーム
- 社会に大きな変革をもたらすVR/AR/MR技術
- プログラミング教育に対する取り組み
- 子ども向けプログラミング授業体験
 - 日鉄ソリューションズのプログラムの体験
- 振り返り

クローズアップ

事例と体験で学ぶ情報サービス産業

- 情報サービス企業のIoT技術を活用したスマートな社会インフラの実現
- 情報サービス企業の最先端映像技術の体験とその活用方法
- 子ども向けプログラミング授業の体験

情報サービス産業はいかにして社会を支え変革しているのか、ITの幅広さや奥深さ、また、子どもがITを身近に感じて楽しくプログラミングを学ぶ方法について、事例紹介と体験学習により理解いただければと思います。

参加教員の声

- 最先端映像技術の体験で、これからは創造的な発想をもち、それを実現させていく世の中になっていくのだと思いました。
- プログラミングができたことで感じた自分で作る楽しさや達成感を、子どもたちにも体験してもらいたいです。
- ITが活用されたものが身近にたくさんあることを子どもたちに伝えます。



ITサービスの先進事例を学ぶ



子ども向けプログラミング授業を体験

一般社団法人信託協会

企業からのメッセージ 講義や見学を通じて、「信託」が身近で活用されていること、そして、「信じて託す人の信頼に応え、その想いを形にする」という「信託の観念」を理解し、子どもたちに伝えていただければと思います。

受け入れ実績 13年目 実施日 ①8/6(火)～8/7(水)、②8/19(月)～8/20(火) 参加教員数 17名(①東京都品川区教育委員会、東京都杉並区教育委員会、②横浜市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 信託協会概要
- 信託の仕組みや特徴の説明
- ライフプランと信託
- 信託協会職員との意見交換
- 信託博物館見学
- 貨幣博物館見学
- 信託文献センター見学
- 金融経済教育

2日目

- 信託の活用事例、信託の仕組み
- 信託の模擬授業
- グループワーク①
 - 授業プラン検討
- 信託銀行社員との意見交換
- 三菱UFJ信託銀行見学
- グループワーク②
 - 授業プラン作成・発表
- 振り返り

クローズアップ

信託の仕組みや特徴、人々の暮らしや社会の中での活用方法

- 信託の仕組み、特色と機能、活用事例
- 授業への信託の展開(提案)、授業プランの作成(グループワーク)
- 現場研修・見学(信託銀行・信託博物館など)

最近利用されている信託商品の説明や信託銀行などの見学を通して、信託への理解を深め、協会からの提案も参考に、「信託の観念」を教育へどう活用するか考える機会になればと思います。

参加教員の声

- 学んだことを活かしてグループで授業プランを作成し、発表では様々なアイデアに触れることができました。
- 信託銀行の資産形成の講義では、初歩から分かりやすく解説していただき、これからの自分自身の生活に役立つことが多く学べました。
- 「信頼の三角形」を使って、信託の意味や責任について子どもたちに伝えます。



三菱UFJ信託銀行の信託博物館を見学



三菱UFJ信託銀行で資産形成の基礎を学ぶ

新菱冷熱工業株式会社

企業からのメッセージ 経営ビジョン「さわやかな世界をつくる」をもとに行っている取り組みを理解し、空調設備業の魅力を子どもたちに伝えていただければと思います。

受け入れ実績 1年目 実施日 8/6(火)～8/7(水) 参加教員数 5名(東京都葛飾区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 空調の仕組み
- 3 本社見学
- 4 環境への取り組み
- 5 東京スカイツリー®地域熱供給施設見学
- 6 働き方改革
- 7 カエル会議
■職場環境・働き方について意見交換

2日目

- 1 建設現場見学
■都内プロジェクト
- 2 中央研究所見学

クローズアップ

働き方改革の取り組み「カエル会議」

- 働き方改革の取り組み
- 「カエル会議」(早く「帰る」、仕事の仕方などを「変える」ための会議)

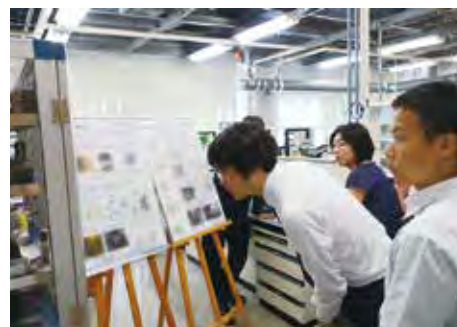
教育現場も建設業も、働き方改革が共通の課題となっています。当社の働き方改革の取り組みや、「カエル会議」で行った仕事の魅力やより良い職場環境についての社員との意見交換が、教育現場の一助となればと思います。

参加教員の声

- 企業が実際に行う働き方改革の具体的な取り組みを学び、意識改革の重要性が分かりました。
- 研究所の見学でひとつの研究をあきらめずに続けていくことの大切さを感じました。
- 空調設備が生活をより良くしていること、そのために働く人がいることを子どもたちに伝えます。



「カエル会議」の様子



中央研究所を見学

住友重機械工業株式会社

企業からのメッセージ 機械メーカーにおける現場のモノづくりへの取り組みや人材育成制度、安全や環境への取り組み、地域や社会への貢献などの内容を理解し、教育現場で活用いただければと思います。

受け入れ実績 1年目 実施日 7/26(金) 参加教員数 6名(東京都葛飾区教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要
- 2 人事評価制度、社内研修制度
- 3 安全への取り組み
- 4 環境・CSR・社会貢献への取り組み
- 5 千葉製造所 工場見学
- 6 意見交換、振り返り

クローズアップ

会社概要

- 人事評価制度、社内研修制度
- 安全への取り組み
- 環境・CSR・社会貢献への取り組み

人事評価や社内研修制度、安全管理の制度、環境や社会貢献への取り組みなどについて理解を深めることにより、今後の学校教育への参考にしていただければと思います。

参加教員の声

- 人事評価制度は、基準がはっきりしていて分かりやすく、働く意欲の向上につながると感じました。
- 安全への取り組みでは、危険予知や周りの環境整備、日頃からの安全への意識が大切だと学びました。
- 子どもたちと、身近なプラスチック問題や温暖化に対する取り組みを考えます。



会社概要を学ぶ



千葉製造所の工場見学

一般社団法人生命保険協会

企業からのメッセージ 生命保険業界に対する理解を深め、生命保険協会の様々な取り組みを知ること、教員自身の視野を広げるとともに、今後の教育現場における金融教育などの参考にいただければと思います。

受け入れ実績 11年目 **実施日** 8/8(木) **参加教員数** 10名(東京都品川区教育委員会、横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 生命保険協会概要
- 2 公的保障と生命保険の基本
- 3 金融教育教材「ライフサイクルゲーム」
- 4 生命保険相談所
- 5 振り返り

クローズアップ

金融教育教材「ライフサイクルゲーム」 (第一生命保険作成)

- 「ライフサイクルゲーム」の実施
- 人生のリスクと備え

すごろく形式のゲームを通じて、人生の様々なリスクとそれに対する備えを楽しみながら理解いただきます。

参加教員の声

- 「ライフサイクルゲーム」は、人生の様々なリスクやその減らし方を子どもたちも楽しみながら学べると思いました。
- お客さまの声をしっかりと聞き、繰り返して整理するという話が印象に残り、保護者対応に活かしたいです。
- 「自助・共助・公助」の考え方でどのようなことができるかクラスで話し合います。



「ライフサイクルゲーム」を体験



生命保険相談所の業務を学ぶ

株式会社セレスポ

活用事例 P.29

企業からのメッセージ イベント制作やCSRの取り組みで大切にしていることを理解するとともに、イベントの体験・企画を通じて感じるチームワークや伝えることの楽しさを、教育現場でも役立てていただければと思います。

受け入れ実績 2年目 **実施日** 8/19(月)～8/21(水) **参加教員数** 37名(東京都練馬区教育委員会、東京都東大和市教育委員会、東京都府中市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要、イベント業界
- 2 人事制度、就業環境
- 3 事業紹介
 - CSRの取り組み
 - SDGs

2日目

- 1 パラリンピアン講演
- 2 車いすの取り扱い
- 3 パラスポーツ体験
- 4 振り返り

3日目

- 1 ワークショップ
 - チームビルディング
 - アイデア創発
 - アイデアの具体化
 - プレゼンテーション
- 2 中堅社員との意見交換

クローズアップ

新たな定番となる教育プログラムを考える

- 課題抽出、アイデア出し、企画立案の方法
- 課題を自分ごととして伝えていく事例紹介
- グループワーク

体験で得た気付きをもとに、学校教育の現場で使われる新たな定番プログラムを考えることで、本質的な課題を発見し、その解決に向けた発想を飛躍させ、実現への可能性を高めていく考え方を学びます。

参加教員の声

- ブレインストーミングの手法を用いて、グループのメンバーと自由な発想で教育プログラムを考えることができました。
- SDGsの17の目標を伝え、学校でも取り組める身近な問題から解決策を考え、実践していきたいです。
- パラスポーツを体育や学級活動に取り入れ、子どもたちの意識向上を図りたいです。



パラスポーツを体験



新たな定番となる教育プログラムを考える

一般社団法人全国銀行協会

企業からのメッセージ 経済・社会の中で銀行が果たす役割を理解いただき、全国銀行協会の金融経済教育活動の一端に触れることで、学校における金融経済教育の参考にいただければと思います。

受け入れ実績 13年目 実施日 7/24(水)～7/25(木) 参加教員数 10名(東京都杉並区教育委員会、東京都練馬区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 全国銀行協会の組織と活動
- 2 最近の銀行界の動向
- 3 三井住友銀行見学

2日目

- 1 金融犯罪防止への取り組み
- 2 社会に出て気を付けたいお金のこと
- 3 模擬授業(銀行のしごと)
- 4 消費者からの苦情・相談対応
- 5 生活設計・マネープランゲーム体験
- 6 金融経済教育、CSR活動への取り組み
- 7 振り返り

クローズアップ

事業活動を通じた社会への貢献

- 最近の銀行界の動向
- 消費者からの苦情・相談対応
- 金融経済教育、CSR活動への取り組み

社会や暮らしへの銀行の関わりや、これからの金融経済教育の重要性を理解いただくとともに、全国銀行協会の様々な取り組みに触れ、今後の学校教育の参考にいただければと思います。

参加教員の声

- 銀行が複合的な金融サービスや海外進出、金融経済教育など、様々な事業を行っていることに驚きました。
- 銀行見学で、実際の現場を見て話を聞いたことで、顧客のニーズに合わせて様々な工夫をしていることが分かりました。
- 今回の研修で体験したゲームなどを活用して、子どもたちにお金の使い方を考えさせます。



金融リテラシーを学ぶ



生活設計・マネープランゲームを体験

全日本空輸株式会社(ANA)

企業からのメッセージ ANAグループでは「安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します」「安全は経営の基盤であり社会への責務である」という理念を常に意識し、お客さまと一緒に働く仲間と向き合っています。

受け入れ実績 16年目 実施日 8/1(木)～8/2(金) 参加教員数 18名(東京都杉並区教育委員会、東京都練馬区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 機内食工場見学
- 2 ANA Blue Base見学
- 3 ANAグループ概要紹介
- 4 パイロットの仕事
- 5 客室乗務員のキャリアアップ、教育体制

2日目

- 1 航空機の安全運航
 - ASEC(ANAグループ安全教育センター)見学
- 2 ANAの教育・研修紹介
- 3 ANA機体工場見学
- 4 羽田空港見学
 - 旅客サービス部、オペレーションマネジメントセンター、フライトオペレーションセンター、客室センター
- 5 振り返り

クローズアップ

ANAグループ安全教育センターの見学

- 過去の事件についてケーススタディー
- ヒューマンエラーの実体験
- ハイインリッヒの法則(ヒヤリハット事例)についての理解促進

人は誰でもミスをするのを、過去の振り返りや実際のエラー体験を通じて意識し、大事に至るまでにコミュニケーションを取ることが、エラーチェーンを切るためには必須ということを学んでいただきました。

参加教員の声

- 訓練や研修の施設があることに驚き、過去の教訓を風化させない強い思いを感じました。
- 「経営の基盤に安全」という明確な理念を支えに、全員が一丸となって一機の航空機を飛ばそうとする姿勢に感銘を受けました。
- 小さな気付きがあったら必ず報告し、情報を共有するなどのコミュニケーションの大切さを同僚に伝えたいです。



パイロットの仕事を学ぶ



ANA機体工場を見学

総合警備保障株式会社(ALSOK)

企業からのメッセージ 社会の安全・安心を守る企業として培ってきたノウハウをもとに、学校の防犯・防災に関するプログラムを用意しました。教育現場における課題発見や、その改善に役立てていただければと思います。

受け入れ実績 10年目 **実施日** 8/6(火) **参加教員数** 19名(東京都練馬区教育委員会、東京都東村山市教育委員会、東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

- 1 事業概要、CSRの取り組み
- 2 警備員研修体験
- 3 護身術
 - 徒手護身術、さすまた操法
- 4 学校の防犯・防災
 - グループワーク

クローズアップ

学校の安全を守る

- 警備員教育の体験(集団行動・規律訓練)
- 護身術(徒手護身術、さすまた操法)
- 自分たちの学校の防犯・防災について考える

犯罪や災害などの脅威から、学校や子どもたち、そして教員自身を守るために役立つ知識や技術を主に学んでいただきました。学校やその周辺地域の防犯・防災力の強化に役立てていただければと思います。

参加教員の声

- 警備ロボットの開発や防犯教室、植樹活動、介護事業など、事業が多岐にわたっていることに驚きました。
- 学校の防犯・防災の2つのテーマでグループワークを行い、学校の課題と改善策が明確になりました。
- 学んだ護身術やさすまたの扱い方を同僚に伝えます。



徒手護身術を体験



さすまた操法を体験

双日株式会社

企業からのメッセージ 国内外の事業例を紹介するとともに、多様な価値観を受け入れる異文化コミュニケーション研修、物流の基礎知識研修など、双日独自の研修プログラムを体験いただければと思います。

受け入れ実績 11年目 **実施日** 8/1(木)～8/2(金) **参加教員数** 15名(東京都教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 国内事業例
- 3 異文化コミュニケーション研修
- 4 物流の基礎知識

2日目

- 1 港湾(コンテナヤード)見学
- 2 海外事業例
- 3 採用
- 4 意見交換・振り返り

クローズアップ

研修体験型ワークショップ

- 異文化コミュニケーション研修体験
- 国内外の事業紹介
- 物流の基礎知識、コンテナヤード見学

双日独自の研修を体験いただくほか、企業におけるキャリア教育に関するセッションや社外見学の時間を設けました。

参加教員の声

- これからのグローバル社会には、自ら考え行動することや、認め合う柔軟性、変化への適応力が必要だと実感しました。
- コンテナヤードの見学で、物流の様子を見、今まで何気なく使っていたものがどのように届くのかを考えることができました。
- 縁の下の力もちのような仕事をしている総合商社について、子どもたちに伝えたいです。



異文化コミュニケーション研修を体験



コンテナヤードを見学

SOMPOホールディングス株式会社

企業からのメッセージ 経営理念に掲げる「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供する」を具現化するための様々な取り組みを体感し、今後の教育活動に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 14年目 **実施日** 8/1(木)～8/2(金) **参加教員数** 17名(東京都杉並区教育委員会、東京都港区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社・グループ概要
- 2 損害保険の基礎知識
- 3 人事の取り組み
- 4 SOMPOダンスプロジェクト体験
- 5 保険会社の仕事体感講座(事故対応ワークショップ)
- 6 災害時の保険金支払い体制
- 7 SNSを活用した事故受付、お客さまコンタクト
- 8 事故サポートセンター見学

2日目

- 1 介護研修施設「SOMPOケアユニバーシティ」見学
- 2 保険会社の仕事体感講座(リスクコンサルティングワークショップ)
- 3 CSRの取り組み
 - 「防災ジャパンダ」(子ども向け防災教育プログラム)体感
- 4 東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館見学

クローズアップ

事業活動の「体感」

- 事故対応業務、リスクコンサルティングの「体感」(保険金サービス部門、企業営業部門の仕事体験)
- 介護事業の「体感」(介護研修施設「SOMPOケアユニバーシティ」の見学・研修体験)
- CSRの取り組みの「体感」(子ども向け防災教育プログラム)

座学だけではなく「体感」によって、SOMPOホールディングスグループの取り組みをより深く理解し、教育現場における活用のヒントを得ていただければと思います。

参加教員の声

- 関係各所と綿密にやり取りして保険金を支払う部門の業務を体験して、責任の重さを強く感じました。
- 介護事業では、介護を受ける人の生きがいや価値観など様々な角度からの理解が必要であると分かりました。
- 災害時に身の回りにあるものを活用する方法や、備えの大切さを子どもたちに伝えます。



SOMPOケアユニバーシティで介護を体験



「防災ジャパンダ」のジャッキアップゲームを体験

第一生命保険株式会社

企業からのメッセージ 生命保険会社の事業内容や社会的責任、生命保険が社会に果たす使命について理解を深め、次世代を担う子どもたちの教育に役立てていただきたいと思います。

受け入れ実績 9年目 **実施日** 7/30(火)～7/31(水) **参加教員数** 7名(東京都杉並区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 生命保険の基礎知識、生涯設計プラン
- 3 健康関連の情報提供・サービス
- 4 海外戦略・広報戦略
- 5 社内施設見学
- 6 コンタクトセンター見学
- 7 第一生命チャレンジド見学(障がい者雇用の学び)

2日目

- 1 お客さまの声を活かす仕組み
- 2 「ライフサイクルゲームⅡ」
- 3 社会貢献活動
- 4 ほげんショップ見学
- 5 SDGsの取り組み
- 6 保険金・給付金のお支払い
- 7 商品戦略
- 8 生涯設計プランニング体験
- 9 振り返り

クローズアップ

「ライフサイクルゲームⅡ」

- 消費者・金融保険教育を目的としたすごろく式人生ゲーム

身の回りに潜むリスクや人生のイベントを楽しみながら体験いただきました。ゲームを通じて、お金の大切さや将来に備えることの重要性を体感し、消費者問題への関心を深め、消費者被害の知識を具体的に学んでいただきました。

参加教員の声

- コンタクトセンターでは、オペレーターの方々一人ひとりのお客さまに対する強い意識が伝わり、大変驚きました。
- 一貫してお客さまのことを第一に考える姿勢は教育現場にも共通しており、忘れてはいけないと実感しました。
- ライフサイクルゲームを活用し、子どもたちに保険の仕組みや備えの必要性を伝えます。



「ライフサイクルゲームⅡ」を体験



オリジナル端末を使って「生涯設計プラン」の作成

大日本印刷株式会社(DNP)

企業からのメッセージ 「未来のあたりまえをつくる。」ためには、社会の声をしっかり捉えることが重要です。そのために多くのステークホルダーとの対話に努めています。この研修を通して今後も対話を続けていきたいと思ひます。

受け入れ実績 24年目 **実施日** 7/31(水)～8/2(金) **参加教員数** 7名(東京都東村山市教育委員会、東京都文京区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 P&Iラボ見学
- 3 人材育成
- 4 人事制度・環境づくり
- 5 働き方の変革
- 6 情報セキュリティ

2日目

- 1 DNP歴史体感ワーク体験
- 2 狭山工場見学

3日目

- 1 CSR・環境への取り組み
- 2 出張理科授業体験
- 3 メセナ・文化活動
- 4 教育界への取り組み
- 5 振り返り・意見交換

クローズアップ

出張理科授業「印刷の不思議」の体験

- 現代のカラー印刷の仕組み(色の三原色・網点)
- 色の作成体験(色粘土による混色体験)
- DNPの秘密(目指すもの、多様な製品・サービス、様々な役割の社員の存在)

印刷技術の不思議さ、面白さ、広がり学ぶDNPの出張授業を体験いただき、意見交換をしました。教員の皆さまの授業内容や、地域の企業・団体と連携を図る際のヒントになればと思ひます。

参加教員の声

- 様々な分野で開発をしているだけでなく、他企業と協働で取り組んでいることに興味をもちました。
- メセナ・文化活動の体感学習では、教科書からでは得られない学びがあり、より興味をもてると実感しました。
- 出張理科授業で学んだノウハウなどを教科部会などで同僚に伝えていきたいです。



コラボレーションスペースで自己紹介



出張理科授業「印刷の不思議」を体験

太平洋セメント株式会社

企業からのメッセージ 社会インフラの基礎となるセメント・コンクリートを供給する一方で、セメント産業は様々な廃棄物や副産物を原燃料としてリサイクルし、資源循環型社会に貢献していることを理解いただければと思ひます。

受け入れ実績 22年目 **実施日** 8/1(木)～8/2(金) **参加教員数** 7名(東京都杉並区教育委員会、東京都練馬区教育委員会、東京都文京区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 太平洋セメントグループ事業概要
- 2 セメント工場概要
 - セメント・コンクリートの基礎知識
 - 見学
- 3 振り返り

2日目

- 1 生コンクリート工場(晴海小野田レミコン)見学
- 2 環境への取り組み
- 3 人事制度
- 4 CSRの取り組み
- 5 振り返り

クローズアップ

工場見学および講義

- セメント工場見学
- 生コンクリート工場見学
- 事業概要(グループ概要、環境への取り組み、人事制度、CSRの取り組み)

工場見学では、太平洋セメントグループが総合的に社会基盤を支えていることや、資源循環型社会への貢献を、講義では事業概要を通して、企業の目指すところを理解いただきます。

参加教員の声

- 工場で、設備を建物内に置き、粉塵・騒音などを極限まで低減させるなど、環境や周囲に配慮していることが分かりました。
- 工場を見学し、現場の方々のプロ意識の高さや、道路や建造物などの安全を支える仕事の大変さを実感しました。
- セメントとコンクリートの違いや、私たちの生活との関わりを子どもたちに伝えます。



セメント工場を見学



生コンクリート工場で品質管理実習

株式会社大和証券グループ本社

企業からのメッセージ 証券会社および金融・資本市場の社会的役割や、将来自立し安定した生活を送る上で必要となる金融知識、持続可能な社会へ向けた取り組みを、教育現場で伝えていただければと思います。

受け入れ実績 20年目 実施日 7/29(月)～7/31(水) 参加教員数 15名(東京都教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 グループの運営体制
- 2 ダイワインターネットTVスタジオ見学
- 3 商品基礎知識(株式、債券、投資信託)

2日目

- 1 本店見学
- 2 コンタクトセンターの管理体制説明・見学
- 3 東京証券取引所
 - 東証アローズ見学
 - 模擬売買体験
- 4 ホスピタリティー研修
- 5 メンタルヘルスサポート体制

3日目

- 1 トレーディングルーム見学
- 2 人材育成、教育制度
- 3 持続可能な社会と金融を考える
- 4 グループのSDGs活動

クローズアップ

大和証券グループのSDGs活動

- 採択の経緯
- 経済界・業界団体の取り組み
- グループの取り組み

「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すSDGsについて、国・業界団体や大和証券グループの取り組みを知り、問題意識を共有することで、今後の学校教育での参考にいただければと思います。

参加教員の声

- 経験のみに頼らず、研修などで新たな知識や技術を習得する姿勢や、充実した人材育成・教育制度に感激しました。
- SDGsの取り組みから、自分たちにできることや持続的な取り組みを視野に入れた進路について、子どもたちと考えます。
- ホスピタリティー研修の内容を同僚や上司に伝え、教員研修に活かします。



ダイワインターネットTVスタジオを見学



SDGs活動の講義

株式会社竹中工務店

企業からのメッセージ 安全・安心な建築創造のための企業活動ならびに環境や安全に配慮した建築施工を理解いただき、技術者の役割とその育成理念、作業所での施工管理の考え方や実施内容を学校での教育に役立てていただければと思います。

受け入れ実績 8年目 実施日 8/6(火)～8/8(木) 参加教員数 16名(大阪府高槻市教育委員会、奈良県私立中学高等学校連合会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要・企業理念
- 2 建築施工の基礎
- 3 研修施設見学と社員教育プログラム概要
- 4 CSR・環境への取り組み

2日目

- 1 小・中学校向け出前授業「なにわ出前塾・感じる構造」体験
- 2 作業所での「建築施工」の取り組み

3日目

- 1 竹中大工道具館見学
- 2 振り返り

クローズアップ

「建築」への理解、技術者の役割とその人材育成

- 「建築」とは何か(構造・施工)
- 竹中工務店での技術者の役割
- 施工を中心とした役割達成のための取り組みおよび技術者としての育成方法

建築創造における技術者の役割や、担当する技術系社員の育成方法を理解し、教育現場での人材育成、ステークホルダーとの関わり方のヒントを得ていただければと思います。

参加教員の声

- ひとつの建物ができるまでには、たくさんの人が関わり、それぞれの思いや苦労があることが印象に残りました。
- 日本の伝統的な建築や大工道具にも数学は使われていました。数学と生活との関わりを子どもたちに伝えます。
- 「見て・触れて・体得する」というスキルアップの流れを学校現場でも活かします。



作業所を見学



竹中大工道具館でかんな削りを体験

株式会社千葉銀行

企業からのメッセージ 資金仲介機能など銀行のもつ本来の役割に加え、地域と共に歩む地方銀行としてCSRの取り組み(お客さま第一主義の精神や様々な社会貢献活動など)についても理解を深め、今後の教育指導に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 19年目 実施日 7/24(水)～7/25(木) 参加教員数 6名(東京都葛飾区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 銀行業務の基礎知識
- 2 本店営業部見学
- 3 CS研修
 - 対応の基本
 - 接客のロールプレイング

2日目

- 1 ちばぎんハートフル見学
- 2 ちばぎん金融資料室見学
- 3 金融教育について考える
- 4 意見交換

クローズアップ

CS研修

- 身だしなみとビジネスマナー
- 対応の基本
- 接客のロールプレイング

「お客さま第一主義」を理解いただく目的で実施しています。CSの基本は「心」ですが、相手に伝えるための「姿勢」も大切であることを理解いただければと思います。

参加教員の声

- CS研修では、対応の基本や接客のロールプレイングを行い「おもてなし」について学びました。
- ちばぎんハートフルでは、活き活きと仕事に取り組む姿や、長所を活かして職場改善に努める姿勢が印象に残りました。
- 銀行があることで経済活動が大きくなることを、子どもたちに話します。



本店営業部を見学



CSを学ぶ

TIS株式会社(TISインテックグループ)

企業からのメッセージ Sler(システムインテグレーター)のタスク管理方法や課題分析方法、プロジェクトの運営管理手法やノウハウ、アイデア発想方法など、研修を通じて体験したことを教育現場の運営に役立てていただければと思います。

受け入れ実績 10年目 実施日 7/29(月)～7/31(水) 参加教員数 11名(東京都中野区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 IT業界概要・会社概要
- 2 データセンター見学

2日目

- 1 受託開発とサービス開発の違い
 - 受託開発の仕組みと知識
 - 受託開発を進めるノウハウ
 - サービス開発を進めるノウハウと体験
- 2 アイデアソン
 - 事業創出体験

3日目

- 1 アイデアソン
 - 事業創出体験
- 2 振り返り

クローズアップ

ITに関する実体験や座学

- AIスピーカーを活用した議事録の自動化を活用するワークショップ
- キャッシュレスの市場動向
- データを預かるデータセンターの見学
- 開発を進めるノウハウ(なぜなぜ分析、タスクばらし)

AIスピーカーでの議事録の自動化、QRコードなど身近なキャッシュレスの話題やデータセンター見学などを通じて、ITサービスの体験から裏側までを体験することで、IT企業の視点からITを理解いただければと思います。

参加教員の声

- なぜなぜ分析やタスクばらし、アイデアソンの手法を、学級での話し合いや、会議で活用します。
- 受託開発とサービス開発では、その違いや事業形態の変化に伴って、必要とされる人材も変化していることが理解できました。
- 会議の議事録を作成できる最先端の技術を体験し、AIが得意とする分野が理解でき、学校でも活用したいと思いました。



チームで課題解決について議論



ITを利用し、教育現場を良くするサービスを発表

株式会社TBSテレビ

企業からのメッセージ 放送の現場を見ていただくことで、放送の仕事の意味や目的、そこで働く人の思いを理解し、また、チームワークや伝えることの楽しさ、大切さを体験し、教育現場で役立てていただければと思います。

受け入れ実績 12年目 **実施日** 7/31(水)～8/2(金) **参加教員数** 10名(東京都三鷹市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 放送事業の公共性と社会的使命
- 2 放送局の業務(営業)
- 3 キャスター体験
- 4 放送局の業務(報道)
- 5 局内見学・ニュースオンエア見学

2日目

- 1 放送倫理
- 2 ラジオ放送の概要
- 3 放送局の業務(技術)

3日目

- 1 緑山スタジオ見学
- 2 放送局の業務(美術)
- 3 放送局の社会貢献(CSR)
- 4 放送局の人材開発
- 5 振り返り

クローズアップ

出前授業体験

- **編集長体験**: 実際に放送された6本のニュースの中から3本を選び、放送する順番に並べ、なぜその3本を選びその順番にしたかの理由を考える
- **放送体験**: 疑似スタジオセットで、キャスター、アナウンサー、カメラマン、フロアディレクター、スイッチャー、ディレクター、中継先(気象予報士や記者)などの役割に分かれて、ニュース番組情報とニュースの違いを知り、また、ニュース放送を体験することで、画面では分からない、放送の仕事の楽しさやチームワークの大切さ、やりがいを感じていただければと思います。

参加教員の声

- 出前授業体験では、「伝えたい、知ってもらいたい」という思いや、正しく伝えようとする姿や、現場の緊張感・プロ意識を感じました。
- 放送倫理で大切にしている「人を傷つけないようにするには」という理念を、学校経営や道德の授業で活かします。
- 大勢の人がひとつの目標に向かって仕事をすることの大切さを子どもたちに伝えます。



スタジオでアナウンサーやカメラマンを体験



中継先での放送を体験

一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)

活用事例 P.35

企業からのメッセージ 未来を支える人材を育てるためには、まずは先生方にITやエレクトロニクスの理解を深めていただくことが必要と考えます。少しでもテクノロジーに親しみをもっといただければと思います。

受け入れ実績 1年目 **実施日** 7/31(水)～8/2(金) **参加教員数** 13名(東京都東村山市教育委員会、東京都東大和市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 協会概要
- 2 ITエレクトロニクス業界概要
- 3 人材育成活動
- 4 出前授業「小学生のためのおもしろ電気教室」レクチャー編
- 5 ITエレクトロニクス講座体験

2日目

- 1 出前授業「小学生のためのおもしろ電気教室」実践編
- 2 アルゴリズム体験ゲーム「アルゴロジック」体験
- 3 振り返り

3日目

- 1 パナソニックセンター見学
- 2 科学技術館見学

クローズアップ

出前授業「小学生のためのおもしろ電気教室」の体験

- モーターの仕組みとアプリケーション
- 「小学生のためのおもしろ電気教室」体験

電子情報技術産業協会が実施している出前授業「小学生のためのおもしろ電気教室」を体験し、電気や電磁石の仕組みについて理解を深めていただければと思います。

参加教員の声

- おもしろ電気教室で、簡易モーターを回すために試行錯誤することが、子どもたちにとって大事な学びであると実感できました。
- 携帯電話の分解では、様々な部品があることが分かり、技術の進歩を実感しました。
- 「アルゴロジック」を通して、協力して解決する面白さや考えることの大切さを子どもたちに伝えます。



身近な電子機器に触れる



出前授業「小学生のためのおもしろ電気教室」を体験

一般財団法人電力中央研究所

企業からのメッセージ 電気を中心としたエネルギーや環境問題を身近に感じ、そこには様々な見方や考え方があることを知ることで、広い視野を養っていただくとともに、実験・工作などの体験を、今後の教育現場で活かしていただければと思います。

受け入れ実績 18年目 **実施日** ①8/2(金)、②8/6(火)、③8/22(木) **参加教員数** 39名(①東京都江戸川区教育委員会、東京都新宿区教育委員会、東京都私学財団、②東京都新宿区教育委員会、東京都中野区教育委員会、③東京都葛飾区教育委員会)

主なプログラム

- 1 研究所概要紹介
- 2 研究現場の見学
- 3 電気に関する実験・工作
 - エネルギー資源や環境に関する効果的な指導方法と教材開発
- 4 意見交換

※複数回開催のため、開催場所(狛江地区、我孫子地区)により若干プログラムが異なります。

クローズアップ

エネルギーや環境に関する効果的な指導方法と教材開発

- エネルギーの利用によって生じる課題
- 電気の性質と特徴
- 電気の使われ方

エネルギーや環境に関する講義および電気の実験・工作などを体験することによって、教員の方々自身の理解を深め、子どもたちに興味をもってもらえるような魅力的な授業づくりのヒントになればと思います。

参加教員の声

- 主体的に楽しみながら、アイデアを広げていく姿勢を学ぶことができました。日々の教材研究もその気持ちをもって行いたいと思います。
- 地震や津波などの自然災害から設備を守るため、様々な実験や対策、技術の開発を行っていることに感銘を受けました。
- 電力を安定して供給するために日々研究をしている人がいることを、子どもたちに伝えます。



研究現場を見学



電気の実験・工作

東京海上日動火災保険株式会社

活用事例 P.27

企業からのメッセージ 業務内容や教育界とのつながりについて多方面から知ることで、損害保険業への理解を深めていただくとともに、企業を支える主体性ある人材の育成方法などを学び、今後の教育活動に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 10年目 **実施日** 8/8(木)～8/9(金) **参加教員数** 23名(東京都品川区教育委員会、東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

- 1日目
 - 1 会社概要
 - 2 東京2020大会への取り組み、障がい者スポーツ体験
 - 3 東京海上ビジネスサポート(障がい者雇用促進のための特例子会社)見学
 - 4 国内外の人材育成、コミュニケーション演習
- 2日目
 - 1 学生と学校を取り巻くリスクと対応方法
 - 2 広域災害時の対応
 - 3 デジタル戦略
 - 4 CSRの取り組み
 - みどりの授業・ぼうさい授業
 - グループディスカッション
 - 5 地域安全MAP教室
 - 6 広報機能、キャスター体験

クローズアップ

国内外の人材育成

- 人材育成施策概要
- 人材育成に取り組む意義
- グループディスカッション

教員同士の交流や思いの共有を通じて、人材育成の取り組みについて理解を深め、新たな気付きを得る機会を提供することで、人材育成のやりがいの共感やモチベーションアップにつなげていただきたいと思います。

参加教員の声

- 人が育つ環境をつくるという考え方は分かりやすく共感できました。生徒に明確なゴールを示すなど学校現場で活かしたいです。
- 特例子会社の見学で学んだ働く姿や体験談、配慮や環境の設定などを、教育環境づくりやキャリア授業に活かします。
- 防災教育に活かせる「ぼうさい授業」について同僚に伝え、活用します。



障がい者スポーツ「ボッチャ」を体験



人材育成に関するグループディスカッション

東京ガス株式会社

活用事例 P.38

企業からのメッセージ 暮らしを支えるエネルギーの実情や都市ガスの供給の工夫、災害への対処・備えを知り、授業や学校行事の機会などで、子どもたちがライフラインや防災に関する理解を深める働きかけができるようお手伝いします。

受け入れ実績 29年目 **実施日** 7/24(水)～26(金)、7/30(火)～8/1(木)、8/6(火)～8(木)、8/20(火)～22(木)、7/25(木)、8/1(木)、8/8(木)、8/22(木)

参加教員数 188名(足立区、荒川区、江戸川区、葛飾区、北区、小平市、品川区、新宿区、杉並区、中央区、中野区、西東京市、練馬区、東大和市、町田市、三鷹市、港区、武蔵野市、横浜市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 供給指令センター見学
- 2 講義:エネルギー環境教育(日本のエネルギー事情の理解)
- 3 個人ワーク
- 4 扇島LNG基地見学

2日目

- 1 グループワーク①
- 2 講義:エネルギー環境教育(エネルギーを考える視点)
- 3 学校教育支援活動
- 4 グループワーク②

3日目

- 1 東京2020大会に向けた取り組み
- 2 新宿地域冷暖房センター見学
- 3 東京ガスグループのCSR
- 4 東京ガスグループのCS
- 5 新宿ショールーム見学
- 6 活用アイデアの検討ワーク
- 7 発表・振り返り

※3日間と1日の研修を各4回行いました。

クローズアップ

授業プラングループワーク「エネルギー環境教育のカリキュラムマネジメント」

- 自然災害(地震)への備えをテーマにした授業づくりワークショップ
- 実践紹介(昨年度研究授業をした教員によるプレゼンテーション)
- 新学習指導要領における関連内容の取り扱いとその意図

エネルギー・防災教育の必要性を感じてもらえるよう、参加型のワークショップを工夫し、それぞれの立場で授業プランに組み入れたい内容を発見していただくことをゴールとしました。

参加教員の声

- 東京2020大会のオフィシャルパートナーとして、共生社会の実現に向けた様々な取り組みをしていることに関心をもちました。
- グループワークでは、エネルギーの特徴や課題を捉えながら、環境や社会情勢にも視野を広げることができました。
- ガスメーター復帰など、災害時に子どもたちができることや心構えを伝えます。



授業プランづくりのグループワーク



新宿地域冷暖房センターの見学

株式会社東京証券取引所

企業からのメッセージ 学んだことを今後の授業などで教員自身の言葉で子どもたちへ伝えていただければと思います。これからの社会を生きていく子どもたちに、自分で情報収集し、判断する力を身に付けてほしいと思います。

受け入れ実績 18年目 **実施日** 8/22(木)～8/23(金)

参加教員数 24名(東京都江戸川区教育委員会、東京都品川区教育委員会、東京都練馬区教育委員会、東京都私学財団)

主なプログラム

1日目

- 1 東証の金融経済教育の取り組みの紹介
- 2 企業が求める人材・人材育成
- 3 ビデオ視聴「株式会社のしくみ」
- 4 東証の施設見学
- 5 「ブルサ bursa® educational 株価の動きで学ぶ経済」の実践
- 6 株式投資体験ゲーム実践
- 7 東証の役割の紹介

2日目

- 1 貨幣博物館見学
- 2 学生向け教材「会社を知ろう!会社を応援しよう!」体験
- 3 ワークショップ「人生100年時代の資産形成」
- 4 振り返り

クローズアップ

「会社を知ろう!会社を応援しよう!」

- 起業家になったつもりで、グループごとに組みたい事業内容を4つの選択肢から選び、企業の役割と目的を理解し、話し合ってから発表する
- グループワークを通して具体例を話し合いながら、企業の役割と目的を理解する
- 動画での説明を通して社会の出来事と企業に与える影響を学ぶ

企業の役割や目的、社会の動きや企業との関わりなど、市場経済を入門的に学べます。企業の活動を具体的に示したり、グループワークを多く取り入れているのが特色です。

参加教員の声

- 「会社を知ろう!会社を応援しよう!」では、様々な業種があることを知り、株についてもイメージしやすかったです。
- 教材体験で、「会社を知り、応援する」楽しさを知りました。
- 日本を支えている一つひとつの会社にもっと興味をもち、会社の挑戦や成長にも目を向けるよう子どもたちに伝えます。



東証アローズを見学



「会社を知ろう!会社を応援しよう!」を体験

東芝エネルギーシステムズ株式会社

企業からのメッセージ エネルギーおよび社会インフラに関連する製品・サービスの見学や、社員との意見交換を通じて、私たちを取り巻くエネルギー社会の過去・現在・未来を子どもたちに伝えていただければと思います。

受け入れ実績 21年目 実施日 8/8(木)～8/9(金) 参加教員数 19名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 事業紹介
- 2 京浜事業所見学
- 3 デザイン思考によるワークショップ

2日目

- 1 府中事業所見学
- 2 東芝科学館見学
 - 東芝の歴史
- 3 意見交換

クローズアップ

デザイン思考によるワークショップ

- デザイン思考、カスタマーバリューデザインとは
- デザイン思考を用いた新しい財布のデザインワークショップ
- デザイン思考の適用事例

東芝エネルギーシステムズでは、複雑化するビジネス課題に対し、カスタマーバリューデザインを用いた解決を行うことを推進しています。ここで用いられるフレームワークは広く適用可能ですので、学校現場の課題解決のヒントとしていただければと思います。

参加教員の声

- 財布を作るワークショップを通して、コミュニケーションの仕方や課題発見・解決について考えることができました。
- 大きなタービンを造っている工場で、繊細で精密な技術を見ることができました。
- 課題に対して、対話しながらイメージを広げて解決していく方法を学級活動に取り入れたいと思います。



デザイン思考によるワークショップを体験



自作した財布を紹介

東邦ガス株式会社

企業からのメッセージ 各部門の保安・防災対策の現状について、都市ガス工場見学を含め幅広く知るとともに、各学校での取り組み状況の共有などを通して、今後の次世代教育への取り組みに関して有意義な意見交換ができればと思います。

受け入れ実績 23年目 実施日 7/30(火) 参加教員数 7名(愛知県東浦町教育委員会、愛知県の教員)

主なプログラム

- 1 都市ガス製造工場見学
- 2 会社概要、次世代教育への取り組み
- 3 ガスエネルギー館見学
- 4 防災活動
- 5 防災教育講演・意見交換

クローズアップ

防災に関する教育の在り方

- 防災活動
- 各学校での取り組みの現状の共有
- 教育現場で教員が感じている課題など

保安・防災対策の知見・ツールや、他校での取り組み状況の中から、子どもたちを災害から守る方法について、新たなヒントや協力の可能性などを得ることができればと思います。

参加教員の声

- 防災に関する教育について学んだことを活かし、ガスの正しい理解や危機意識をもつための機会を設けます。
- 除草のコスト削減のため、社員のアイデアからヤギを飼うなど、社員が自分たちで会社をつくり上げていると感じました。
- 二酸化炭素の削減や地球に優しいエネルギーについて子どもたちに伝えます。



都市ガス製造工場を見学



ガスエネルギー館を見学

東レ株式会社

企業からのメッセージ 安全や社会貢献、人材育成など、企業という組織の在り方や、企業で働くということとはどのようなことであるか、講義や見学・討議を通じて理解し、教育現場で活用いただければと思います。

受け入れ実績 26年目 実施日 7/31(水)～8/2(金) 参加教員数 8名(静岡県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 三島工場概況、地域社会との関わり
- 2 労務管理施策
- 3 東レの経営と人材育成

2日目

- 1 安全・衛生・防災・環境活動
 - 製造現場における危険予知トレーニング演習
 - 水資源保全活動
 - 危険体感マシン教育
- 2 三島工場見学
 - 繊維生産設備、フィルム生産設備
- 3 企業文化フロア見学

3日目

- 1 医薬の開発と生産
- 2 繊維の研究・開発
- 3 振り返り

クローズアップ

東レの開発と生産

- 開発と生産の在り方
- 管理者として開発・生産の現場で心掛けていること
- 企業に求められる人材像

研究・開発・生産活動や製品について理解するとともに、実体験に基づく管理者・社員の在り方を知り、そうあるために子どもたちにどのような資質をもってほしいか理解いただければと思います。

参加教員の声

- 新素材や技術開発と同様に、その用途の開発も重要な時代であるという話が印象に残りました。
- 「企業の盛衰は人が制し、人こそが企業の未来を拓く」という考え方は学校経営にも共通すると感じました。
- 実験室を使う前に危険予知トレーニングを行い、安全への意識を高めたいと思います。



危険予知トレーニングを体験



企業文化フロアを見学

戸田建設株式会社

企業からのメッセージ 何気なく見ている建物が、工事現場の一人ひとりの熱意と情熱で出来上がっています。緻密に計画して実行する建設工事や安全体験施設、さらに社員の仕事ぶりなどから、建設の魅力を感じていただければと思います。

受け入れ実績 7年目 実施日 8/20(火)～8/21(水) 参加教員数 12名(東京都葛飾区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 高所作業体験、熱中症対策
- 2 工事現場見学

2日目

- 1 建設業と会社概要
- 2 人材育成への取り組み
- 3 環境への取り組み
- 4 CSRへの取り組み
- 5 グループワーク
- 6 再開発事業
- 7 振り返り

クローズアップ

建設業界のしごと～学校が出来るまで

- ブロック玩具を使った学校建設の仮想体験
- 「計画(設計)→実行(施工)」の大切さ
- 建設工事の手順

建設工事は、設計から作業工程通りに、また、日々打合わせを行い、チームワークをもって取り組んでいます。そうした進め方を知るグループワークを行います。ブロック玩具を使った仮想体験で、理解を深めてもらうことが目的です。

参加教員の声

- グループワークでは、ブロック玩具を使って学校を建設し、事前計画、手順、チームワークの重要性を実感しました。
- 安全体験施設の体験で、安全への意識が高まり、一つひとつ丁寧に確認することの大切さを改めて感じました。
- 多くの人が協力して完成させていく建設業の魅力を、子どもたちに伝えます。



ハーネスを着けて安全体験



グループワークの様子

凸版印刷株式会社

企業からのメッセージ 「企業は人なり」の精神で社員を「人財」と捉え企業活動を行っています。製造現場やショールーム見学、先進事例紹介や社員との意見交換を含めたワークショップなどを通してトッパンを体感していただければと思います。

受け入れ実績 10年目 実施日 7/31(水)～8/2(金) 参加教員数 12名(東京都教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 人財開発
- 3 安全衛生・防火活動への取り組み
- 4 安全道場体感学習
- 5 「TOPPAN VISION21」
- 6 川口工場見学

2日目

- 1 人財開発に関するワークショップ
- 2 印刷博物館見学
- 3 文化事業の取り組み
- 4 VRシアター見学
- 5 BtoCビジネスの取り組み
- 6 ショールーム(PLAZA21)見学

3日目

- 1 働きがいのある職場づくりに向けて
- 2 メンタルヘルス
- 3 生活系ショールーム「L・I・F・E(ライフ)」見学
- 4 脳神経科学を活用した人財育成・施設見学
- 5 振り返り

クローズアップ

3日間で完結する総合プログラム

- 製造現場と安全への取り組み
- 先進事例と文化事業の紹介
- 人財開発と働きがいのある職場づくり

3日間でトッパンの「コア技術＝製造」「先進事例＝デジタル」「人を活かす＝人財」を体感できるよう、総合的に考えて組み立てています。企業の過去・現在・未来を知って、学校現場に活かしていただければと思います。

参加教員の声

- 企業理念や人財開発の考え方、文化事業の取り組み、最新の技術に触れ、たくさんのことを学ぶことができました。
- 暗室で言葉だけを頼りに行うグループワークで、改めてコミュニケーションの重要性を感じました。
- ただ褒めるだけでなく、どう褒めるかが大切だと学校で話したいと思います。



印刷博物館 活版印刷の紹介



メンタルヘルスを体験「インタビュー形式の自己紹介」

株式会社豊田自動織機

活用事例 P.33

企業からのメッセージ 組織の中で、まずはあいさつができること、まっすぐな気持ちで真剣に先輩の言葉に耳を傾けることを学んでいただければと思います。

受け入れ実績 16年目 実施日 7/29(月)～7/31(水) 参加教員数 5名(石川県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 環境保全活動
- 3 繊維機械ショールーム見学
- 4 東浦工場の現場管理
- 5 安全衛生への取り組み

2日目

- 1 技術技能ラーニングセンター見学
- 2 技能五輪に挑戦! やすりがけ体験
- 3 技能専修学園訓練見学
- 4 技能専修学園指導員との意見交換
- 5 健康管理への取り組み
- 6 社会貢献活動

3日目

- 1 QC基礎、問題解決手法
- 2 人材育成への取り組み
- 3 高浜工場「トヨタL&Fカンパニー」見学
- 4 意見交換

クローズアップ

人材育成の取り組み

- 人材育成施策のめざす姿
- OJT、集合研修の具体例
- 自己啓発の具体例

人材育成は重要な経営投資です。成長機会の提供は、会社として示すことのできる最も大きな「人間性尊重」の姿勢です。人材育成の基本であるOJTをサポートする制度を整え、職場におけるOJTの風土を醸成しています。

参加教員の声

- 一人ひとりの気付きを高め、問題意識をもって自分で考えて行動することの大切さを改めて実感しました。
- 製造現場で、コミュニケーションの取り方、上司と部下の声かけや指導などがよく分かりました。
- さらに素敵な学級にするためのPDCAサイクルを子どもたちと考えます。



繊維機械ショールームの見学



安全衛生への取り組みの講義

中日本高速道路株式会社

活用事例 P.31

企業からのメッセージ 社会や技術の発展に伴って、高速道路会社の事業も大きく変化しています。技術革新が加速する中、これからの時代に輝く人物像や、そのために教育現場に求められる変化について、教員と企業が共に考えるきっかけになればと思います。

受け入れ実績 12年目 **実施日** 7/24(水)～7/26(金) **参加教員数** 12名(東京都国立市教育委員会、東京都杉並区教育委員会、東京都私学財団)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 料金シミュレーション室・東京料金所見学
- 3 高速道路交通安全セミナー
- 4 コミュニケーション・プラザ川崎、川崎道路管制センター見学
- 5 社員との意見交換

2日目

- 1 横浜保全・サービスセンター業務概要
 - 維持管理車両見学
 - 交通管理業務体験
- 2 海老名サービスエリア見学
- 3 建設現場見学

3日目

- 1 各事業への取り組み
 - 関連事業
 - 保全事業
 - 建設事業
 - 地域連携への取り組み
- 2 意見交換・発表

クローズアップ

現場見学

- 川崎道路管制センター見学
- 交通管理業務の訓練体験
- 新東名高速道路建設現場見学

人々の暮らしを支え、みんなの笑顔をつなぐ道を守るために、高速道路の最前線で、文字どおり命懸けで働く社員と現場で直接話していただきたいと考え、現場見学の時間を多く設けました。

参加教員の声

- 高速道路がどのようにしてできていくか、トンネルはなぜ丸いのか、なぜ山道を通るのかなど学ぶことができました。
- 温泉を造る新事業や茶摘みのボランティアなど地域と連携していることを知りました。
- 旗振りや発煙筒などの交通管理業務体験を通して学んだ、高速道路を快適に運転できる理由を、子どもたちに伝えます。



川崎道路管制センターの業務を見学



ハイウェイパトロールの装備機材について隊員から説明

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社

企業からのメッセージ 高速道路における安全性向上や維持管理など、NEXCO中日本グループの様々な取り組みや事業に対する考え方が、今後の学校運営や将来を担う子どもたちの教育現場における気付きや参考になれば、大変うれしく思います。

受け入れ実績 2年目 **実施日** 8/9(金) **参加教員数** 29名(東京都中央区教育委員会、横浜市教育委員会)

主なプログラム

- 1 NEXCO中日本グループ概要
- 2 会社概要
- 3 技術研修所見学
 - コンクリート構造物打音点検体験
- 4 安全性向上への取り組み
- 5 技術開発の取り組み
- 6 グループディスカッション
- 7 交通安全セミナー
- 8 振り返り

クローズアップ

グループディスカッション

- テーマ：あなたがもしNEXCO中日本グループの社員になったら
 - どのような仕事をしたいか
 - どのように社会に貢献できるか
 - チャレンジ、アイデアの実現

グループ内で意見交換や議論を通して、コミュニケーション力・チームワーク力により結果をまとめ、与えられた課題に対しての解決能力とともにプレゼンテーション力も養います。

参加教員の声

- グループディスカッションでは、多様な価値観に触れられたり、企業側の視点も知ることができ、大変有意義でした。
- ドローンや着るエアバッグの開発など、技術開発の取り組みが興味深かったです。
- 高速道路や橋、トンネルの安全・安心・快適な利用のため、多くの人が関わっていることを子どもたちに伝えます。



エアバック式安全チョッキを体験



グループディスカッション

西日本旅客鉄道株式会社

活用事例 P.40

企業からのメッセージ 駅係員や運転士、車掌のほかにも、線路や車両、電気設備をメンテナンスする社員など、当社グループ全体が一体となり、日々の安全な鉄道運行を支えていると感じていただければと思います。

受け入れ実績 27年目 実施日 8/19(月)～8/21(水) 参加教員数 7名(大阪府高槻市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 安全の取り組み
- 3 CSの取り組み
- 4 事業創造概要
- 5 駅業務概要
- 6 駅業務体験(大阪駅)

2日目

- 1 JR西日本テクシア見学
 - ホームの安全への取り組み、保安システム
- 2 社員研修センター見学

3日目

- 1 車掌・運転士業務概要
- 2 車掌業務見学(新幹線)
- 3 運転士業務見学(新幹線)
- 4 振り返り

クローズアップ

大阪駅での駅業務体験

- 改札業務
- 出札(切符発券)業務
- 放送業務

実際に制服を着用し、管内で最も利用者の多い大阪駅のお客さまの対応をすることで、「すべての仕事はお客さまにつながっている」ことの大切さや、やりがいを感じていただければと思います。

参加教員の声

- 駅業務体験では、安全・サービス面で大切にしていることを知り、利用客に対する臨機応変な対応や心配りを学びました。
- どの見学先でも最初に語られることは安全に関することで、理念が浸透していることを実感しました。
- ホームの安全柵を見学し、開発や改良に当たる人々の思いや姿勢を、子どもたちに伝えます。



駅係員の業務を体験



車掌業務を見学

株式会社日清製粉グループ本社

企業からのメッセージ 日清製粉グループが担う基礎食材としての小麦粉づくりを理解することで、次代を担う子どもたちとも、食に関する様々な問題意識を共有し、食育をはじめとした今後の教育活動に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 3年目 実施日 8/6(火)～8/8(木) 参加教員数 14名(東京都品川区教育委員会、東京都文京区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 グループ概要
- 2 企業文化施設建設の経緯と背景
- 3 映像視聴「企業歴史編」
- 4 製粉ミュージアム見学
 - 製粉ラボ教室体験
 - 新館、本館、日本庭園見学
 - 映像視聴「事業と公益」「製粉ミュージアム建設工事の歩み」
- 5 消費者啓発・教育事業
- 6 広報活動

2日目

- 1 人材育成
- 2 お客さま対応
- 3 広告宣伝活動
- 4 鶴見工場見学

3日目

- 1 消費者向け料理教室「フラワー手づくり教室」体験
- 2 振り返り

クローズアップ

「フラワー手づくり教室」

- 手打ちうどん作り体験
- 焼き菓子(マドレーヌ、ブル・ド・ネージュ)作り体験

日清製粉グループが小麦粉食の普及活動として開催している料理教室「フラワー手づくり教室」を実際に体験し、小麦粉の特性や料理法について学んでいただきます。

参加教員の声

- 「フラワー手づくり教室」では、特徴・性質など科学的な視点もありながら、小麦粉の魅力を楽しめることができました。
- 健康で豊かな生活のために、食に関すること以外の広告宣伝活動も取り入れていることが興味深かったです。
- 小麦粉について子どもたちに伝え、食料生産の課題を考えるきっかけになります。



人材育成を学ぶ



「フラワー手づくり教室」を体験

ニッセイアセットマネジメント株式会社

企業からのメッセージ 資産運用業の役割や人材育成、投資の基礎知識や投資信託の制度などを幅広く紹介し、金融の社会的役割や金融教育の重要性への理解を深め、今後の教育活動に活かしていただきたいと思います。

受け入れ実績 12年目 **実施日** 7/30(火) **参加教員数** 10名(東京都杉並区教育委員会、東京都私学財団)

主なプログラム

- 1 会社概要、経営戦略
- 2 資産運用の基礎
- 3 ファンドマネジャーの業務
- 4 オフィスツアー(運用部門・トレーディング部・投信部門)
- 5 投資信託の仕組み
- 6 人材育成
- 7 振り返り

クローズアップ

資産運用の基礎

- 資産運用の必要性
- 代表的な投資対象資産とその特徴(株式、債券など)
- 金融商品と上手に付き合うために

資産運用の必要性と基本的な金融リテラシーを身に付け、投資と投機の違いや、投資することの社会的意義を理解いただき、今後の教育活動に活かしていただければと思います。

参加教員の声

- 投資と投機の違いを知り、価値のあるものにお金をかけ、みんなで喜びを分かち合うという考えに賛同しました。
- 公民の授業で、資産運用業界の役割を具体例を交えながら伝えます。
- お金が行きわたることで経済が成長していることや、そのために金融機関が役割分担していることを子どもたちに伝えます。



資産運用の基礎を学ぶ



ファンドマネジャーの業務を学ぶ

日本アムウェイ合同会社

企業からのメッセージ 企業活動や製品ブランドづくり、そして、品質にこだわり抜いた製品開発への姿勢など、研修を通して実感したことを、教育現場で活かしていただければと思います。

受け入れ実績 7年目 **実施日** 7/30(火)～8/1(木) **参加教員数** 10名(東京都江戸川区教育委員会、東京都大田区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 オフィスツアー
- 3 アムウェイ・プラザ見学
- 4 働き方改革、人事制度

2日目

- 1 社会貢献活動
- 2 広報戦略
- 3 製品ブランド、品質維持への取り組み

3日目

- 1 教育施策
- 2 食習慣、栄養摂取状況
 - 体組成計測
 - 製品紹介
- 3 子どもと栄養、勉強などへの影響
- 4 振り返り

クローズアップ

フリーディスカッション・発表

- 企業が取り組む活動の学びを通して得た気づき・今後の学校運営に活かしたいこと
- グローバル人材とは(世界に羽ばたく子どもたちの育成・環境づくり)

3日間、フリーディスカッションや発表の時間を設けました。各プログラムからの学びだけでなく、情報共有や率直な意見交換などから得た気づきなどを、今後の教育活動へ活かしていただければと思います。

参加教員の声

- アイデアを出しやすく話し合える機の配置など、個人を大切にされた職場環境であることが印象的でした。
- グローバル人材の育成のために、自分の意見を持ち、相手にしっかりと伝えることの大切さを子どもたちに伝えます。
- 学校がもつブランド力とは何かを考えることができ、保護者や地域への情報発信に活かします。



製品ブランドのこだわりを学ぶ



グループディスカッション

日本航空株式会社(JAL)

企業からのメッセージ 大前提である安全のため、全社員が安全のプロとして確実なバトンタッチを通して努力を継続しています。このために一番重要なのは「人財」です。これらの具体的な活動を直接確認いただければと思います。

受け入れ実績 23年目 実施日 8/5(月)～8/7(水) 参加教員数 23名(神奈川県教育委員会、東京都江戸川区教育委員会、東京都大田区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社の概要、航空会社の仕事概要の説明
- 2 安全・安心な翼を24時間365日支えている本社オペレーションコントロールセンターの見学
- 3 JALグループの人財育成

2日目

- 1 羽田空港オペレーションセンター
■安全・安心な翼を支える空港の裏側紹介
- 2 講義と体験実習
■接客5原則とおもてなしの心
- 3 組織横断的なコミュニケーション活性化活動についての紹介

3日目

- 1 JALグループの安全への取り組み
- 2 安全・安心を創るJAL工場見学～SKY MUSEUM～
- 3 振り返り

クローズアップ

安全を創る「人財」の育成

- 現地・現物・現人
- 安全は現場(人財)が創る
- 責任・使命を果たすことに喜びを見出す人財を

「安全」は「人財」が創り出すものです。責任と使命を果たすことに誇りをもつ人財を育成し、働きやすい環境をつくるのがリーダーの仕事です。安全への取り組みの最前線を体感いただければと思います。

参加教員の声

- 人を財産として捉え、自立した人財の育成に力を入れていることや、環境整備や意識改革の大切さを実感しました。
- おもてなしにはマニュアルはなく、お客さまをよく観察し、心に寄り添うことが大切だと実感しました。
- 共通の視点や目標をもって取り組むことが、事故防止につながることを同僚に伝えます。



羽田空港で出発前のパイロットブリーフィングを見学



JAL工場見学～SKY MUSEUM～

日本証券業協会

活用事例 P.36

企業からのメッセージ 証券市場や株式会社制度は、企業の資金調達に大きな役割を果たし、それが企業の成長や社会の発展にもつながること、また、証券をはじめ金融について学ぶことは、家計管理や資産形成にも役立ち、人生を豊かにすることにもつながるということをお伝えします。

受け入れ実績 15年目 実施日 8/7(水)～8/8(木) 参加教員数 48名(東京都中央区教育委員会、東京都中野区教育委員会、東京都東村山市教育委員会、東京都私学財団、横浜市教育局)

主なプログラム

1日目

- 1 証券の基本
- 2 日本証券業協会の活動紹介
- 3 DVD視聴「証券取引所のしくみ」
- 4 東京証券取引所見学
■株式投資体験
- 5 新聞を読んで経済を知る

2日目

- 1 体験型教材の実習
■「チャレンジ!お菓子の株式会社」(小学校向け)
■「株式会社をつくろう!ミスターXからの挑戦状」(中学校・高校向け)
- 2 これからのライフプランと資産形成
- 3 学校における金融教育の必要性
- 4 ワークショップ「ポートフォリオをつくってみよう」

クローズアップ

体験型教材 「株式会社をつくろう!ミスターXからの挑戦状」実習

- グループ活動
■ 会社の企画・事業内容を考える
- グループ活動
■ 他者との意見交換、まとめ、プレゼンテーション
- 個人活動
■ 会社・商品进行评估し、投資を行う

株式会社や投資の意義などについて学ぶ教材実習に、実際に参加することでその効果を体験し、授業への活用を検討いただければと思います。

参加教員の声

- 「どんな会社を応援したいか」「応援したいと思う会社になるには」の視点で、株式会社について考えることができました。
- 新聞の経済面や社会面にも関心をもち、しっかりと目を通すようになることが、主体的に学ぶ姿勢につながると実感しました。
- 株価の推移と世界の出来事の関連を、具体例を交えて子どもたちに伝えます。



講義の様子



体験型教材の実習

日本製鉄株式会社

企業からのメッセージ 鉄づくりで広く社会を支える鉄鋼メーカーが、日々どのような思いでモノづくりを行っているか、また、鉄という素材の魅力や環境への取り組み、人材育成活動などを理解し、教育現場でご活用いただければと思います。

受け入れ実績 23年目 **実施日** ①7/29(月)～7/30(火)、②7/31(水)、③7/31(水)～8/2(金)、④8/5(月)～8/7(水)、⑤8/8(木)～8/9(金) **参加教員数** 51名(①東京都品川区教育委員会、東京都練馬区教育委員会、②愛知県の教員、③大阪府高槻市教育委員会、④北海道教育庁胆振教育局、⑤千葉県木更津市教育委員会、千葉県君津市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 安全研修(危険体感研修)
- 3 CSRの取り組み
- 4 意見交換

2日目

- 1 人材育成
- 2 製鉄所概要
- 3 環境への取り組み
- 4 工場見学

※複数回開催のため、開催場所(室蘭製鉄所、鹿島製鉄所、君津製鉄所、名古屋製鉄所、尼崎製造所・広畑製鉄所・製鋼所)により若干プログラムが異なります。

クローズアップ

安全研修(危険体感研修)

- 各製造拠点で実施している、社員はじめ、製造拠点構内に入出入りする協力会社の方々の安全意識向上を図る研修
- 「どのような状況で何が危険なのか」を理解し、実際に体感する

社員の安全に対する意識向上・態度向上のために行っている研修の意義を理解し、子どもたちの安全を守るため、教育現場でも活用いただければと思います。

参加教員の声

- 工場見学では、高い温度や湿度の中で社員の方が活き活きと働く姿や、スケールの大きさに感動しました。
- 過去の事例を徹底的に分析し、そこから学ぶ姿勢を学校現場での安全意識向上に取り入れたいと思います。
- 製鉄の過程や鉄の魅力・可能性について、より詳しく子どもたちに伝えます。



鹿島製鉄所を見学



室蘭製鉄所で人材育成を学ぶ

一般社団法人日本損害保険協会

企業からのメッセージ 身の回りには、交通事故や自然災害などの様々なリスクが潜んでいること、経済的損失に備える手段として損害保険が有効な手段であることを理解し、日本損害保険協会の教材を活用して、子どもたちへ伝えていただければと思います。

受け入れ実績 8年目 **実施日** 8/5(月) **参加教員数** 35名(東京都葛飾区教育委員会、東京都新宿区教育委員会、東京都練馬区教育委員会)

主なプログラム

- 1 協会概要、損害保険業界概要
- 2 損害保険の基礎知識
- 3 自転車事故とその責任
 - 小学生のための自転車安全教室(小学生向け教材および教師用指導案)
 - 「知っていますか?自転車の事故」(中学生以上向け教材)
- 4 リスク教育・防災教育
- 5 「ぼうさい探検隊」(小学生向け実践的安全教育プログラム)
 - ICT教育への活用
- 6 「ぼうさいダック」(幼児向け防災教育用カードゲーム)
- 7 振り返り

クローズアップ

リスク教育・防災教育 ～授業実践例の紹介～

- 金融経済教育事業
- リスク教育副教材・防災教育副教材
- アクティブ型ラーニング授業の展開例

日本損害保険協会の教育プログラムは、身の回りのリスクや防災について学ぶ「リスク教育」と「防災教育」の2本立てで構成されており、発達段階に応じて身に付けてほしい知識や能力を、年齢層別に学ぶことのできるプログラムとなっています。

参加教員の声

- 事故や災害、サイバーリスクなど、多くのリスクと損害保険の役割が分かりました。
- 子どもたちが主体となって「ぼうさい探検隊」に取り組み、地域やそこで暮らす人々への関心と、防災意識を高めたと思います。
- 自転車事故の実態や責任を、子どもたちや保護者に具体的に伝え、自転車の乗り方や交通ルールも共に学びます。



防災について学ぶ



カードゲームを体験

日本通運株式会社

活用事例 P.30

企業からのメッセージ 「モノを運ぶこと」を通して日本通運は社会とどのように関わっているのか、企業を取り巻くステークホルダーとの良好な関係を保つために何が必要か、学んだことを教育現場で活かしていただければと思います。

受け入れ実績 21年目 実施日 7/25(木)～7/26(金) 参加教員数 12名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 CSRの取り組み
- 3 人材マネジメント推進
- 4 国内展開
- 5 海外展開
- 6 広報活動

2日目

- 1 成田物流センター見学
- 2 物流博物館見学

クローズアップ

物流博物館見学

- 物流の歴史
- 物流と社会との関わり
- 物流の発展

古くから物流が存在し、社会にとって必要不可欠であることを、資料や映像などで理解を深め、子どもたちの「物流」への興味や関心を引き出していたいただければと思います。

参加教員の声

- 物流センター見学では、厳重なセキュリティーの中、時間が勝負である商品もあり、大変活気があり驚きました。
- 「日通に運べないものはない」という自社への誇りに感銘を受けました。
- 物流を、物の流れという枠だけでなく、効率化やコスト、環境に配慮している視点からも、子どもたちに伝えます。



成田物流センターで航空貨物の物流を見学



物流博物館で歴史を学ぶ

一般社団法人日本貿易会

企業からのメッセージ 東京国際交流館で日本語を学ぶ留学生との意見交換、商社訪問、国際協力機構(JICA)訪問、東京税関本関や羽田税関支署の視察を通じて、教員が国際的視野に立ち、子どもたちに臨場感をもって語っていただけることを目指しました。

受け入れ実績 7年目 実施日 7/29(月)～7/31(水) 参加教員数 15名(東京都教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 日本貿易会概要
- 2 東京税関本関が行う海上貨物通関業務
- 3 JICA訪問
 - 青年海外協力隊体験談
 - 地球ひろば見学・体験

2日目

- 1 ABIC(特定非営利活動法人国際社会貢献センター)が行う国際理解教育支援
- 2 東京国際交流館訪問
 - 日本語夏期講習見学
 - 留学生との意見交換
- 3 兼松訪問
- 4 日本経済における団体の役割

3日目

- 1 羽田税関支署が行う航空貨物通関業務
- 2 日本の貿易
- 3 意見交換・振り返り

クローズアップ

国際理解増進に向けた 見学・交流・意見交換

- 東京税関本関や羽田税関支署視察による貿易に対する理解増進
- 会員商社の事業説明を通じた貿易に対する理解増進
- JICAが行う国際協力や、留学生との交流を通じた国際理解増進に向けた視野の拡大

商社訪問や東京税関本関・羽田税関支署視察、日本語を学ぶ留学生との交流やJICA訪問を通じて、貿易や海外との交流への理解を深め、さらに世界に視野を広げていただくことを願っています。

参加教員の声

- 生産・流通・卸売や商品開発まで商社がどのように関わっているか、具体的に知ることができました。
- 日本文化を大切にしながら世界と渡り合う姿にととても魅力を感じました。
- 世界が抱える問題や国際交流について理解を深め、身近なことで何ができるのかを子どもたちと考えます。



留学生の日本語講習を見学



羽田税関支署を視察

日本郵船株式会社

企業からのメッセージ 海運業という仕事の意義、役割を理解し、船乗りをはじめその仕事を知るとともに、その魅力を子どもたちに伝えていただければと思います。

受け入れ実績 25年目 実施日 8/20(火)～8/21(水) 参加教員数 9名(東京都品川区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 人事制度
- 3 環境への取り組み
- 4 操船シミュレーター訓練体験

2日目

- 1 日本郵船氷川丸見学
- 2 日本郵船歴史博物館見学
- 3 コンテナターミナル見学

クローズアップ

コンテナターミナル見学(大井・日本郵船東京コンテナターミナル)

- コンテナターミナルの概要
- コンテナ搬出入ゲート概要・見学(ゲート横からトラックの出入りを見学)
- コンテナターミナルの見学(屋上から全体を俯瞰)

多くのコンテナの置かれた広いコンテナヤードを見て、現場のスケールを体感すると同時に、船乗りの仕事について、実際に働く航海士の説明から理解いただければと思います。

参加教員の声

- 日々の経済活動や生活にとって、なくてはならない海運業界の取り組みを知り、様々な学びがありました。
- 海運業の目的や役割を知り、海運業に携わる方々の魅力を知ることができました。
- チームプレーで大切なのは、誰が正しいかではなく、何が正しいかという指標だとクラスに伝え、学級活動に活かします。



操船シミュレーター訓練を体験



コンテナターミナルを見学

株式会社野村総合研究所(NRI)

企業からのメッセージ 情報システムがどのようにつくられ、いかに世の中を便利で豊かにしているかということ、また、国家や企業はもとより、あらゆる組織と個人に求められつつあるサステナビリティの動向についてお伝えできればと思います。

受け入れ実績 13年目 実施日 8/19(月)～8/20(火) 参加教員数 9名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要、事業概要
- 2 キャリア教育プログラム
- 3 チームビルディング体験プログラム

2日目

- 1 IT戦略体験プログラム
- 2 システムエンジニアの仕事
- 3 持続可能な社会と企業
- 4 東京第一データセンター見学

クローズアップ

チームビルディング体験プログラム

- 【事前準備】自己年表を活用して自身の経験・経歴を振り返り、自身の価値観を自覚する
- 【相互インタビュー】他者の経験・思考から価値観を理解し、自身の価値観を相対化する
- 【グループ対話】相互の価値観の背景を理解し信頼関係を築きながらチームで合意形成する

第一線で活躍するコンサルタントが講師となって、企業の経営陣が互いに信頼関係を構築しながら、確信をもってチームとしての合意形成を確立していくための3つのステップを体験いただきます。

参加教員の声

- 本質的な課題を見つけ、課題解決に向けて何が必要かを考えるチームビルディングは、学校で実践できると思いました。
- 評価することが改善や新たな考えにつながることを、楽しみながら実感しました。
- アジェンダをみんなで決める、バックグラウンドを知る、コンセンサスを形成する、この3つを学級活動に取り入れます。



チームビルディング体験プログラムの班別討議の様子



チームビルディング体験プログラムの全体討議の様子

野村ホールディングス株式会社

活用事例 P.39

企業からのメッセージ 金融や経済の知識は、一人ひとりが自立して安心かつ豊かな生活を送るために必要不可欠なものです。野村グループの事業活動やCSRの取り組みなどを理解し、学校教育で活用いただければと思います。

受け入れ実績 20年目 **実施日** 7/24(水)～7/26(金) **参加教員数** 21名(東京都足立区教育委員会、東京都品川区教育委員会、東京都杉並区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 経済・金融・投資の基礎知識
- 2 トレーディングフロア見学
- 3 職域を通じた資産形成支援
- 4 企業が求める人材
- 5 障がい者スポーツ「ボッチャ」体験

2日目

- 1 ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み
- 2 CSRの取り組み
- 3 東京2020大会への支援
- 4 新学習指導要領における新聞の活用と読み方のコツ
- 5 金融・経済教育プログラム体験

3日目

- 1 東証アローズ見学
- 2 野村証券本店営業部見学
- 3 グローバル化する世界 日本の輝く未来と今求められる人材

クローズアップ

CSRの取り組み

- 人材育成
- ダイバーシティ&インクルージョン
- 障がい者スポーツ支援
- 金融・経済教育の普及

野村グループでは約90の国籍の社員が共に働いており、多様な人材は最大の「財産」です。多様性を尊重し個々の特性を活かす人材活用などの取り組みを、子どもたちの育成やより良い職場づくりの参考にしていただければと思います。

参加教員の声

- グローバル化する社会において、広い視野と学び続けることが大切であり、教員としての役割を考えさせられました。
- トレーディングフロアの見学では、日本経済を動かしている様子を間近に感じることができました。
- 初めてプレーしたボッチャは大変面白く、障がい者スポーツについて伝え、学校現場でも取り組みたいと思います。



障がい者スポーツ「ボッチャ」を体験



東証アローズを見学

株式会社長谷工コーポレーション

企業からのメッセージ 身近な住まい形態であるマンションの歴史や技術、長谷工の安全・安心で快適な暮らし提供のための取り組みを理解し、未来を担う子どもたちにモノづくりの楽しさ、建物の維持管理の大切さを伝えていただければと思います。

受け入れ実績 1年目 **実施日** 8/2(金) **参加教員数** 17名(東京都品川区教育委員会、東京都新宿区教育委員会)

主なプログラム

- 1 会社概要、マンション業界
- 2 長谷工マンションミュージアム見学
- 3 演習
 - マンションクイズ
 - コンセプトマンション企画・アイデア発表
- 4 長谷工グループ技術研修センター見学
 - マンション管理員体験
- 5 長谷工技術研究所見学
- 6 振り返り

クローズアップ

長谷工テクニカルセンター見学、マンション管理員体験

- 長谷工マンションミュージアム見学
- 長谷工グループ技術研修センターにてマンション管理員体験
- 長谷工技術研究所見学

マンションの歴史や技術の変遷、未来への取り組みなどの展示を通して、業界のアウトラインをつかむとともに、長谷工で日々行われている研究・技術開発や研修の意義を理解していただければと思います。

参加教員の声

- ミュージアムの見学で、時代の流れや社会の変化、人々のニーズに合わせてマンションが変わってきたことが理解できました。
- 豊かさや大きさだけでなく、住みやすさ、コスト面なども追究されていることが分かりました。
- 安全点検や自然災害への対応、日々の管理などがあるからこそ、安心して暮らせることを子どもたちに伝えます。



長谷工マンションミュージアムを見学



長谷工グループ技術研修センターでマンション管理員を体験

日立建機株式会社

企業からのメッセージ 企業の「モノづくり」「ヒトづくり」を通して、今後世界に向かって羽ばたいていく子どもたちの育成を担う教員に、「モノづくり」「ヒトづくり」の大切さをお伝えしたいと思います。

受け入れ実績 9年目 **実施日** 8/6(火)～8/8(木) **参加教員数** 14名(東京都品川区教育委員会、東京都文京区教育委員会、東京都私学財団)

主なプログラム

1日目

- 1 グループ概要
- 2 日立アカデミー見学
- 3 企業価値観の共有化「Kenkijinスピリット」
- 4 会社紹介ビデオ視聴
- 5 職場見学
- 6 コンプライアンス
- 7 CSRの取り組み

2日目

- 1 土浦工場概要・見学
 - 環境への取り組み
- 2 Solution PLAZA見学
- 3 技術研修センタ見学、意見交換

3日目

- 1 人材開発センタ概要・人材育成・見学
- 2 体験研修
 - ミニショベル試乗、溶接シミュレーション
- 3 グループディスカッション
- 4 3分間スピーチ

クローズアップ

「Kenkijinスピリット」

- 企業理念の理解
- グローバルな価値観の共有
- 一人ひとりのブランドとしての意識

社員一人ひとりが「Kenkijinスピリット」という共通の価値観をもって仕事をすることが、企業のブランド価値向上につながっていくことを理解いただければと思います。

参加教員の声

- 共通の価値観をもち、ブランドは社員一人ひとりがつくるという誇りをもって働いていることが素晴らしいと思いました。
- 実際に重機に乗り、大きさを体感し、安全への配慮についても理解が深まりました。
- 目に見える利益のためではなく、これから何が求められるかを常に考え、動かなければいけないと同僚に伝えます。



技能研修の設備を見学



ミニショベルの試乗体験

富士電機株式会社

企業からのメッセージ 子どもたち、さらにその先の世代に負荷を与えないために、事業を通じて環境・社会課題の解決に取り組んでいます。持続可能な社会を目指す取り組みの重要性を、学校教育の場で伝えていただければと思います。

受け入れ実績 13年目 **実施日** 8/5(月)～8/7(水) **参加教員数** 12名(東京都日野市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社紹介(DVD視聴)
- 2 CSR・環境への取り組み
- 3 東京工場見学
 - 環境への取り組み
 - 工場・展示室見学
- 4 環境についてのディスカッション
- 5 富士ライフケアネット見学

2日目

- 1 特例子会社(富士電機フロンティア)概要・見学
- 2 安全への取り組み、危険体感教育
- 3 安全についてのディスカッション

3日目

- 1 食品流通製品紹介(コーヒーマシン)
- 2 モノづくり技能伝承、人材育成
- 3 グローバル人材育成の取り組み
- 4 振り返り

クローズアップ

社会に対する取り組み

- 障がい者教育の現場見学
- 障がい者を交えてのディスカッション
- 介護・保育現場見学

地域社会の一員として、障がい者雇用促進に積極的に取り組んでいます。素晴らしい個性を職場でどのように引き出すか、その工夫などを学校教育の現場で活かしていただければと思います。

参加教員の声

- 特例子会社の見学では、自分ができる仕事を精いっぱいやるために、厳しいことも一つひとつ乗り越える姿勢が印象に残りました。
- 危険体感教育では、人ごとと思わず、リスクはその都度解決できるよう工夫し、子どもたちの安全・安心を守ろうと改めて心に誓いました。
- コーヒーマシンの例を挙げ、子どもたちにモノづくりについて伝えたいです。



特例子会社社員と障がい者教育について意見交換



製品(コーヒーマシン)の内部を知る

富士フィルム株式会社

企業からのメッセージ 社会の変化に伴って事業構造を大きく転換し、社員の意識変革にも力を入れてきた富士フィルムの理念や取り組み、企業の社会的責任の考え方などを知っていただき、学校運営や日常業務に役立てていただければと思います。

受け入れ実績 23年目 実施日 8/19(月)～8/21(水) 参加教員数 15名(神奈川県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 オフィス見学
- 3 CSRの取り組み
- 4 お客さま対応
- 5 コンプライアンスの考え方
- 6 オープンイノベーションハブ見学

2日目

- 1 人材育成
- 2 イメージング研修
- 3 ビジネススキル研修①
 - 富士フィルムウェイ

3日目

- 1 ビジネススキル研修②
 - グラフィックレコーディングスキルの活用
- 2 先進研究所概要・見学
 - 医薬品・ヘルスケア研究所見学
 - 研究者による事業説明、意見交換

クローズアップ

ヘルスケア事業の取り組み

- 富士フィルムが化粧品・医薬品・再生医療分野に参入した背景
- ヘルスケア分野に活かした写真フィルムの技術力
- 医薬品・ヘルスケア研究所見学

これまで培ってきた写真フィルムの技術をどのように新分野に活かし、富士フィルム独自の価値を提供しようとしているのか、技術展示の見学に加え、研究者との対話を通じて理解いただきたいと思います。

参加教員の声

- 写真フィルム事業で培った技術を活かして、化粧品・医薬品・再生医療などの分野へ展開していることが興味深かったです。
- 文字と絵を使って視覚的に伝えることで、伝わり方が違うことを体感しました。
- 経験していないことを判断する場合の、よりどころとなるソースを多くもつことの重要性を、同僚に伝えます。



問題解決の手法をチームワークで体験



グラフィックレコーディングを体験

古河電気工業株式会社

活用事例 P.32

企業からのメッセージ ご安全に! 企業の社会的責任、環境・安全への取り組み、人材育成について知り、教育現場でどのように活かせるのかを、演習・工場見学・教育研修体験を通して共に考えていきます。

受け入れ実績 5年目 実施日 7/30(火)～8/1(木) 参加教員数 10名(東京都大田区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 グループ理念、CSRの取り組み
- 2 事業継続マネジメント
- 3 グループの安全・環境への取り組み、安全活動

2日目

- 1 事業所の安全・環境・地域社会との関わり
- 2 安全道場実習
- 3 工場見学
- 4 古河ニューリーフ(特例子会社)見学

3日目

- 1 CSR教育概要
- 2 内部統制
- 3 企業内社員教育概要・体験
- 4 振り返り

クローズアップ

事業所(工場)での体感や見学

- 安全・環境・地域貢献の活動紹介
- 安全道場実習と工場見学
- 特例子会社における活動見学

環境・安全への取り組みなどが、事業所活動ではどのように実践されているのか、また、特別な支援を必要とする人がどのような活躍をしているのかを体感していただきます。

参加教員の声

- 巻き込み、感電などの危険な場面を想定することで、より気を付けて作業をしようという気持ちになればと実感しました。
- 自然災害のリスクを企業が防ぐ・抑えるために様々なBCPが策定されていることに驚き、自分事として考えるようになりました。
- 特別支援学級担当として、子どもたちの将来の姿を想像しながら見る事ができました。



安全道場での実習



企業内社員研修を体験

丸紅株式会社

活用事例 P.26

企業からのメッセージ 世界中であらゆる商品・事業に通ずる総合商社の取り組みを通じて知見を深め、サステナビリティや人財育成における活動から、環境への取り組みや求める人財像を把握いただければと思います。

受け入れ実績 23年目 **実施日** 8/5(月)～8/7(水) **参加教員数** 5名(東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 サステナビリティ
- 3 人財育成、働き方
- 4 情報のインプット・アウトプット
- 5 オフィスレイアウト

2日目

- 1 事業会社経営
- 2 メレルニ子玉川店見学
- 3 丸紅情報システムズ見学
 - 3Dプリンター
- 4 丸紅都市開発見学

3日目

- 1 事業紹介
 - 金属
 - 日清丸紅飼料
 - プラント
 - イノベーション
- 2 振り返り・意見交換

クローズアップ

グループ企業訪問

- 3Dプリンターの現状と教育現場での活用事例を紹介
- 消費者向け事業を通じて、顧客目線、地域での事業の手法を紹介

多岐にわたる事業の現場を見てスケール感をつかむとともに、企業向け商品が多い総合商社においても、教育現場や消費者向け事業も行っていることを知り、身近に感じていただければと思います。

参加教員の声

- 社員自身が働きやすい環境を模索し、様々な試みを行っていることが興味深く、素晴らしいと思いました。
- 私たちの身の回りにある様々なものが、世界とつながって成り立っていることを実感することができました。
- 情報があふれる中、正しいものとそうでないものを見極める大切さを子どもたちに伝えます。



丸紅フットウェア直営のメレルショップを見学



グループ討議で研修を振り返る

みずほ証券株式会社

企業からのメッセージ 金融リテラシーを身に付けることや学校での金融経済教育の必要性を感じ、また、社会で関心の高い働き方改革や情報管理、AIなどに関してみずほ証券の取り組みを通じて理解を深め、学校運営に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 7年目 **実施日** ①7/31(水)、②8/6(火)～8/8(木) **参加教員数** 54名(①東京都教育委員会、②神奈川県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 金融経済教育
- 2 証券会社の役割
- 3 高校生向け金融経済教育プログラム体験

2日目

- 1 東京証券取引所見学
- 2 各種取り組み
 - デジタルイノベーション
 - 情報管理
 - 働き方改革
 - サステナビリティ

3日目

- 1 高校生向け金融経済教育プログラム体験
- 2 意見交換

※3日間の研修を主体に1日の研修も1回行いました。

クローズアップ

金融経済教育プログラムの体験

- 金融経済を身近に感じる
- ライフプランとお金のはなし
- 体験型学習「お菓子の株式会社」

「18歳成人」も視野に入れ、金融や経済を身近に感じていただくための講義や体験型学習、ディスカッションを通じて教育現場での金融経済教育の必要性やその普及に向けて相互理解を深めることを目的としています。

参加教員の声

- 「お菓子の株式会社」は、経済・金融に興味をもたせるほか、コミュニケーション力も必要とされる興味深い内容だと思いました。
- 株式投資体験を通じ、株価と社会情勢の連動を実感することができました。
- 情報漏洩を防ぐための取り組みや働き方改革の効果、コンプライアンス順守について同僚に伝え、意識付けをしたいと思います。



金融経済教育プログラムを体験



テクノロジーの進展がもたらす影響を学ぶ

三井化学株式会社

企業からのメッセージ 様々なステークホルダーに配慮した事業運営や、社員教育における「体験する」「自ら考える」ことの大切さなど、学んだことを教育の現場で役立てていただければと思います。

受け入れ実績 14年目 実施日 8/7(水)～8/9(金) 参加教員数 10名(東京都葛飾区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要、行動指針
- 2 ESG経営
- 3 社会活動
- 4 人材育成
- 5 レスポンシブル・ケア(安全・環境への取り組み)

2日目

- 1 科学実験教室「ふしぎ探検隊」デモンストラーション
- 2 市原工場
 - 概要説明・見学
 - 安全・環境への取り組み
 - 品質管理

3日目

- 1 三井化学技術研修センター
 - 見学
 - 安全教育体験
 - 人材育成についての意見交換

クローズアップ

技術研修センターにおける安全教育、技術訓練

- 過去の教訓を伝える
- 安全研修体験(挟まれ、破裂、墜落、落下、転倒など)
- 安全研修を通じた人材育成についての意見交換

安全なモノづくりを担う人材育成の現場で、過去の体験を活かした教育を理解し、人材育成や教育について考えを深め、日頃感じている課題の参考にさせていただければと思います。

参加教員の声

- 落下、挟まれなどの安全教育体験はとてモリアルで、過去の事例から学ぶことや体験することの大切さを実感しました。
- 一緒に考える、やってみて気付かせる、納得感を与える、相手目線で教える、などには活かせるヒントがたくさんありました。
- 「ふしぎ探検隊」では、子どもの目線で楽しさと驚きを感じることができました。



科学実験教室「ふしぎ探検隊」を体験



安全教育体験

三井物産株式会社

企業からのメッセージ 三井物産の仕事は「世界中の人を、情報を、アイデアを、技術を、国・地域をつなぎ、新たなビジネスを創造」することです。経営理念や事業活動、サステナビリティ活動、人材育成の取り組みが、教育現場の参考になればと思います。

受け入れ実績 15年目 実施日 7/24(水)～7/26(金) 参加教員数 16名(神奈川県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 サステナビリティの取り組み
- 3 環境・社会貢献活動への取り組み
- 4 広報活動
- 5 障がい者雇用の取り組み

2日目

- 1 「サス学(サステナビリティ学)アカデミー」概要・見学
- 2 三井物産戦略研究所概要
- 3 人材育成・研修
- 4 事業紹介

3日目

- 1 筑波宇宙センター見学

クローズアップ

人材育成・活用、事業やサステナビリティの取り組みを通じた社会とのつながり

- 人材育成・活用
- 社会とのつながり:事業活動(全般、給食事業、新規事業創出/宇宙事業)、サステナビリティの取り組み、雇用(障がい者雇用を含む)

企業が存続していくには絶え間ない進化が求められます。三井物産の経営理念と事業活動を通じた社会とのつながり、その根幹をなす人材育成、新規事業分野への挑戦などが、教育現場での課題解決の一助になればと思います。

参加教員の声

- 「自分で考え、自分の言葉で話し、自分で行動」ができるような人材育成は、学校教育でも重要だと感じました。
- 広報活動は一方的な発信ではなく、対話という考え方が新鮮でした。
- 最先端の宇宙開発や、宇宙は生活と密接な関係にあることを子どもたちに伝え、宇宙への関心を広げたいと思います。



ロールプレー演習を体験



筑波宇宙センターを見学

三井不動産株式会社

企業からのメッセージ 不動産会社の仕事は、建物を建てるだけでなく「街づくり」を通して地域と連携し、現在と未来の社会課題の解決を目指すことです。未来を担う子どもたちを地域の中で育てる学校と共通する部分も多く、参考にしていただければと思います。

受け入れ実績 9年目 実施日 8/8(木)～8/9(金) 参加教員数 12名(東京都足立区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要、不動産業界とは
- 2 柏の葉スマートシティの取り組み
 - 概要説明、施設見学

2日目

- 1 スポーツの力を活用した街づくり
 - 東京2020大会へ向けた取り組み
- 2 日本橋再生計画の取り組み
 - 船上ツアー(開発プロジェクト見学)
 - BEST OF JAPAN TOUR(外国人向け日本橋ガイドツアー)参加
- 3 東京ミッドタウン日比谷にてオリパイベント・シェアオフィス見学
- 4 振り返り

クローズアップ

日本橋再生計画の取り組み

- 日本橋の歴史、日本橋再生計画の取り組み
- 日本橋川船上ツアーおよび外国人向け日本橋ガイドツアーを通して日本橋の街を体感

日本橋エリアの見学を通じ、地域の方々と連携し理解を得ながら「街づくり」を行っていることを体感し、ディスカッションを通して、様々な関係者と接する教員と共通する思いや悩みに気付く機会を提供します。

参加教員の声

- 日本橋再生計画で、何度も火事や災害に見舞われても再生し続け、豊かな文化を築上げてきたことが分かりました。
- 外国人向け日本橋ガイドツアーでは、日本人として知っておくべき日本の伝統など学ぶべきことが多くありました。
- 歴史や伝統を重んじながら今の日本橋があるということ、子どもたちに伝えたいです。



柏の葉スマートシティを見学



外国人向け日本橋ガイドツアーに参加

三菱地所株式会社

活用事例 P.37

企業からのメッセージ ブランドスローガン「人を、想う力。街を、想う力。」に基づく三菱地所グループの事業内容を理解・共感し、今後の学校運営や生徒指導など、教育現場での様々な取り組みに応用・活用していただければと思います。

受け入れ実績 21年目 実施日 8/19(月)～8/21(水) 参加教員数 15名(東京都教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 グループ概要
- 2 ブランドについて
- 3 人事制度、教育体系
- 4 危機管理(防災対策)
- 5 丸の内における「街づくり」
- 6 グループワーク

2日目

- 1 顧客へのサービス、ホテル見学
- 2 住宅事業における商品企画、現地見学
- 3 グループワーク

3日目

- 1 CSRへの取り組み
- 2 環境問題への取り組み
- 3 意見交換・発表

クローズアップ

グループディスカッション・発表 ～子どもたちに伝えたいこと、学校運営に活かせること～

- 企業の取り組みにおける新たな気付き・発見
- 子どもたちに伝えたいこと
- 学校運営に活かせること

企業の取り組み事例を子どもたちに伝えたり、学校運営で活用する際のヒントとなるよう、ディスカッションや発表を通じて情報共有し、理解・学びを深めていただければと思います。

参加教員の声

- 「街づくりは人づくり」という視点で、土地や人、社会の力を最大限に活かすことが開発という考え方に共感しました。
- サステナビリティの取り組みでは、本業を通じた社会課題の解決まで手掛けていこうと意識していることが感じられました。
- 部活動における部のブランドづくりについて子どもたちに伝えました。



濠水貯留浄化施設の見学



住宅事業における商品企画を学ぶ

三菱自動車工業株式会社

企業からのメッセージ 三菱自動車の企業ビジョン・ミッション、企業活動内容（開発・生産・社員教育など）の紹介や体験・意見交換を通じて、産業の基盤であるモノづくりの厳しさ、楽しさなどを感じ、教育現場で活かしていただければと思います。

受け入れ実績 13年目 実施日 8/20(火)～8/22(木) 参加教員数 6名(石川県教育委員会、愛知県の教員)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 コンプライアンス活動
- 3 PHEV World(来客施設)見学
- 4 コミュニケーション実習

2日目

- 1 人事制度、社員教育
- 2 環境負荷低減への取り組み
- 3 CSRの取り組み
- 4 電動工具の取り扱い実習
- 5 技能訓練生指導員との意見交換

3日目

- 1 安全実践活動
- 2 テストコース見学・試乗会
- 3 開発施設見学
- 4 社員との意見交換
- 5 振り返り

クローズアップ

技能訓練生指導員との意見交換

- 新人技能訓練生の指導員との意見交換
- 新入社員教育で使用するプログラム体験（電動工具の取り扱い実習）
- 社員との意見交換

実際の新入社員教育プログラムを体験することで、人材育成について理解を深めていただきます。また、社員との意見交換を通じて、互いの苦労・役割などを理解し、今後の参考にいただければと思います。

参加教員の声

- あらゆることが明文化・細分化されていることで、1万人もの社員が、世界を見据えた仕事ができるのだと感じました。
- 個性豊かで熱い思いをもつ指導員との意見交換は大変刺激になりました。
- 子どもたちに、1本のねじにかける思いや努力、あらゆるニーズに応えるための工夫などを伝えます。



電動工具の取り扱い実習を体験



技能訓練生指導員との意見交換

三菱重工業株式会社

企業からのメッセージ 広報活動、人材育成、モノづくりと安全への取り組み、次世代育成など、様々な企業活動を見ていただき、社員との意見交換で感じたことを、今後の学校運営に役立てていただければと思います。

受け入れ実績 20年目 実施日 7/31(水)～8/2(金) 参加教員数 9名(東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要、広報部概要、グローバルコミュニケーション
- 2 ブランディング活動
 - ワークショップ
- 3 人材育成の取り組み

2日目

- 1 三菱みなとみらい技術館概要・見学
- 2 ブランド事業推進
- 3 子ども向け理科実験プログラム見学
- 4 教材の体験ワークショップ
- 5 CSRの取り組み
 - グループワーク

3日目

- 1 相模原製作所概要
- 2 三菱重工エンジン&ターボチャージャー概要・工場見学
- 3 社員との意見交換
- 4 グループワーク、発表

クローズアップ

ブランディングに関するワークショップ

- ブランドとブランディングに関する講義
- 公立学校におけるブランドについてのワークショップ

「公立学校の学級におけるブランドとは何か」について、企業の事例を交えたワークショップ形式で議論し、学級や子どもたちの強みを共有する合言葉の大切さなど、学級運営に活かせるヒントを得ていただきました。

参加教員の声

- 学校をブランドとして捉えたことがなかったので、学年・学級・個人のブランド力を考えるきっかけとなりました。
- 三菱みなとみらい技術館見学で、ロケットの発射映像などを見て、モノづくりの素晴らしさを体感できました。
- 注意するより、良い面をたくさん褒めるのは学校教育でも活かせると思います。



ブランディングに関するワークショップを体験



三菱みなとみらい技術館を見学

三菱商事株式会社

企業からのメッセージ 三菱商事のこれまでの事業の変遷と現在の姿、またそれを支える人材育成に係る取り組みなどが、教育の現場で参考になればと思います。

受け入れ実績 19年目 実施日 8/21(水)～8/23(金) 参加教員数 20名(神奈川県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 コンプライアンス
- 3 危機管理広報
- 4 サステナビリティ
- 5 社会貢献活動

2日目

- 1 コンシューマー産業グループのビジネス
- 2 天然ガスグループのビジネス
- 3 三菱の歴史と発展
- 4 三菱史料館見学

3日目

- 1 海外事業経営と人材育成
- 2 人材開発施策
- 3 ダイバーシティ
- 4 コーポレート担当役員との意見交換

クローズアップ

障がい者スポーツ推進活動

- 障がい者スポーツを応援する「DREAM AS ONE.」の紹介
- 障がい者アスリートより自身の経験を踏まえた講義

「社会と共に歩む企業でありたい」という思いのもと、長年取り組んでいる障がい者スポーツ推進活動を紹介しました。障がい者スポーツの裾野を広げ、障がいと共存する社会づくりの大切さに理解を深めていただければと思います。

参加教員の声

- 学校でも、個性を尊重し活かしていくダイバーシティの視点は大切だと感じました。
- 障がい者スポーツの裾野を広げ、理解を深めるために、企業が様々なスポーツイベントやセミナーを行っていることを知りました。
- 商社が、社会の要請などに合わせてビジネス形態を柔軟に変化させていることを子どもたちに伝えます。



障がい者アスリートによる講義



コーポレート担当役員との意見交換

三菱マテリアル株式会社

企業からのメッセージ 三菱マテリアルグループは「人と社会と地球のために」を企業理念とする総合素材メーカーです。工場見学や意見交換を通して体感・実感した、事業や社会的役割などについて、次世代を担う子どもたちに伝えていただきたいと思います。

受け入れ実績 21年目 実施日 8/21(水)～8/22(木) 参加教員数 8名(東京都練馬区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 グループ概要
- 2 CSRの取り組み
- 3 会社概要
- 4 事業概要
 - リサイクル事業と再生可能エネルギー事業
 - セメント事業
 - 人事制度・人材育成
 - 実践型教育プログラム「ものづくり革新ゼミ」

2日目

- 1 横瀬工場(セメント工場)概要・見学
- 2 工場の社会貢献活動・地域共生
- 3 意見交換

クローズアップ

セメント製造を担う横瀬工場の見学

- 社会インフラ整備のための基礎素材として人々の暮らしを支え、廃棄物・副産物の受け入れにより、循環型社会の構築にも貢献するセメント事業の製造現場を見学
- 社員との率直な意見交換

ダイナミックな製造現場を体感するとともに、企業と学校との相違点や、学校で活かせる企業の取り組みなどについて、社員と率直な意見交換を行い、学校教育への参考にしていただきたいと思います。

参加教員の声

- 工場見学では、音やにおいにまで地域に配慮していることがよく分かりました。
- 「ものづくり革新ゼミ」で学んだことを同僚に伝え、子どもたちが身に付けるべき力について話し合います。
- 再生可能エネルギー事業や廃棄物の受け入れにより、循環型社会に貢献していることを子どもたちに伝えます。



本社オフィスにて



横瀬工場を見学

三菱UFJニコス株式会社

企業からのメッセージ 経営理念やCS・CSRの取り組みを通じた社会とのつながり、クレジットカードが果たす社会的役割について理解を深めていただき、今後の学校運営や教育活動に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 18年目 実施日 8/21(水)～8/23(金) 参加教員数 8名(東京都教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 クレジットカードの基礎
- 3 フロア見学
- 4 コンプライアンス
- 5 オーソリセンター見学
- 6 サイバーセキュリティの取り組み

2日目

- 1 働き方への取り組み
- 2 クレジットの仕組み
- 3 デジタルイノベーション、イノベーション
- 4 システムセンター見学

3日目

- 1 コールセンター見学
- 2 お客さま満足向上への取り組み
- 3 個人信用情報
- 4 CSRの取り組み
- 5 成人年齢引き下げについて意見交換

クローズアップ

コールセンター見学

- コールセンター概要
- フロア見学
- 社員による電話対応のロールプレイング

お客さま対応の最前線である「コールセンター」の見学を通じ、実際の雰囲気やロールプレイングなどから、現場でのお客さま対応の取り組みについて実感し、学校運営に活用いただければと思います。

参加教員の声

- 企業として一貫性のある対応に、教員も、個人の経験や力量に頼らない組織としての対応を考えていく必要性を感じました。
- 働き方改革について、単なるスローガンで終わらないために企業がどのように取り組んでいたかを同僚に伝えます。
- クレジットカードを利用するときの注意点や、正しい使い方を子どもたちに伝えます。



カードギャラリーを見学



コールセンターで電話対応のロールプレイングを見学

株式会社明電舎

企業からのメッセージ 人材育成の取り組みや施設、モノづくりの現場を見て、将来大切な働き手となる子どもたちに必要な力を育成する参考にしていただければと思います。

受け入れ実績 3年目 実施日 8/6(火)～8/7(水) 参加教員数 10名(静岡県御殿場市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 宿泊研修棟・社宅エリア見学
- 3 ビジネスマナー研修
- 4 特例子会社の概要と取り組み(障がい者雇用)
- 5 工場見学
- 6 危険予知トレーニング

2日目

- 1 若手塾(技術研修)
- 2 意見交換

クローズアップ

若手塾(技術研修)体験

- 電気の基礎知識
- 製品の動作原理と実験
- 見学、各種製品体験

テキストの記述や図の説明だけでは理解しにくいことも、写真やビデオ、実験を用いた説明や見学などの体験を通じて理解することもできます。教育のひとつの方法として参考にしていただければと思います。

参加教員の声

- 若手塾の研修では、自分もしっかりと知識を吸収した上で子どもたちに教えることが大切だと感じました。
- ビジネスマナー研修では、ケーススタディを通して「報・連・相」のポイントや重要性に気付くことができました。
- 危険予知トレーニングは防災学習に取り入れられると思いました。



技術センターを見学



製品技術の基礎を学ぶ

メタウォーター株式会社

企業からのメッセージ ライフラインである上下水道や当社のCSRの取り組みを「水循環」をキーに学んでいただき、学校教育や運営に役立てていただくとともに、未来を支える子どもたちに上下水道、水循環の大切さを伝えていただければと思います。

受け入れ実績 2年目 実施日 7/25(木)～7/26(金) 参加教員数 17名(東京都町田市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 上下水道の現状
- 2 横浜市水道局川井浄水場見学
- 3 CSRの取り組み
- 4 模擬出前授業
 - 水源涵養林実験、ろ過実験
 - 利き水、紙の溶け比べ

2日目

- 1 下水道の仕組み
- 2 町田市成瀬クリーンセンター見学
- 3 水循環を伝えるオリジナル授業づくり
- 4 振り返り

クローズアップ

水循環を伝えるオリジナル授業づくり

- グループディスカッション
- オリジナル授業のプレゼンテーション資料作成
- 発表

「当たり前にある水」について議論することで、抱える課題やその課題の解決策を共有化します。それをもとにつくったオリジナル授業で、子どもたちに、これからも「当たり前にある水」への意識をもっていただければと思います。

参加教員の声

- オリジナル授業づくりでは、学んだことが明確になり、発表を通して様々な発想やアプローチの方法を学ぶことができました。
- 上下水道を見学して、水循環の大切さだけでなく、水をきれいにする工夫や大変さを実感することができました。
- 利き水体験など、ワクワクしながら取り組めたことを子どもたちと共有します。



横浜市水道局川井浄水場を見学



町田市成瀬クリーンセンターで水をきれいにする微生物を観察

森永乳業株式会社

企業からのメッセージ 理念の浸透や職場のマネジメントなど、企業が実践していることが少しでも参考になればと思います。また、実際の職場を見ることで様々な気付きをもちかえていただけたらと思います。

受け入れ実績 2年目 実施日 8/19(月)～8/21(水) 参加教員数 20名(神奈川県教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
- 2 CSRの取り組み
- 3 人材育成と組織マネジメント
- 4 広報IR業務

2日目

- 1 酪農業務
- 2 IT改革推進
- 3 学校と企業が連携した学び

3日目

- 1 市場調査(売り場見学)
- 2 研究所見学
- 3 森永乳業の研究
 - 腸内フローラ
 - 子どもの栄養
- 4 振り返り

クローズアップ

学校と企業が連携した学び

- 出前授業プログラム
- 企業側の悩み、学校側の困りごとを共有
- 出前授業・体験学習のプログラムを考案(グループディスカッション)

企業がどのような思いで出前授業や体験学習を運営しているのかを知り、宣伝だけではなく活動も理解いただければと思います。

参加教員の声

- 企業とどのように連携しキャリア教育につなげていくかを考えるグループワークで、様々な意見や課題を共有することができました。
- 市場調査では、パッケージや陳列の工夫、競合商品との違いなどを意識し、今までとは違う視点で商品を見ることができました。
- コーポレートスローガンを浸透させるためのプロセスを学校経営に活かします。



グループワークの様子



研究所を見学

ヤマト運輸株式会社

企業からのメッセージ ヤマト運輸は2019年、創業100周年を迎えました。企業が大きくなったのは、お客さまのおかげです。「サービスが先、利益は後」に基づく企業の理念と、最先端の物流施設「羽田クロノゲート」を紹介します。

受け入れ実績 9年目 実施日 8/5(月)～8/6(火) 参加教員数 5名(横浜市教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 会社概要
■ 歴史、宅急便の歩み、宅急便の仕組み
- 2 宅急便センター概要
- 3 宅急便集配作業体験

2日目

- 1 羽田クロノゲート見学
- 2 理念研修、グループワーク
- 3 意見交換
- 4 振り返り

クローズアップ

学校理念と学級づくり

- 学校経営理念の紹介
- クラスで学校経営理念を体現していること

それぞれの学校の特色(地域・学校規模)を踏まえた学校経営理念と、学級活動や授業の中で、それをどのように実践しているか発表します。実践例、工夫した点など学校活動のヒントにしてくださいねと思います。

参加教員の声

- 創業100周年を迎えた企業が、さらなる成長のために日々変わり続けていることに感銘を受けました。
- 経営理念がサービスの礎になっていることを知り、学校の教育目標を見直すきっかけになりました。
- 多くの人の努力により早く確実に荷物が届くことを、子どもたちに伝えます。



集荷業務について学ぶ



羽田クロノゲートを見学

ライオン株式会社

企業からのメッセージ 社員の事業に対する姿勢や思いに触れながら、企業で働く上で求められる人材像を理解し、将来を担う子どもたちの教育現場に活かしていただければと思います。

受け入れ実績 13年目 実施日 7/31(水)～8/2(金) 参加教員数 5名(東京都葛飾区教育委員会)

主なプログラム

1日目

- 1 ライオンの歴史
- 2 会社概要、経営方針
- 3 サステナビリティ
- 4 口腔衛生啓発活動
- 5 採用活動、人事制度
- 6 障がい者雇用

2日目

- 1 ブランド戦略
■ ファブリックケア
■ オーラルケア
- 2 お客さま対応
- 3 平井研究所見学

3日目

- 1 営業研修
- 2 店舗見学
- 3 特販事業
- 4 サプライチェーンマネジメント
- 5 国際事業
- 6 振り返り

クローズアップ

平井研究所見学

- 研究員の仕事
- 界面活性剤の実験
- 研究所見学

商品化までの研究員の挑戦や苦労を理解するとともに、実験を通して化学の楽しさを感じること、子どもたちに好奇心をもってあきらめずに努力する大切さを伝えていただければと思います。

参加教員の声

- 結果をすぐに求めるのではなく、何度も挑戦し続けることの大切さ、失敗してもあきらめない研究員の努力が分かりました。
- オーラルケアの啓発活動が健康寿命の延びにつながるなど、事業を通じた社会貢献をしていることに感銘を受けました。
- たくさんのアイデアがより良い商品づくりにつながることを子どもたちに伝えます。



事業について学ぶ



平井研究所を見学

株式会社りそなホールディングス

企業からのメッセージ 銀行業務やりそなグループへの理解を深めると同時に、ホスピタリティーや地域社会との共生・協働の考え方、金融経済教育などを学校運営の参考にいただければと思います。

受け入れ実績 15年目 **実施日** 8/20(火)～8/22(木) **参加教員数** 17名(東京都中央区教育委員会、東京都三鷹市教育委員会、東京都武蔵野市教育委員会、東京都教育庁大島出張所)

主なプログラム

1日目

- 1 グループ概要、ブランド戦略
- 2 SDGsの取り組み
- 3 金融経済教育
- 4 トレーディングルーム見学
- 5 九段支店見学

2日目

- 1 ワークショップ①総合学習のヒント「REENALプロジェクト※」
- 2 金融経済教育体験
 - りそなキッズマネーアカデミー
 - りそなティーンズマネーアカデミー
- 3 豊洲支店見学

3日目

- 1 銀行業務の基礎知識
- 2 ホスピタリティーの取り組み
- 3 ワークショップ②
 - オリジナル授業の作成・発表・意見交換

※REENAL:りそな(RESONA)と地域(REGIONAL)を組み合わせた造語です。

クローズアップ

ワークショップ「オリジナル授業を考えよう」

- オリジナル授業を作成
- 授業のねらいや工夫点を発表
- 意見交換

社会を取り巻く環境は日々変化しています。研修内容を学校活動や教育指導案に活用することで、教育現場へ新たな考え方を提供する機会になればと思います。

参加教員の声

- 金融経済教育体験での工夫されたプログラムの内容は、教材作りの参考になる部分がたくさんありました。
- ホスピタリティーの考えを取り入れ、「言われてうれしい言葉」をどんどん用いて、気持ちの良い学級・職場にしたいです。
- 「REENAL」の考え方を教員や地域、保護者に伝え、協働できる組織づくりを進めます。



他者との協働を学ぶ



ホスピタリティーについての体感研修

2019年度 協力企業一覧・参加教育委員会一覧

企業

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	一般社団法人電子情報技術産業協会
旭化成株式会社	一般財団法人電力中央研究所
朝日生命保険相互会社	東京海上日動火災保険株式会社
アズビル株式会社	東京ガス株式会社
株式会社伊予銀行	株式会社東京証券取引所
SMBC日興証券株式会社	東芝エネルギーシステムズ株式会社
株式会社NTTデータだい	東邦ガス株式会社
MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社	東レ株式会社
大阪ガス株式会社	戸田建設株式会社
一般社団法人大阪銀行協会	凸版印刷株式会社
株式会社大林組	株式会社豊田自動織機
オムロン株式会社	中日本高速道路株式会社
オリックス株式会社	中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社
カシオ計算機株式会社	西日本旅客鉄道株式会社
鹿島建設株式会社	株式会社日清製粉グループ本社
川崎重工業株式会社	ニッセイアセットマネジメント株式会社
関西電力株式会社	日本アムウェイ合同会社
キッコーマン株式会社	日本航空株式会社
キヤノン株式会社	日本証券業協会
株式会社きんでん	日本製鉄株式会社
京葉ガス株式会社	一般社団法人日本損害保険協会
株式会社神戸製鋼所	日本通運株式会社
国際石油開発帝石株式会社	一般社団法人日本貿易会
コマツ	日本郵船株式会社
五洋建設株式会社	株式会社野村総合研究所
三機工業株式会社	野村ホールディングス株式会社
JXTGエネルギー株式会社	株式会社長谷工コーポレーション
JNC株式会社	日立建機株式会社
JFEスチール株式会社	富士電機株式会社
清水建設株式会社	富士フイルム株式会社
一般社団法人情報サービス産業協会	古河電気工業株式会社
一般社団法人信託協会	丸紅株式会社
新菱冷熱工業株式会社	みずほ証券株式会社
住友重機械工業株式会社	三井化学株式会社
一般社団法人生命保険協会	三井物産株式会社
株式会社セレスポ	三井不動産株式会社
一般社団法人全国銀行協会	三菱地所株式会社
全日本空輸株式会社	三菱自動車工業株式会社
総合警備保障株式会社	三菱重工業株式会社
双日株式会社	三菱商事株式会社
SOMPOホールディングス株式会社	三菱マテリアル株式会社
第一生命保険株式会社	三菱UFJニコス株式会社
大日本印刷株式会社	株式会社明電舎
太平洋セメント株式会社	メタウォーター株式会社
株式会社大和証券グループ本社	森永乳業株式会社
株式会社竹中工務店	ヤマト運輸株式会社
株式会社千葉銀行	ライオン株式会社
TIS株式会社	株式会社りそなホールディングス
株式会社TBSテレビ	

(社名50音順)

参加教育委員会

北海道教育庁胆振教育局
神奈川県教育委員会
横浜市教育委員会
千葉県浦安市教育委員会
千葉県木更津市教育委員会
千葉県君津市教育委員会
東京都教育委員会
東京都足立区教育委員会
東京都荒川区教育委員会
東京都江戸川区教育委員会
東京都大田区教育委員会
東京都葛飾区教育委員会
東京都国立市教育委員会
東京都小平市教育委員会
東京都品川区教育委員会
東京都新宿区教育委員会
東京都杉並区教育委員会
東京都中央区教育委員会
東京都中野区教育委員会
東京都練馬区教育委員会
東京都東久留米市教育委員会
東京都東村山市教育委員会
東京都東大和市教育委員会
東京都日野市教育委員会
東京都府中市教育委員会
東京都文京区教育委員会
東京都町田市教育委員会
東京都三鷹市教育委員会
東京都港区教育委員会
東京都武蔵野市教育委員会
東京都私学財団
東京都教育庁大島出張所
愛知県東浦町教育委員会
石川県教育委員会
静岡県教育委員会
静岡県御殿場市教育委員会
大阪府高槻市教育委員会
京都市教育委員会
奈良県私立中学高等学校連合会
愛媛県教育委員会

【編集後記】

1983年にスタートした本研修は、今年度で37年目を迎えました。本研修の運営に当たりまして、企業の研修担当者の皆さまには、プログラム作成から実施に至るまで、社内外の各関係者との調整など多岐にわたりご尽力をいただきました。また、教育委員会の皆さまには、企業と教員の懸け橋となるべく、様々な場面でお力添えをいただきました。厚く御礼申し上げます。

昨年度同様、教員の皆さまからの研修終了後のアンケートでは、研修を通じて新たな気付きや共感を得るとともに、それを学校生活に活かしていきたいという情熱を感じることができました。今年度は、教員の皆さまから過去最多の活用事例・案をご提出いただき、研修で学ん

だ内容を活かし、それぞれ工夫を凝らしたオリジナリティのある授業として実施いただきました。本研修が企業、教員の皆さま双方にとって実り多きものであったという一端を、研修レポートでお伝えできれば幸いです。

経済広報センターは、教員の皆さまに企業での研修体験を、様々な形で子どもたちに伝えていただくとともに、学校運営の改善などにも活用していただけるよう、より良い研修運営を目指して取り組んでまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

担当者一同

教員の民間企業研修レポート2019

発行 ——— 2020年1月

一般財団法人 経済広報センター

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

Tel.03-6741-0021 Fax.03-6741-0022 URL.<http://www.kkc.or.jp/>

担当 ——— 国内広報部 山崎 安希子／鴨奥 琴／多田 優紀／高橋 美香

編集協力 ——— 株式会社 空知堂





明日の日本を支える子どもたちのために